

緑の募金

事業報告集

平成28年度



公益社団法人 国土緑化推進機構

緑の募金 事業報告集

平成28年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

はじめに

緑の募金事業は、「緑の募金法」に基づき、国内・海外における「国民参加の森林づくり」を進めるものであり、森林ボランティア団体等が行う森林整備、緑化推進、国際協力の活動を支援するものです。

平成27年度事業においては、

- ① 地球温暖化防止や水源涵養等に資する森林の整備
- ② 東日本大震災復興のための海岸林の再生、被災地域の学校緑化
- ③ 間伐や間伐材利用の促進
- ④ 災害跡地の復旧や災害に強い森林づくり
- ⑤ 竹林の整備
- ⑥ 砂漠化の防止や住民生活の向上に資する植林、マングローブ林の造成

等の事業を支援しました。

本報告集は、緑の募金の社会的意義、役割に鑑み、緑の募金事業の実行結果について、募金者をはじめ、広く一般市民、企業・団体等の方々にも知って頂くためのものです。

本報告集によって、国民の皆さまの「緑の募金」への理解が深まり、更なるご支援・ご協力につながるとともに、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくための活動の一助になれば幸いです。



緑の募金

公益社団法人 国土緑化推進機構

目次

(注) 1. 本報告集に掲載した事業は、平成27年7月から平成28年6月までに事業決定・承認した直接事業及び公募事業である。

2. 最左欄は交付決定番号、() 地名は事業実施都道府県等である。

森林の整備

27SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)……………	10
27SC-02	アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動(大阪)……………	10
27SC-03	岡山水源の森整備事業(岡山)……………	11
27SC-04	岡山県日本リスの森整備事業(岡山)……………	11
27SC-05	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	12
27SC-06	小石原川水源の森づくり事業(福岡)……………	12
27SC-07	原村あゆみの森整備事業(長野)……………	13
27SC-08	地球温暖化防止のための北海道の森づくり(北海道)……………	13
27SC-09	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり(北海道)……………	14
27SC-10	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)……………	14
27SC-11	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり(京都)……………	15
27SC-12	積水化学・水源の森づくり事業(北海道)……………	15
27SC-13	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり(福岡)……………	16
27SC-14	和木町協働の森づくり事業(山口)……………	16
27SC-15	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL 3(北海道)……………	17
27SC-16	北蔵王水源の森造成事業(宮城)……………	17
27SC-17	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」(大阪)……………	18
27SC-18	緑のESDの森づくり事業(宮城)……………	18
27SC-19	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)……………	19
27SC-20	「赤西溪谷・水源の森」保全事業(兵庫)……………	19
27SC-21	100年の森佐世保植樹祭(長崎)……………	20
27SC-22	海の森育樹プロジェクト(東京)……………	20
27SC-23	みんなでつくろう海の森プロジェクト2016(東京)……………	21
27SC-24	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動(岐阜)……………	21
27SC-25	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業(岡山)……………	22
27SC-27	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉)……………	22
27SC-28	緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2016 in おだわら(神奈川)……………	23
27SC-30	木曾川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜)……………	23
27SC-31	2016年春 多摩動物公園森づくりプロジェクト(東京)……………	24
27SC-32	奈良県吉野山の森づくり事業(奈良)……………	24
27震災SC-01	平成27年度東日本大震災復興事業(鹿島灘海岸防災林復旧)(茨城)……………	25
27震災SC-02	旭復興事業2015(千葉)……………	25
27震災SC-03	自伐型林業による北上圏域震災復興支援(就業づくり)事業(岩手)……………	26
27震災SC-04	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉)……………	26
27震災SC-05	「岩沼潮除須賀松の森」再生植樹事業(宮城)……………	27
27震災SC-06	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)……………	27
27震災SC-07	松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)植樹事業(福島)……………	28
27震災SC-08	東日本大震災復興祈念・遠野市緑化祭「里山フェスタ2016」(岩手)……………	28
27S-01	「木育」推進プロジェクト(北海道)……………	29
27S-02	札幌市澄川環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業(北海道)……………	29
27S-03	富良野地区の緑化及び環境教育推進事業(北海道)……………	30

27S-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり（青森）	30
27S-05	活樹祭～こども間伐体験～ in 南部町（青森）	31
27S-06	活樹祭～こども間伐体験～ in 八戸（青森）	31
27S-07	森林ボランティアの力で松枯れ対策プロジェクト2015（岩手）	32
27S-08	ふるさとの里山整備活動と自然環境（里山）保全啓発事業（茨城）	32
27S-09	茨城県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動（茨城）	33
27S-10	地域の子供たちを森へ誘う事業2015（埼玉）	33
27S-11	県境を越えた森づくり連携事業（埼玉）	34
27S-12	都市住民の参加する里山整備と里山資源の有効活用（千葉）	34
27S-13	都市と農村のヒトや技術の対流を促し持続可能な里山再生につなげる ひと育てと仕組みづくり事業（長野、千葉）	35
27S-15	昆虫の森、果樹の森創りを媒介とした東京都日の出町と 都市部の大人および子供の交流に関する事業（東京）	35
27S-16	かぐや姫事業2015「竹にふれる！竹で作る！竹をかなでる！」（長野）	36
27S-17	森林ボランティアの森林再生活動（植栽・下刈・間伐など）による 健全な森づくり事業（長野、千葉）	36
27S-18	サンシティの緑の若返り活動（東京）	37
27S-19	人と地域と世界がつながる、国際森林保全ワークキャンプ（北海道、青森外）	37
27S-20	誰でも出来る日本の森づくり隊（実習編）（千葉外）	38
27S-21	収入を得る永続的森林整備を实践する 地域住民主体の自伐型林業、西日本普及育成事業（高知、鹿児島、島根外）	38
27S-22	水源林保全のための森林整備と森林の多目的利活用の推進（神奈川）	39
27S-23	青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及事業（東京）	39
27S-24	伊豆韮山金谷地区整備事業（静岡）	40
27S-25	山の間伐材を利用したマチの公園整備（栃木、東京）	40
27S-26	大呑ふれあいの里山づくりプロジェクト（石川）	41
27S-27	古里の未来を育む、里山からの暮らしと繋ぐ森づくり（福井）	41
27S-28	活樹祭～こども間伐体験～ in 上伊那（長野）	42
27S-29	チェーンソーを使った山仕事の安全・レベルアップ講座（長野）	42
27S-30	長野県・千葉県における、 ボランティア森林整備技術者の養成を目指した森林整備と植栽活動（長野、千葉）	43
27S-31	沼津市 愛鷹広域公園内森林・竹林整備事業（静岡）	43
27S-32	「森づくり自然学校」及び富士山麓の自然現地調査（静岡）	44
27S-33	猿投山北西山麓斜面の環境林整備（愛知）	44
27S-34	森の健康診断全国出前事業（全国）	45
27S-38	竹林整備と環境保全（奈良）	45
27S-39	戦後70周年記念平和の森整備事業（広島）	46
27S-40	環境保全型森林整備で災害に強く、収入になる自伐林家育成及び普及事業（高知）	46
27S-41	下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト（高知）	47
27S-42	森林ボランティアの日「くにの松原」保全・再生活動（鹿児島）	47
27災S-01	大地の恵み 体験ジオツアー（埼玉）	48
27災S-02	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト（東京）	48
27災S-03	全国緑化運動発祥地を災害や荒廃から守る森づくり（茨城）	49
27災S-05	A-WASS 循環と共生の森づくり in ときがわ（埼玉）	49
27災S-06	上下流連携による循環型の森づくり「森活」（しんかつ）プロジェクト（群馬）	50
27災S-07	首都圏と山村の住民交流・協働による広葉樹林整備ボランティア活動事業（山形）	50
27災S-08	森と海を結ぶ歴史ロマン浜街道と北潟湖が育む未来への森づくり（福井）	51
27災S-09	山村と都市を結ぶ桃源郷の森づくりプロジェクト（福井）	51
27災S-10	山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動事業（岐阜）	52
27災S-11	水源の里山再生事業（三重）	52

27災S-14	蘇る熊野の森・大日山プロジェクト2015（6番区）（和歌山）	53
27災S-15	平成27年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会（島根）	53
27災S-17	大浦干拓防風林保全事業（鹿児島）	54
27災S-18	やんばる地域“森・川・海”連携プロジェクト（沖縄）	54

緑化の推進

27RC-01	エコキャンプ2015（岡山）	56
27RC-02	獅子吼高原森のふれあい音楽会（石川）	56
27RC-03	斎王竹の道「緑の森公園」づくり（三重）	57
27RC-04	親と子協働の森づくりと自然体験活動（北海道）	57
27RC-05	活樹祭～こども間伐体験～（岩手）	58
27RC-06	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」（新潟外5）	58
27RC-07	丸一山植樹祭（北海道）	59
27RC-08	げんきの森づくりと森の学習活動（北海道）	59
27震災RC-01	東日本大震災復興祈念・吉里吉里保育園環境緑化事業（岩手）	60
27震災RC-02	気仙沼市立津谷小学校における学校教育環境向上事業（宮城）	60
27震災RC-03	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業等（石岡市立吉生小学校）（茨城）	61
27震災RC-04	震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業（いわき市立藤原小学校）（福島）	61
27震災RC-05	「復興さくらの丘」環境緑化及び緑の小道作設事業（岩手）	62
27震災RC-06	未来への植樹祭～野田村海岸林再生への一歩～（岩手）	62
27震災RC-07	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D（宮城、福島）	63
27震災RC-08	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（宮城）	63
27震災RC-09	復興まちづくり集会所竣工記念植樹事業（宮城）	64
27震災RC-10	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業（市原市立京葉小学校）（千葉）	64
27震災RC-11	第四次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業（青森）	65
27震災RC-12	間伐材等の組立て什器（組手什）を用いた熊本地震復興支援事業（熊本）	65
27R-01	子供たち中心で、荒地地を広葉樹の森づくりで再生（岩手）	66
27R-02	千年希望の丘育樹事業「大きく育て、10万本の緑の堤防」（宮城）	66
27R-03	花いっぱい森コミュニティプロジェクト（山形）	67
27R-04	「川内村いのちの森づくり」植樹祭（福島）	67
27R-05	スポーツを愛する青少年が安らぎ親しみの持てる桜植樹（茨城）	68
27R-06	筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり（茨城）	68
27R-07	どんぐりの木植樹会（茨城）	69
27R-08	山村都市交流の絆づくりを深める筑波山水源の森づくり（茨城）	69
27R-10	東日本大震災復興支援緑化木育苗（千葉、宮城）	70
27R-11	自然林と共生の森作り（岡山）	70
27R-12	三宅島復興森林づくり交流事業（東京）	71
27R-13	アースデイいのちの森（東京、埼玉）	71
27R-14	日の出町・大久野森再生事業（東京）	72
27R-15	次世代につなぐ里山づくり（福井）	72
27R-16	森づくりに関しての無関心層を掘り起こしながら 市民の手で進める森林整備活動（長野、千葉）	73
27R-17	いなべプロジェクト『にぎやか市場』 ～持続的再生可能な森林資源の活用と地域活性化の仕組みづくり～（三重）	73
27R-18	今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備活動（愛媛）	74
27R-20	過疎化する佐賀県北部玄界灘に浮かぶ離島の 〈産業の創生〉と〈雇用の創出〉を!!（佐賀）	74
27災R-01	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動（宮城）	75
27災R-02	被災した鎮守の森の復旧及び災害防止のための森づくり事業（宮城）	75
27災R-03	「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」応援（福島）	76

27災R-04	宮城県名取市「海岸林再生プロジェクト10カ年計画」(宮城).....	76
27災R-05	海岸防災林植樹第2回(静岡).....	77
27災R-06	十日町市民協働の森づくり「第5回植樹祭」(新潟).....	77
27災R-07	学校・公園のシンボルツリーを守ろう!プロジェクト(宮城).....	78
27災R-08	グリーンベイOSAKA森を育てる活動(海岸防災林の植樹整備)(大阪).....	78
27災R-10	徳島県那賀町木沢 森林整備事業(徳島).....	79
27災R-11	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり(鹿児島).....	79
27ふR-01	ふるさとの木によるふるさと森づくり2015(北海道).....	80
27ふR-02	森と緑と湖のマチ、そららの森づくり植樹祭(北海道).....	80
27ふR-03	「鎮守の森」創生事業(青森).....	81
27ふR-04	長者山 新羅神社の「桜の馬場」再生事業(青森).....	81
27ふR-05	上坊牧野の一本桜樹勢回復事業(岩手).....	82
27ふR-06	湯ノ花地区景観保全事業(福島).....	82
27ふR-07	宇都宮市陽光地区青少年育成会植林事業(栃木).....	83
27ふR-08	ふるさとのツツジ並木救助活動(群馬).....	83
27ふR-10	六国見山森林公園の里山再生プロジェクト(神奈川).....	84
27ふR-11	高麗山公園、桜を中心とした森林再生活動(神奈川).....	84
27ふR-12	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業(新潟).....	85
27ふR-13	「ふるさと絆の森」再生事業(石川).....	85
27ふR-14	越前和紙の里の景観整備事業(福井).....	86
27ふR-15	信州・志賀高原から始まる森林再生事業 ～市川海老蔵「いのちを守る森」づくり=ABMORI～(長野).....	86
27ふR-17	いなべ松茸山再生実験モデル化プロジェクト事業(三重).....	87
27ふR-18	小面積皆伐による里山再生モデル事業(三重).....	87
27ふR-19	地黄湿地再生事業(大阪).....	88
27ふR-20	矢田山頂上展望台の眺望・景観を回復し荒廃した里山林を再生する(2)(奈良).....	88
27ふR-21	ふるさとの森林再生事業(兵庫).....	89
27ふR-22	益田市の原点“心のふるさと・里山の景観の金谷集落”を守る植栽とサクラの治療(島根).....	89
27ふR-23	西村大師堂しだれ桜樹勢回復事業(愛媛).....	90

国際協力

27KC-01	日本ーラオス友好の森展示林造成事業(ラオス).....	92
27KC-02	カラコルム・ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動(パキスタン).....	92
27KC-03	長江上流域植林協力事業(中国).....	93
27KC-04	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業(中国).....	93
27KC-05	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業(マリ).....	94
27KC-06	フィリピン国レイテ島北西部の台風被災地における 地域復興を目指した植林事業(フェーズ2)(フィリピン).....	94
27KC-07	平成27年度 緑の国際ボランティア研修(フィリピン国)(フィリピン).....	95
27KC-08	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携プロジェクト(インドネシア).....	95
27KC-09	ロシア極東・ハバロフスク地域における 地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業(ロシア).....	96
27KC-10	モンゴル森林火災被災地再生事業(モンゴル).....	96
27K-01	秦安県中日友好経済型生態造林プロジェクト(中国).....	97
27K-02	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業(エチオピア).....	97
27K-03	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業(エクアドル).....	98
27K-05	育林思想普及のための学校植林と環境教育セミナーの開催(第3次)(フィリピン).....	98
27K-06	中国・内モンゴル・飛沙、沙漠化防止緑化活動(中国).....	99
27K-08	ケニア北部トゥルカナ湖南東部での植林とアグロフォレストリー事業(ケニア).....	99
27K-09	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト(ガーナ).....	100

27K-10	モンゴル・ウランバートル市学校緑化モデル事業（モンゴル）	100
27K-11	アグロフォレストリーを目指した基盤整備のための植林推進事業（インド）	101
27K-12	モンゴル国セレンゲ県における人材育成を伴う 村民参加型生態混交林再生事業（モンゴル）	101
27K-13	マダガスカル、アンジアマングラーナ監視森林とその周辺地域での植林（マダガスカル）	102
27K-14	ヒマラヤ山麓伐採荒地に 「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」（ネパール）	102
27K-15	バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区 などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林（バングラデシュ）	103
27K-16	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での植林活動（カンボジア）	103
27K-17	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト（タイ）	104
27K-18	マリ共和国カチョラ小学校に学校林の造成と環境学習、モバ小学校林のケア（マリ）	104
27K-19	モンゴル国中央県植林事業（モンゴル）	105
27K-20	ブルキナファソ共和国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する 生活改善のための植林プロジェクト（ブルキナファソ）	105
27K-21	インドネシア中央カリマンタンの森林火災で焼失した 森林を再生するための植林事業（インドネシア）	106
27K-22	砂漠緑化：育林・草原再生事業の広範な展開にむけた 普及公園づくりプロジェクト（モンゴル）	106
27K-23	ダグマ山系ラムダラグ村生態系保全のための森林農業推進事業（3年目）（フィリピン）	107
27K-24	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林（タジキスタン）	107
27K-25	東ティモール民主共和国リキサ県マウメタ村ハトゥハヒロア（HATUHAHI LOA） における水源保護林造成事業（東ティモール）	108
27K-26	西ネグロス州における少数民族の組織化による 水源の森再生活動（第2年次）（フィリピン）	108
27K-27	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動（カザフスタン）	109
27K-28	持続可能で多様性のある森林のモデルづくり（中国太行山地区）（中国）	109
27K-29	マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための 植樹による整備事業（マダガスカル）	110
27K-30	ネパール 小農村におけるアグロフォレストの果樹や花樹植林による 拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育（ネパール）	110
27K-31	世界遺産の棚田を崩壊から守るための植林事業 「NIWAKAT PUNTANUMAN（小規模多地域植林法）」（フィリピン）	111
27K-32	ブラジル国バラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した 水源涵養植林事業（ブラジル）	111
27K-33	中国四川省彭山県水土流出防止緑化事業（中国）	112
27K-34	タイ北部山岳地域ホイドウア村の森林再生と農村開発（タイ）	112
27K-35	徳島烏雲の森植林事業（中国）	113
27K-36	ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）山岳少数民族地域における 水源涵養コミュニティー林造成及び水源涵養啓発事業（ミャンマー）	113
平成27年度	中央事業実施状況一覧	114

森林の整備

緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21 さがみの森」

フォレスト21 さがみの森連絡協議会

東京都文京区本郷

●事業概要

本事業は神奈川県相模原市にある仙洞寺山国有林内約19haをフィールドに、地球温暖化防止などへの期待が高まる国民参加のモデルフォレストづくりを一層推進するために、下記活動を行う。

- ①環境や資源の持続性に配慮した森林造成活動
- ②地域・企業・学校などと連携し、自然とのふれあいを通じて学ぶ森林環境教育
- ③森づくりの知識・技術のスキルアップ
- ④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動、などを推進し、「森と人」「人と人」のきずなを再構築する森づくりの輪を広げる。

●事業成果

定例活動とイベントによる森林整備では、技術向上や若年齢層の参加者数が徐々に増えており、整備も進んだ。10月25日に相模原市まち・みどり公社との体験イベントを実施。緑の少年団の小学生など50人が参加。

間伐など伐倒作業に興味のある参加者の増加、チェーンソー・刈払い機の研修修了者も増加した。

●自己評価

森林整備についてはほぼ計画通り実施できた。作業道の整備や、小屋の補修なども行った。植栽木もヒノキ・コナラなど順調に育っており、今後は保育間伐を中心に、間伐木を利用したPR活動や森林環境を利用した環境教育イベント等を計画したい。

●参加者の声

- ・若い参加者が増えてきたので、この調子でもっと継続的参加者を増やしてほしい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	下刈面積	枝打ち・除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.05ha	0.7ha	0.7ha	1.3ha	183人	151人	334人
樹種：ヒノキ						
実施場所：神奈川県相模原市						



間伐

アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動

いずみの森の会

大阪府堺市南区庭代台

●事業概要

本事業は、エネオス社員との共同作業により、森林整備を行うもので、年間6回実施している。2回が共同作業であり、4回は単独活動で、主に林内整理と間伐を行っている。なお、エネオス社員のみならず、家族も参加するため、幼児にも安全に森林体験を味わってもらうため、自然観察会・クラフトなどもあわせて実施する。

さらに、会員の技術向上と安全確保のための講習会も実施している。

●事業成果

対象地区の主要地域は今年度でほぼ完成した。来年度は残る周辺部のかなり急峻な地区が対象となる。人工林は三割程度間伐され、下層の雑木も少なくなり風通し・見通しの良い林となった。また、一部侵入してきたタケも皆伐した。さらに、谷底までの通路(階段)が完成したため入口から谷を挟んだ向かい側まで楽に行けるようになった。

●自己評価

秋期が100人、春期が120人と参加人数が増加したため、間伐除伐のほか、侵入竹の伐採・下刈り・木道作り・自然観察と多彩なメニューで対応した。参加者が回を重ねるごとに増加するのは嬉しいことだが、フィールドの狭さと急峻さが気になり安全面では苦労があった。

●参加者の声

- ・下刈りは簡単と考えていたが、公園などの草と違いハードだった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	侵入竹皆伐	府内	計
0.30ha	0.15ha	0.25ha	0.03ha	297人	297人
実施場所：大阪府和泉市仏並町					



木道づくり

岡山水源の森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

アカマツが枯れた里山を、豊かな生態系と、美しい景観を有する森林に誘導し、保水機能の高い森林を作るため、枯れ木の伐採、歩道整備、区域刈払などを行った。

●事業成果

企業合併などの事情により、本年度はイベントはなく、管理・保全作業のみを実施した。

実績とりまとめ表

作業内容	
周囲刈払	歩道修理等
0.7km	400m
実施場所：岡山県美咲町（中山国有林）	



下刈作業

岡山県日本リスの森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

アカマツが枯れた里山を、豊かな生態系と、美しい景観を有する森林に誘導し、保水機能の高い森林を作るため、枯れ木の伐採、歩道整備、区域刈払などを行った。

●事業成果

企業合併などの事情により、本年度はイベントはなく、管理・保全作業のみを実施した。

実績とりまとめ表

作業内容		
下刈面積	周囲刈払	作業道刈払
0.47ha	1.5km	0.6km
実施場所：岡山県美咲町（大戸山国有林）		



下刈作業

湯河原で進める企業の森づくり 体験活動事業

(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、除伐、植栽、下刈り、水源整備、自然観察会である。

●事業成果

間伐、除伐により人工林内が明るくなるとともに、植栽及び下刈り作業により、参加者が長期的な森林づくりを体験することができた。新たに、水源整備を加え活動フィールドへの愛着、関心が高まった。また、森林づくりの大変さや大切さ、森林の働きについて体験・学ぶことができた。

●自己評価

間伐作業については、まだ必要などころがあり当面継続して実施する。昨年行った広葉樹の植栽については、苗木が不調だったのか、大半が立ち枯れになってしまったので、次年度の秋に再度補植を考えている。下刈り作業については、暑い中の大変な作業を体験していただくことにより、森づくりへの理解を深めていただくことができた。除伐、水源整備は林内が明るくなり達成感がある。自然観察会などは親子で参加できる活動として作業活動と併用して実施する。今後は、体験活動や四季折々の情報を発信し、体験活動への参加者を増やしたい。

●参加者の声

・この森林がどのように変化していくか楽しみです。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
下刈面積	間伐面積	水源整備	計
0.04ha	1.00ha	0.06ha	141人
実施場所：神奈川県湯河原町			



下刈作業

小石原川水源の森づくり事業

あまぎ緑の応援団委員会

福岡県朝倉市菩提寺

●事業概要

江川ダム上流の小石原川沿いに平成16年の台風で被害を受けた人工林跡地に、平成18年・19年・20年で植樹をしたが、シカによる食害で植樹した樹木がなくなったため、豊かな生態系と美しい景観を有する森林に誘導するため、モミジを植樹しシカ食害対策防護ネットを設置した。

●事業成果

植樹・シカ食害対策防護ネットの設置をしたことにより、森林がきれいに整備され、豊かな生態系と美しい景観を有する森林になった。

●自己評価

計画通り0.70ha・600本植栽及びシカ食害対策防護ネットの設置ができた。今後は、植栽した苗木が健全に成長するように、下刈などの森林整備を実施していく。

実績とりまとめ表

作業内容		
植付面積	植付本数	下刈面積
0.70ha	600本	0.70ha
実施場所：福岡県東峰村		



シカ食害対策防護ネットの設置

原村あゆみの森整備事業

原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

原村の村有林及び学校林を、ENEOS社員などの方々のボランティアの参加により、下刈り、枝打ち除伐、外来植物の駆除などの森林整備活動を行う。主な活動は、次のとおりである。

- ①刈払い機やチェーンソーなどの作業機械に触れ、森林整備の意義を確認。
- ②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施。
- ③県林業女性グループと交流を図り森林環境教育を実施。

●事業成果

村有林の森林整備を実施することにより、藪や灌木で密林していた山林が開け、遊歩道整備や枝打ちにも係わり、景観的にも心理的にも満足できる達成感を得られた。

林内整備体験をすることで、自然環境の保全、自然を大切にすることを育てていくことや、整備された森林の美しさの景観保護をしていくこともできた。

林業女性グループと交流し、森林に触れ合う機会をつくることができた。参加者の親子連れを中心に森林教室を開催し、森林学習を行うことができた。

●自己評価

初心者や子ども連れのグループには難しい作業であったが、指導者を増やすことで、安全面に対する対策ができたと感じた。森林環境教育に関しても、班ごとに指導者を配置し、分りやすく学ぶことができた。

●参加者の声

・久々に小学校の森林整備に参加しましたが、植樹された木が大きくなり、年月を感じました。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.1ha	0.9ha	0.2ha	55人	170人	225人
実施場所：長野県原村					



下刈作業

地球温暖化防止のための 北海道の森づくり

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

●事業概要

千歳蘭越国有林にある法人の森（エネオス）で、活力ある森林づくりを目的にエネオス社員などとその家族の参加により、広葉樹二次林における天然林除伐、トトマツ植林地の下刈り及び広葉樹植栽地の補植（アカエゾマツ）作業を実施し、あわせて森林観察を実施した。

●事業成果

参加者に実体験を通し、自然の営みや森づくりの重要性について普及啓蒙することができた。

●自己評価

- ①平成17年から風倒木跡地に植栽した林分はその後、トトマツ植栽地は寒風害、広葉樹植栽地はエゾシカによる食害が発生し、その都度、補植を計画実行した。

トトマツを植栽した区域は、現在、植栽したすべてが良好に生育するとは言い難い状況にあり、逆に広葉樹の旺盛な天然更新が見られるようになっている。施業的には広葉樹育成天然林に誘導することで考えている。

- ②手入れ（除伐）した林の中の下床植生が、陽光が入ることによってどのように変化するか、当会のガイドの説明に参加者は関心をもって聞いていた。森の活性化が地球温暖化の防止や生物多様性の保持に貢献する格好の普及啓蒙の場となった。

- ③今後の活動は森の推移や植物の観察に重きを置いた活動にシフトすることを検討しなければならない。

●参加者の声

当会の技術指導、森林観察ガイドについて満足していた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
補植本数	下刈面積	除間伐面積	計
30本	0.21ha	0.04ha.	87人
樹種：アカエゾマツ			
実施場所：北海道千歳市（千歳国有林）			



整備活動に87人が参加

「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

●事業概要

約120人が参加してアカエゾマツ人工林の枝打ち、除伐などの森林整備活動と近隣の国有林天然性林において生物多様性について勉強する森林観察を行った。

なお、今回の活動は、主に一般市民、ボーイスカウトなどが中心となって実施された。森林観察資料として地域の自然の紹介と森林がたどった歴史をまとめたものを作成し、故郷の森林を知るきっかけを作り、森林・林業の普及啓蒙活動を実施した。

また、昼食時間には子どもたちに葉っぱのシールづくり、コースターづくりを指導した。

●事業成果

今回の参加者は、初めての参加者が多かったが、アカエゾマツ人工林の枝打ちと除伐体験に事故もなく無事終了し、近隣の国有林(天然性林)における森林観察も予定通り実行できた。

自然観察では、クロエゾマツの推定300年を超えるエゾマツの大木と倒木更新の様子、その他ミズナラ、カエデ類の広葉樹と林床の天然更新など本物の自然を説明・紹介し、森林林業の普及啓蒙に貢献できた。また、子どもたちには、葉っぱのシールづくり、コースターづくりを指導、自然とのふれあい活動に資することができた。

●参加者の声

地球環境問題や森林林業の大切さや重要性について普及啓蒙の効果があったという声が多かった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
除間伐作業	計
0.2ha	120人
実施場所：北海道千歳市	



枝打ち、除伐などを体験

玖珠町ふれあいの森づくり事業

玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要

多くの町民ならびに企業ボランティア参加を募り、大分県玖珠地域の里山に生物多様性に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。

●事業成果

年3回の作業にのべ450人以上の参加があり、駒打ち、下刈り、枝打ち、花壇整備、ネイチャーゲーム、木工工作等を行った。

参加者は、人とのふれあいを持ち自然の優しさ、厳しさを感じながら山での作業に良い汗をかき生々とした表情だった。

●自己評価

ほぼ計画どおりに実施できた。反省点は作業内容に応じて時間配分を考えたい。今後の取り組みとして、植栽等の今までに実施していない山林作業を長期計画で実施したい。また、子ども達にも枝、葉っぱ等を使っての工作づくりをさせたい。

●参加者の声

・枝打ち体験でたくさんのことを学びました。枝打ちをすることで、日当たりが良くなり、虫や動物たちも良い環境で暮らすことができます。作業は、のこぎりが重くて力がいったけどできた時は、とてもうれしく、楽しく自然と触れ合いました。(小学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	ほだ木起	県内	計
1.5ha	300本	130人	130人
実施場所：大分県玖珠町			



下刈作業

「積水化学の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり

木津川市地域連携保全活動応援団

京都府木津川市木津南

●事業概要

本地区には、希少な生物が多く存在し、これらの保護と豊かな自然を守るため、里山の維持・再生活動を進めていくことを目的に活動を行うものである。

また、本事業は、「木津川市地域連携保全活動応援団」（以下：応援団）が主体となって運営し、継続的な里山の維持・再生活動とあわせて、年2回程度を目安に積水化学グループの社員がイベント形式で森林保全活動を行う。

事業地は、森林・竹林地帯であるが、近年、放置竹林や耕作放棄地が目立つようになったため、タケの除間伐作業、下刈り作業、また、事業地内の通路整備として、簡易な維持整備作業などを行う。

●事業成果

平成27年度は、積水化学グループ社員によるCSR活動を2回実施し、主に竹林整備や苗木の植樹を行った。

また、応援団に所属する各活動団体と共に事業地内の通路整備作業を3回実施した。

今後は、通路整備の新たなルート開拓、竹林の除間伐作業や下刈り作業などの範囲を広げていく予定である。

●自己評価

本年度で動植物の環境調査を実施し、今後は定期的な調査を実施する。また、当該調査結果を受け、希少種の保護などのための整備計画を策定したい。

●参加者の声

・植樹や竹林の間伐作業など貴重な体験ができた。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	計
0.17ha	55本	0.3ha	0.2ha	0.7ha	234人
樹種：クヌギなど					
実施場所：京都府木津川市					



通路整備作業

積水化学・水源の森づくり事業

(公社) 北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

当別町神居尻地区に所在する「道民の森」をフィールドとして活用するため、当会が、北海道石狩振興局と協定書を取り交わし、積水化学グループの社員及び家族の参加により「積水化学・水源の森」造成のため、植樹活動を行った。

●事業成果

平成27年8月29日(土)、道民の森に、積水化学グループの社員及び家族、総勢88名が参集した。

午前10時30分より植樹会の開会式が行われ、趣旨説明や来賓挨拶があり、その後、参加者全員による植樹を行った。

植栽したのは、この地域の自生している広葉樹200本。木を植えることが初めての人も多く、木を植えることの大切さを多くの参加者が実感した。

●自己評価

事業は計画どおり進んでいる。昨年に続いての参加者も多く、参加者の評判もいいことから、植樹活動への理解は得られている。特に、これまでは本社主導で行われていたが、地元社員が積極的に関わるようになってきた。

●参加者の声

・森林の役割を理解するいい機会になった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	道内	道外	計
0.1ha	200本	0.3ha	0.05ha	66人	4人	70人
樹種：ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラほか						
実施場所：北海道当別町、札幌市白旗山						



地域に自生している広葉樹を植樹

「積水化学の森・うきは」 生物多様性保全の森づくり

うきは市森林セラピー実行委員会

福岡県うきは市浮羽町

●事業概要

森を企業とのCSR活動「生物多様性保全の森づくり」を担うフィールドとして活用し、企業との連携による森づくりを進めることを目的としている。

今年度は、生き物が賑わい、多くの人々が訪れて森と親しむ「生物多様性保全の森づくり」に繋がる取り組みとして、下記活動を実施した。

①荒廃林跡地への植樹活動を実施。②九州北部豪雨で破損した遊歩道へ、木材チップの施設作業を実施。

●事業成果

水源の森保全に繋がる取り組みとして、植樹活動及び、九州北部豪雨災害からの復興支援として、遊歩道整備を実施した。地域住民も多く参加し、復旧・復興への繋がる活動となった。また、森林保全の講話を行い、森づくりの大切さ、森への愛着が深まった。

●自己評価

- ・8月の活動が、台風の影響で中止となったため、活動の実施時期について検討する必要がある。
- ・参加人数が増えてきているため、安全面も考慮して数回に分けて実施する検討も必要である。
- ・活動内容について、体験内容の工夫が必要である。

●参加者の声

- ・何もなかった地に、植樹して森づくりをしたという実感がわいた。(40代男性)
- ・木材チップがふかふかして気持ちよかった。(子ども)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県外	計
0.07ha	80本	126人	126人
樹種：モミジ			
実施場所：福岡県うきは市			



モミジを植樹

和木町協働の森づくり事業

和木町里山研究会

山口県玖珂郡和木町

●事業概要

「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的とし、和木町里山研究会が主体となって地元企業のJXエネルギー株式会社麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口県の職員ボランティアと協働で和木町有林約7haの整備を平成23年から継続している。

●事業成果

雑木や下草でうっそうとし、陽の光が届かなかったヤマモモ林などが適度な日の差す美しい森林によみがえった。

また小学生を対象としたシイタケの植菌体験では、椎茸の植菌から成長、収穫までの流れを学びながら、森の恵みを実感するとともに森林の大切さを考え、学ぶ貴重な機会となった。

●自己評価

事業はほぼ計画通り実施し、十分に目的を達成できたと評価できる。

ヤマモモ林の除伐作業などを通じて、里山研究会会員と参加者が交流を深めながら、技術や森の知識を伝達することができた。今後は除伐や下刈り、清掃だけでなく、植樹も検討し、育成を通じた、参加者の森林への愛着を深める事業も展開していきたい。

●参加者の声

- ・皆で力をあわせ整備したら暗かった森が明るくなり達成感があった。(20代男性)
- ・除伐等の作業を経験できて良かった。自身が所有する小さな森林の整備に役立ちそう。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2.0ha	2.0ha	220人	29人	249人
実施場所：山口県和木町				



下刈作業

いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL 3

“北海道” 千年の森プロジェクト

北海道小樽市稲穂

●事業概要

高齢者から子ども達まで年齢や思想の異なる私達が地球環境を意識し、地域住民との協働で植樹を行う事で、防災や自然環境への意識を高めると共に、近年、都市開発などにより多くの自然が破壊されるなか、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させる為、同会場にて3回目となる「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。

●事業成果

水源地での第3回目の実施で所有者の小樽市、北海道の関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。

参加者も200人を数え、近年協力頂いている小樽海洋少年団員の子ども達を始め、千年の森会員企業の家族での参加が多くみられたのも効果が出てきた実感である。小樽市が今後進める奥沢水源地の公園化に向け、私達が植樹を続ける事により市民が寄与する市民公園づくりとも主旨を共に、今後も環境教育との二本柱で事業を進めていきたい。

●自己評価

この水源地での植樹は10年計画で公園計画の中で進めていく上で近隣の町会や学校との連携の中で進めていくものである為、小樽市立長橋小学校より苗づくりなども協力頂ける事となったので子ども達と私達の連携した計画を広め、植樹、育樹はもとよりメンテナンスなども市民と共同して進めていきたい。

●参加者の声

・今後も小樽市、北海道と意見交換を重ね、同会場にての植樹活動を推進していきたい。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.07ha	2000本	220本	0.14ha	0.07ha	180人	20人	200人
樹種：ミズナラほか							
実施場所：北海道小樽市							



ミズナラなどを植樹

北蔵王水源の森造成事業

宮城森の会

仙台市青葉区東照宮

●事業概要

宮城県仙台市の水源地域である名取川の上流部、北蔵王山麓の水源地林を育成・保全して飲料水、生活用水などの安定確保に資すると共に、人と森林とが共生する森林づくりを行い文化の創造に資するものである。

●事業成果

多くの地域住民が参加して、私たちの重要な水源となっている地域(主要な河川の上流域)の森林を保護育成することの大切さを学んだ。

森林と触れ合う機会が少ない市民が、直接、森林の保育作業などを実践することにより、自然環境の重要性や森林の役割について、理解を深めることができた。

●自己評価

計画どおり、約0.5haの複層林の下木のツル切・除伐作業及び林内歩道の整備などを実施し事故もなく終了した。

地域の水源地帯にある森林を育成する作業の実体験を通じて、自然環境を保全し水源を守ることの重要性について改めて認識した。

●参加者の声

森林の保育作業を通じて、森林と水、森林と自然環境との係わりと、これを守ることの大切さがよく分かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
ツル切り	除伐面積	県内	計
0.5 ha	0.5 ha	50人	50人
実施場所：宮城県川崎町			



除伐作業

緑のボランティアの森記念造成事業 「いずみの森21」

いずみの森連絡協議会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

泉佐野市の野外活動センター及び稲倉池（農業用溜池）に隣接する37haの様々なタイプの森林を管理、育成するとともに、地域の子どもたちの森林体験活動や企業CSR活動の場として、自然観察や下刈り、除間伐など森林に親しむ場として活用されている。現地ではいずみの森ボランティアの会に所属するボランティアが活動しており、薪作りやシイタケ作りなど里山の様々な取り組みが展開されている。

●事業成果

引き続き良好な森林管理を参加者との協働で実施することができ、この森を使った様々な森林体験活動を通じて、里山の大切さを実感することができるとともに、仲間を増やすことができた。

●自己評価

毎年、前期と後期に分けて実行委員会（構成：地元市・教育委員会・土地所有者・その他関係者・ボランティア・トラスト協会）を開催し、計画作りから事後評価を行っている。大きな事故もなく参加者には好評であった。

●参加者の声

本年度、CSR活動の受け入れは、4団体178人で1社を除き、いずれも継続実施団体。活動による充実感を口にする参加者が多かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	府外	計
1.3ha	0.6ha	1.0ha	1048人	142人	1190人
実施場所：大阪府泉佐野市					



森林体験イベント（除伐）

緑のESDの森づくり事業

（特非）宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

宮城県と協定を結んだ県有林5.7haのうち、特に整備の必要なフィールドを利用して多様な主体の協働による森づくり活動を行った。活動の柱は11月7日に85人が参加して開催した立冬のいろいろ森づくり活動と、4月11日に新葉としんようの森植樹祭2016春で、この活動を中心に、スギ林や雑木林の整備活動や地域ボランティアによる活動、協力企業との協働によるボランティア活動、地域や福島県・新潟県から参加した小中学生による森づくり活動も実施した。

●事業成果

長い間未立木地だった0.1haを整備し、ヒノキを中心に植樹を行った他、これまでササと枯損木でひどい状態だった約0.5haのスギ林が、見通しと風通しの良いフィールドに変わり、新しい遊歩道も完成した。また、小中高校生に学校単位で森づくり活動体験をしてもらったほか、親子の体験活動も実施できた。

●自己評価

参加者不足を心配することはなかった点は素晴らしかった。しかし、雑木林を中心にナラ枯れの進行が激しく、作業的に手間がかかる枯損木の伐採・処理活動に追われ、また、ハチの被害があり、遊歩道づくりや育林活動に影響が出ている。

●参加者の声

小中学生、高校生からは、森でいろいろな道具を使う貴重な体験ができた。林業がどういうものなのか初めて分かった、といった声が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
0.2ha	336本	105本	5.3ha	1139人	184人	1323人
樹種：エゴノキ、ヤマモモ、ヤマブキ、ネムノキ、クリほか						
実施場所：宮城県利府町（宮城県有林）						



しんようの森植樹祭

富士山緑の募金の森造成事業

富士山緑の募金の森造成事業実行委員会

静岡市葵区追手町

●事業概要

平成8年9月の台風7号による森林被害の復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動50周年記念事業」として、また「国民参加の森林づくり活動」の場として多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで委員会方式で実施してきた。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成11～27年）

富士山国有林33.6haの現地は、8箇所の針葉樹植栽区域と富士山特有の植生を考慮した7箇所の広葉樹主体のプロットをモザイク状に配置し、森林整備を行うとともにこの間の遷移の状況を調査した。また、企業の参加により緑の募金事業の普及を図った

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、植生調査等継続するとともに、ここ数年来課題としていたシカ対策を行う事とした。企業参加による森林整備活動（針葉樹枝下おろし作業）に加え、シカ防護柵の修繕作業を実施した。

●自己評価

事業はほぼ計画通りに実施できたが、事業計画の作成、事業実行の検証についての現地調査が思うようにできなかった。また、サポート団体の高齢化等が今後の課題。

●参加者の声

リピート参加も多く、好評だった。特に、今年度実施のシカ防護柵修繕作業は、ニュース等でしか知り得なかったことを実感できたとの話が聞けた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
枝打ち作業	シカ防護柵修繕	県内	県外	計
2.1ha	200m	35人	216人	251人
実施場所：静岡県富士宮市（富士山国有林）				



枝打ち作業

「赤西溪谷・水源の森」保全事業

(特非) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

●事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行い、環境林、水源かん養林の保全活動を行うことである。主な活動は以下のとおりである。

- ①植林地の下刈り、遊歩道の補修整備
- ②森林環境教育（新入社員研修、森林観察、水棲生物観察）
- ③木工クラフト（間伐材を使ったコースターづくり、落ち葉などを使ったコラージュづくりなど）
- ④一般市民（県内ボーイスカウト）への森林環境学習

●事業成果

この保全活動も8年目に入り、企業、NPO、森林管理署による保全活動の基盤が確立された。また、学生の水棲生物研究にも活用されて、参加者の広がりが見られた。

加えて、新入社員研修やボーイスカウト団体の森林環境学習のフィールドとして使用することで、参加者のさらなる広がりの可能性を確認した。

●自己評価

現在の活動エリアが、国定公園、保安林であり、森林整備系の活動に一定の制限がある。このことから、森林管理署と調整の上、エリア外の森林（有が原国有林）で間伐作業を実施したが、今後も同様の対応が必要になる。

●参加者の声

植林地の下刈り作業においては、その作業の大変さとともに、植林した苗木の成長を確認することで、森林保全活動に参加していることを実感する声も聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	0.3ha	177人	115人	292人
実施場所：兵庫県宍粟市原（赤西国有林）				



植林地の下刈り作業

100年の森佐世保植樹祭

(特非) 100年の森佐世保

長崎県佐世保市上本山町

●事業概要

植樹予定地は、無農薬無肥料農法や炭素循環農法を実践、普及活動を展開している農場隣接地。間伐せずに放置された急斜面は、繁茂したタケが枯れるなど崩落が懸念され、斜面下の小川の下流部への影響も考えられる状況。特に、佐世保市の郊外部は急傾斜地が多く、地震による竹林の崩落の懸念は、住民の不安材料にもなっている。

そこで、植樹により、防災環境保全林を形成させるほか、整備の過程で発生する木やタケをチップ化し畑にすき込んでキノコ菌を繁殖させて野菜を作り、後日、植樹参加者らが収穫、調理して食べることで、都市住民に森の成長とともに、森と畑と自分たちの命のつながりを体感してもらう。

●事業成果

竹林は伐採され、日当たり、風通しが抜群に良くなり、そこに植樹を実施した。今後数年間、管理を継続することで、タケは消えて、実のなる林になることが予想される。

●自己評価

計画通り達成できた。年末の慌ただしい時期での開催にもかかわらず、多くの市民が参加していただいた。

時々開催される農業のイベント時に、市民に手伝ってもらい、森への関心を高めていきたい。

●参加者の声

伐採したタケや雑木が、キノコ菌によって分解され野菜が育つことを隣接する畑で実際に見学できたので、森が私たちの生命を育てていることに気づいて、びっくりしたという声も多かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.034ha	1000本	0.034ha	65人	5人	70人
樹種：タブノキ、スダジイなど					
実施場所：長崎県佐世保市					



タブノキ、スダジイなどを植樹

海の森育樹プロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

東京都が進める「海の森づくり」では、これまで植樹が行われてきたが、植樹からすでに7年以上経過している場所もあり、植樹された木も大きく成長してきている。しかしながら、手入れがされておらず、外来種やツル性の植物に樹木の育成が妨げられてしまっている。

そこで、除草作業と、クズやヤブガラシの除去作業を行った。また、強い潮風により枯れて倒れてしまっているものについては、伐採することで樹木の成長しやすい環境を創出することができた。

●事業成果

今回の活動により、樹林地の除草作業を広範囲で、樹木の生育環境を整えることができた。特にセイタカアワダチソウやアザミは、樹林内に複雑に生えてきており、機械で一斉に作業できないくらい密度の高い樹林地では、人手が必要であったため、今回の活動の大きな成果となった。

また、こうして大勢の方が参加で行う海の森での育樹活動は今回が初であり、今後のモデルケースとなった。

●自己評価

今回の育樹活動では、本来であれば、間伐や剪定も行いたいところであったが、オリンピック・パラリンピック準備の関係でさまざまな活動が抑制された。そうした制限の中でも、育樹をテーマとし、さらに子どもでもできる活動として、よい事例となったのではないかと考えている。

●参加者の声

- ・除草作業と聞いて、最初は簡単と思っていたが、やってみたら意外と大変だった。
- ・子どもと一緒に活動ができてよかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	堆肥撒き	都内	計
1.5ha	1ha	125人	125人
実施場所：東京都（海の森公園予定地）			



子どもたちも参加して「海の森づくり」

みんなで作ろう 海の森プロジェクト2016

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

本事業の目的は、一般市民参加で進めている海の森公園において、市民参加で行うことのできる公園管理の一端を実施するとともに、森づくりの大切さや自然への興味関心を育むことにあり、主な活動は、森づくりにより生まれた環境に生きる生きものの調査・観察および、クズなどの森を覆いつつある植物の除草作業を行った。

●事業成果

①前年度までの成果など

計164人の親子での活動を実施した。海の森を探索しながらの生き物調査をはじめ、そこにない環境を創出することによる自然への影響を見ることで、人が自然と関わることの意味や影響を体験を通じて学ぶことができた。さらに海の森では確認できていない鳥が見つかるなど、森の多様性にも寄与する活動となった。

②今年度新たに得られた成果など

夏には海の森を知ってもらうことを主とした森の観察会を2回実施した。海の森の環境を理解するための活動の後、クズの除去を行い、今後の海の森に必要な育樹活動の一端を体験してもらうことができた。ただ、メンテナンスを予定していたが、荒天により中断となった。

●自己評価

今年は夏と秋の二回にわたり行うことができた。来年よりオリンピック・パラリンピック関連工事が本格化することが予想され、立ち入ることができると貴重な機会となった。今後どのようなことができるか検討していきたい。

●参加者の声

・たくさんの生物を見つけることができて楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	都内	都外	計
クズ除去	143人	11人	154人
0.8ha			
実施場所：東京都江東区			



クズなどを取り除く

「みたけ木曾川水源の森づくり」活動

みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会

岐阜県可児郡御嵩町御嵩

●事業概要

本事業は、年2回ボランティア活動の参加者に向けて自然環境に対する意識向上を図ること及び森林環境教育プログラムにより水源かん養地における水源林の整備を目的として活動を実施している。

- ①作業道補修整備作業（作業道の支障となる脇の支障木及び枝を伐採ほか）
- ②植樹木育林作業（高木性の樹木を育成木と設定し、周囲の伐採、刈払いにより空間を作り、多様な階層を作る作業）
- ③森林学習会
- ④平成27年度植樹木の周囲を下刈り

●事業成果

作業道の補修により林内の移動が容易となった。また支障木の伐採により鬱蒼とした森林内に光が差し込み、林内の奥まで整備が完了したため散策範囲が広がった。

地元森林ボランティアとの協働作業により交流ができた。森林学習会により作業内容を深く理解できた。

●自己評価

森林インストラクターを中心として直接作業を指導するスタッフ及び森林ボランティアと連携して参加者に対する十分な活動支援ができた。

作業前に環境学習を取り入れたため、作業内容が理解でき、意義のある活動となった。

作業場所付近までは車両乗り入れが困難な場所であるため、作業時間の確保が課題であった。

●参加者の声

・整備されていくにつれて、すがすがしい気分になった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	作業道補修	県内	県外	計
0.2ha	60m	60人	81人	141人
実施場所：岐阜県御嵩町				



支障木の整理

企業と協働による「高梁美しい森」 森林整備事業

(特非) フォレストフォーピープル岡山

岡山県高梁市浜町

●事業概要

高梁市有林の一部「高梁美しい森」内に企業の森「ENEOS みらいの森」を選定し、J Xエネルギー社および関連企業の社員と家族、高梁市、NPO法人フォレストフォーピープル岡山との協働による森づくり活動を行うことにより、森林環境保全、地域社会と地域の発展に寄与することを目的とする。

10年計画で森林保全活動を計画・実施しており、4期目となる今期は、下刈り、遊歩道の整備、マツ林整備等を行った。また、炭焼き等の自然体験活動及び自ら焼いた炭を使いBBQを実施するなど自然を満喫することができた。

●事業成果

今期は、4回の活動を計画したが、悪天候で3回の実施となった。そのため、計画通り進まなかったところもあるが、林内へ新たな遊歩道の設置により、林内の移動が快適になった。ふれあいの森周辺及び遊歩道の新設、全区域へのアクセス向上に努め、気持ちの良い空間ができつつある実感を参加者皆で共有することができた。

●自己評価

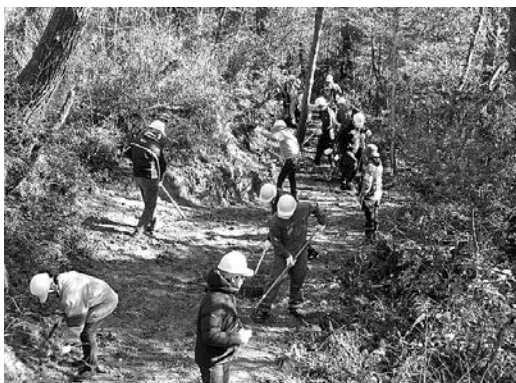
計画した4回のうち1回が悪天候で中止となり、計画通りに作業が進まなかった。そこで、事業期間内にボランティアやプロボノの方々の協力により、環境整備活動を複数回行った。

●参加者の声

・自然の中での作業はストレス発散にもなることがとても楽しい！(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
1.5ha	0.9ha	427人	427人
実施場所：岡山県高梁市（高梁美しい森）			



遊歩道整備

さいたまの森林づくり支援事業

(特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

本県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

●事業成果

県内の高校生や小学生が校内では体験できない植樹や間伐、下刈り等の山の作業を行なうことによって森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持たせることができた。また、都市部の企業の職員や家族など多くの方々が参加して行う森林ボランティア活動（間伐、除伐、落葉掃き等）を支援することによって、参加した人が森林に親しみながら森林の持つ力（国土の保全・水源かん養等）について体感し学ぶことができた。このことによって、温暖化防止のための森林づくり運動に寄与することができた。

●自己評価

県内の高校生や小学生及び都市部の企業職員やその家族に対し、安全な森林体験活動をしていただくことができたとともに、活動時に森林の有益性について説明し森林の大切さを理解してもらえた。

●参加者の声

・下草刈りの実習（高校生）をすることによって、手入れの行き届いた綺麗な山となり良好な山の自然環境がいかさされていると感じている。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
10.6ha	211本	2.0ha	0.7ha	2.9ha	648人	107人	755人
樹種：ヤマザクラ、ヤマモミジ、ヤマグリ、アカマツほか							
実施場所：埼玉県三芳町・越生町・長瀬町・小川町・横瀬町							



高校生による下刈り作業

緑の祭典“かながわ未来の森づくり” 2016 in おだわら

県民との協働による森林づくり実行委員会

横浜市西区岡野

●事業概要

平成22年5月に開催した第61回全国植樹祭を契機に、平成13年までに53回行われていた県植樹祭を復活したものの。本県の森林再生の取組を発信するとともに、県民との協働による森林づくりを推進していくため、県西部の小田原市において循環利用可能な森林づくり活動を力づける象徴的なイベントとして開催した。

●事業成果

- ①目的である、循環利用可能な森林づくりの一步ができた。
- ②水源地や製材所・間伐材の貯木場の見学を行ったことにより、林業や水源の事業について理解を深めていただけた。

●自己評価

今回の最終目標である1200本の苗木の植樹、及びシカ食害防止ネットの設置は予定通り終了した。

また、式典会場等で、神奈川県森林再生に対する取り組みや間伐材利用などの紹介をすることができた。

その一方で、新聞社の協力で、参加募集の広報を行った時に無花粉スギ・小花粉ヒノキの植樹ということだったが、花粉症が流行っている昨今、なぜ?…という問い合わせが何件もあり、まだまだこういった事業の紹介が必要だと感じた。

●参加者の声

- ・急斜面でちょっと疲れたけど楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.4ha	1200本	228人	228人
樹種：無花粉スギ、小花粉ヒノキ			
実施場所：神奈川県小田原市			



無花粉スギなどを植樹

木曽川・やおつ水源の森づくり活動

やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

●事業概要

木曽川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実するとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的として実施してきた。本年の事業は下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族、周辺地域住民が地元ボランティアと一体となり、植樹、間伐材を利用したクラフト体験、シイタケの栽培体験を行った。また、環境整備として下刈りと遊歩道整備を行った。

●事業成果

以前の植樹で育成の悪かった区域で客土による土壤改良を行い苗木を補植したことで将来的な森林の水源涵養機能を高めることができた。また従業員と家族や地域住民と地元ボランティアの交流ができ、森林整備の重要性や間伐材の利用について興味をもっていただくことができた。

●自己評価

これまでに植樹が実施され、当時採草場であった場所が森に生まれ変わっている。保水力の低い区域にも樹木が育ち、水源涵養機能を高めることに貢献していると思われる。また、多くの野生動物やその生息の痕跡が見られ、生物の多様性に貢献していると思われる。

●参加者の声

- ・自分で植えたサクラが大きく成長するのが楽しみ。(女性)
- ・森林整備の大切さを学ぶことができた。(男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1ha	35本	8ha	137人	138人	275人
樹種：サクラ					
実施場所：岐阜県八百津町					



サクラを植樹

2016年春 多摩動物公園森づくりプロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

多摩動物公園内の雑木林は、日が当らず、生物多様性の低下が懸念されている。また、樹齢50年を超える林であるため、一般的な伐採管理では萌芽更新が期待できない状態である。

この森で、企業社員やその家族の参加によって明るい雑木林を好み多様な生物が暮らす環境することを目的に、継続した整備活動を行う。また、自然を守り、人と森とが共存する意義を理解し、雑木林の管理と生き物について知る活動も同時に行う。

●事業成果

①前年度までの成果など(平成27年)

昨年、アズマネザサの刈り込みによる森林の整備とシイタケの菌打ちを実施、里山の活動を体験した。

②今年度新たに得られた成果など

ネザサの除去により創出された明るい環境を、さらに広範囲に広げ実施。見通しの良くなった林内環境を散策しやすい様、階段や散策路づくりを行った。また、子どもを対象に自然の素材を楽しむ万華鏡づくりを実施。

●自己評価

苗畑として作ってきた場所の乾燥が激しく、苗木づくりの継続が難しくなった。そこで、明るい環境を作ることで実生の育成を助ける活動へ転換した。よい決断だったと考えている。

●参加者の声

・森や山の散策ができるようになるには、とても労力のいることだと実感した。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	都内	計
1ha	0.2ha	0.1ha	67人	67人

実施場所：東京都日野市



散策路づくり

奈良県吉野山の森づくり事業

(公財) 大阪みどりのトラスト協会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

奈良県吉野山地区の耕作放棄地とされた水田跡地に、多様な樹木の苗木を植栽し、地域のシンボルとなる森林を再生する事業

●事業成果

地元幼稚園児の参加による、種まきから植樹作業まで、森林循環機能の体験の場を提供した。

耕作放棄地の整備に貢献した。

土地所有者が積極的に参加してくれるようになった。

●自己評価

事業の進捗状況と、学校教育関係者の連携はスムーズに図れた。

反省点は、土地の選定及び土地所有者の同意を得るのに手間取った。

今後の課題として、長期に亘る植栽木の管理方法。環境林としての付加価値の付け方等。

学校教育関係者との連携。現場指導者の育成。

●参加者の声

・植樹イベントは、親子連れ参加者が多く、初めての植林体験に感激していた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	府内	府外	計
0.3ha	125本	57人	8人	65人

実施場所：奈良県吉野町



親子で植樹

平成27年度東日本大震災復興事業 (鹿島灘海岸防災林復旧)

(公社)茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

東日本大震災で被災した海岸防災林の一部のマツ林を再生し、防災林復旧のシンボル拠点とし、茨城の林野海岸60kmに分布する津波やマツクイ虫で壊滅状態の被災部分を抱えた飛砂防備保安林や防潮林のマツ林の再生の必要性を県民に発信する活動です。

①植栽(抵抗性クロマツ)、②緑の出前授業、③参加4校の児童生徒による緑の誓い。

●事業成果

荒廃している前浜保安林に抵抗性のマツを地域の子供たちと一緒に植え、マツ林の将来にわたる保全の誓いを行ったことで、海岸の荒れ地が緑化されたことと、緑の少年団などの次の世代に植林の重要性を認識させることができ、体験学習と同時に社会貢献活動になった。

●自己評価

達成状況としては海岸防災林保護のため行政が実施した前砂丘固定工により保護された前浜の荒廃地を抵抗性マツなどの植栽をしたことより、防災林松林の復活、ひいては地域社会の安定に貢献できたことと同時に、景観の修復に大きく貢献した。息の長い活動にしていきたい。

●参加者の声

・砂浜に新しい苗木を植えたので環境保全に役立つと安心した。津波被害を軽減するための砂丘が大きくでき、そのうしろに潮害や飛砂に強いマツなどを植える経験をしてうれしかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.968ha	1200本	377人	3人	380人
樹種：クロマツ				
実施場所：茨城県神栖市				



クロマツの植樹

旭復興事業 2015

(公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

津波やマツクイ虫などの被害により枯損や無立木化した海岸林(市有海岸保安林)の再生を図り防災機能の回復を図るとともに、次世代を担う地元小学生によるマツなどの植栽イベントへの参加をとおして、森林や緑づくりの大切さについての普及啓発を図ることとした。

植栽イベントは、計画日に不測の事態が発生、小学生による植栽を中止せざるを得なくなったものの、学校において苗木の贈呈や海岸林についての啓発授業に変更、後日、市民ボランティアと市職員による植栽を実施した。

●事業成果

クロマツに代表される海岸保安林が重要であることが地域住民に認識され、早期の回復と継続的な活動が望まれている。また他事業を利用しての海岸林の再生活動や造成も進められている。

●自己評価

これらは本来、公共事業(工事)にて実施していくべきであるが、森林づくりの大切さや津波への防災意識の高揚などを図る上で、植樹イベントを実施することが重要と考える。

また植樹した箇所を維持管理していくことで、健全な海岸保安林の形成を図っていく。

●参加者の声

・海岸にあるマツ林は、暮らしを守る大切なものなんだと知ることができた。(小学生)
・私たちの植えたマツが丈夫に育ち、防災効果を発揮することを願います。(市民ボランティア)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.166ha	1664本	118人	4人	122人
樹種：クロマツ、マサキ、トベラ				
実施場所：千葉県旭市				



クロマツ、トベラなどを植樹

自伐型林業による北上圏域震災復興支援(就業づくり)事業

(特非) 持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会

東京都新宿区西早稲田

●事業概要

自伐型林業を核とした第一次産業(林業)の新しいカタチを確立し、優れた環境保全型林業と新規就労を合築した展開を図ることを目的とする。

事業内容は、自伐型林業の普及啓発、関心のある方を対象とした自伐型林業研修、自伐型林業を始めたい個人・団体等への支援、コーディネートを実施した。

●事業成果

林業及び自伐型林業に関心のある方は多く、毎回の研修に30人～40人の参加をみる事ができた。一方、研修を通して、自ら自伐型林業を始めたい研修生が出てきたり、仲間で動きたいチームが組まれるなど、関心から実践への大きなステップの場となった。

林業振興から地域振興につながる大きなアクションを県民に与える事ができた。

●自己評価

- ・想定以上に普及啓発と自伐型林業実践への足掛かりを残してきたことより、十分な達成状況と判断する。
- ・反省点は、想定以上の反響があったため、すべて応えるだけの準備(受け入れ態勢)を整えることができなかった。
- ・今後の課題は、次なるステップアップのための後方支援とコーディネートを、経費捻出等も含めてどう継続していくかである。

●参加者の声

- ・プロフェッショナルな講師陣にとっても感銘を受けている。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		計
	県内	県外	
研修 10回	322人	17人	339人
実施場所：岩手県北上市			



人工林内での研修会

3.11 復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

目的は、津波で枯れた千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すことである。主な活動は、次のとおりである。

- ①津波により枯れた木々の撤去とチップ化処理と敷き詰め及び転圧
- ②海岸林に適した樹種の植林
- ③植える位置をマーキングするための目印棒の設置
- ④苗木の生長を風や潮で阻害させないための竹柵の設置

●事業成果

- 地域住民と都市のボランティアが連携・協力しながら、
- ①津波の被害を受けて枯れてしまった海岸林を地拵えから植栽までを行ったことで、林内の再生が進んだ。
- ②抵抗性クロマツの植栽を行えたことで、病害虫に強い海岸林ができる。
- ③企業の社員ボランティアを巻き込みながら共に活動を行ったことで、新しいボランティアの輪が広がった。

●自己評価

当初の予定以上の面積を整備できた一方、震災から5年が経過し、徐々に海岸林再生に関心を寄せる人が少なくなってきている。植栽後には下刈りが待っていることから、多様なボランティア獲得プランを考えたい。

●参加者の声

- ・3世代で参加しました。海岸林が来るたびに広がっていて感動します。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.25ha	2500本	0.6ha	0.3ha	42人	160人	202人
樹種：クロマツ						
実施場所：千葉県山武市(県有林)						



クロマツを植樹

「岩沼潮除須賀松の森」再生植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

沿岸地域において、震災復旧支援の一環として植樹活動を行い、海岸防災林の再生と地球温暖化防止に貢献した。

●事業成果

森林や海岸防災林とふれあう機会の少ない他県の方や高校生、地域住民及び全国ボーイスカウト全国大会参加者が多数参加した。

参加者には、震災の状況、海岸防災林の防災機能や植樹後の機能回復までには30～50年以上の管理が必要であることなど説明した。

海岸防災林の植樹活動の大切さや防災機能の重要性など自ら体験することで更に関心が高まった。

●自己評価

ほぼ計画のとおり実施できた。

海岸での植樹活動が初体験の参加者もあり、計画時間内に終了できなかった植樹日もあった。参加者の植樹経験や年齢などにより、時間の設定に余裕をもった行程が必要であった。

今後の除草作業などの保育活動については、現地確認や参加者にあった道具、指導スタッフ数の配備を検討する必要がある。

今回の参加者が再度活動に参加できるように、日程や内容の検討を考え保育活動を継続させたい。

●参加者の声

・震災から5年が経過したがまだまだ時間がかかると感じた。今後も微力ながら継続参加したい。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.5ha	2500本	173人	103人	276人
実施場所：宮城県岩沼市（市有林）				



クロマツを植樹

「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

海岸防災林再生と地球温暖化防止に貢献する森林づくりを、公募等により地域住民と県内団体の協働により行った。

●事業成果

ほとんどの参加者が震災復興への貢献を模索していたが、具体的な仕方が分からなかった。しかし、今回、海岸防災林の目的や意味を理解できた。植樹作業を行った結果、「また来たい」「植えたクロマツに愛着ができた」「復興事業の手助けができてうれしい」などの感想を得ることができた。今後は、この経験を会社関係、他の団体等に呼びかけ、数多くの方々に参加を促す材料としたい。

●自己評価

計画のとおり植栽できた。また、公募団体の活動区域を現地排水路ごとのブロックに分けた結果、計画のとおり植樹が完了した。さらに、高校生やみどりの少年団及び小学校の児童や年配の参加者が多くあった。

今後現地を確認しながら適期の除草作業を来春から計画したい。

反省点では、事故等は無かったが、植樹地の盛土面が硬く、植穴掘削が女性や子ども達の作業では困難だったこと。また、植樹活動の場所がないことや、雑草の処理が大変だったことなどや参加者の移動等に時間がかかるとの意見があった。

●参加者の声

・植えたクロマツに愛着がわきました。除草作業を含め数十年単位で見守りたい。(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.7ha	3822本	346人	12人	358人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県岩沼市（岩沼潮除須賀松の森）				



クロマツを植樹

松川浦海岸防災林 (相馬市大洲国有林) 植樹事業

(特非) DO55

東京都千代田区永田町

●事業概要

目的は、東日本大震災で被災した海岸防災林の再生であり、磐城森林管理署管内の松川浦においてクロマツを植樹した。

●事業成果

防風柵に囲まれた0.15haの箇所に800本の抵抗性クロマツを適正な間隔で植樹したことにより、海岸防災林としての健全な生育が見込まれる。

●自己評価

- ・前年3月の南相馬市植樹祭・植樹関連講習会・シンポジウム・現地研修会への参加などにより植樹作業が極めて順調に進んだ。
- ・地元の小中高生・大学生など多くの参加があり、作業結果も一定のレベルに達したものと評価している。
- ・今後とも、こうした参加者との連携を維持・発展させていきたい。

●参加者の声

- ・被災地の現状を肌で感じ、植樹できたことに感動した。
- ・大変有意義な活動で、参加した学生にとって良い経験になった。
- ・他大学の学生との交流が楽しく、良い刺激も受けた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.15ha	800本	35人	38人	73人
樹種：クロマツ				
実施場所：福島県相馬市				



クロマツを植樹

東日本大震災復興祈念・遠野市緑化祭「里山フェスタ2016」

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

東日本大震災の地震により、公共施設等に甚大な被害を受けた。また、東京電力の原発事故による農林産物への風評被害の影響が残っている状況の下、市民による植樹活動を通じて次代を担う子どもたちに緑豊かな森林を引き継ぐとともに、震災から立ち上がる市民一人一人の絆を深める場とするため、コナラの植樹及びニホンジカなどの獣害防護資材の設置など、早期復興を祈念する遠野市緑化祭を実施した。

●事業成果

市民、緑の少年団など約240人が参加し植樹などを行ったことにより、早期復興に対する思いや緑化意識の高揚につながった。また、ニホンジカなどの獣害防護資材を設置したことにより、植樹したコナラが順調に生長していくものと期待されるとともに、市有林内に植樹を行ったことにより、原発事故により大打撃を受けた原木シイタケ生産の復興を図ることができる。

●自己評価

植樹を実施することができ、市民の緑化意識が高まったものと評価される。今後、より多くの市民などの参加を募り、緑化意識の高揚を図っていきたい。

●参加者の声

- ・穴を掘るのが大変だったが、木を沢山植えることができて楽しかった。(緑の少年団)
- ・植えた木が早く大きくなるのを見てみたい。(緑の少年団)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
1.34ha	2100本	241人	241人
樹種：コナラ			
実施場所：岩手県遠野市 (市有林)			



240人が参加してコナラを植樹

「木育」推進プロジェクト

(公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、幼稚園、保育園、小学校の園児児童たちに、森や木とふれあう機会を提供し、子どもの頃から身近なものとして森や木とふれあうことを通じて、暮らしと、森や木との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと。内容は、森での植樹と森林とのふれあい体験活動、幼稚園等の園庭に地域のシンボルとなる木を植え、苗木をつくる取り組み。木育広場を開催し、木と遊び木に学び木とふれあう取り組みを行った。

●事業成果

木を植えることが初めての人も多く、木を植えることの大切さを多くの参加者が実感した。また、保育園や幼稚園での日常の会話の中でも、森の体験を話すことが多くなり、子ども達に強い印象を与えたと、保育士さんが話している。苗木づくりの体験を通して、木の種を蒔くことが子ども達の遊びとして浸透。木の実を見つけるたび、土の中に植えていた。

●自己評価

事業は計画どおり進めることができた。参加者の評判もよく、これからも続けてほしいとの声が多いことから、来年以降も実施する計画である。体験メニューをもっと豊かにすることで、中・高生、大人も参加できることも考えていきたい。

●参加者の声

- ・子どもが森林や木に関心を持ついい機会になった。
- ・親も、森林を理解するいい機会になった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植樹	苗木づくり	道内	計
277本	320苗	2349人	2349人
実施場所：札幌市、福島町、木古内町、松前町、知内町、室蘭市、平取町、苫小牧市、北斗市、函館市、当別町、恵庭市の小学校、保育園など			



木育広場

札幌市澄川環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業

北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

侵入した外来種ニセアカシアの除伐、巻枯死を行いギャップ地に郷土樹種の復活。

ツルに覆われた樹木の排除で美しい森づくりをめざす。

間伐材を活用して薪、炭、ホダ木、木道づくりに活かす。

●事業成果

①前年度までの成果など

作業道の整備：林道は拡張され軽トラックでの運搬は除伐材・集材や機材の搬入の効率が図れた。

ニセアカシア除伐後のギャップ地を整備して187本の広葉樹を植栽した。

②今年度新たに得られた成果など

作業道の拡張：機材の搬入が現場まで行けるようになり危険木、傾斜木の排除する事ができた。

ニセアカシアの巻枯死：葉は完全に枯れ除伐効果を期待したい。

●自己評価

概ねスケジュール通りに進んでいるが、ニセアカシア除伐は進んだがこの後の萌芽更新が旺盛でその刈り取りに苦勞した。ツルで覆われた枯死木の整理に時間を取られギャップ地への植栽が遅れている。

●参加者の声

避難小屋の完成で会員、訪問者からは、安心・安全は担保され休息の場所として好評だ。枯死木の整理で森が綺麗になったとの感想も聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.4ha	194本	0.4ha	1.5ha	796人	1人	797人
樹種：ミズナラほか						
実施場所：札幌市南区						



下刈作業

富良野地域の緑化及び環境教育事業

(特非) C・C・C富良野自然塾

北海道富良野市下御料

●事業概要

富良野と広域の住民とともに地域に豊かな森林環境を残すことを目的とした植樹会を計6回開催し、元ゴルフ場の緑化推進及び地球環境への意識を高める環境教育事業を実施した。

●事業成果

全国各地から植樹会に参加者が集い、元ゴルフ場の約19haのうち約1.2haに1740本の苗木を植えた。継続して参加する人が増え、森を育む意識の広がりや教育的効果が得られた。自然に詳しい講師を招き、森づくりの意義を広めることができた。

●自己評価

植樹会には、子から祖父母世代まで三世代が参加し、子どもは大人の姿をみて学んだ。また、様々な地域から集う参加者と地元住民との交流も生まれた。世代や地域を越えて集い、森をつくることに意義を感じた。地域社会のためにも、より多様で多くの人に関わり、植樹会を継続して実施し、緑化及び環境教育を進めることが今後の課題である。

●参加者の声

- ・小さい子にもできる植樹方法なので、教育にもとてもいいし、何より、自然の中で体を動かすことが気持ちいい (30代女性)
- ・木を植えることをずっと続けていきたい。次は、孫も連れてきたい (60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
1.2ha	1740本	1ha	181人	28人	209人
樹種：ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ホオノキ、ナナカマドほか					
実施場所：北海道富良野市					



ミズナラ、ハルニレなどの植樹

オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森づくり

岩木山桜会議

青森県弘前市御幸町

●事業概要

津軽地方のシンボルである岩木山とその山麓周辺は青森県民の憩いの森林地帯となっている。この山麓に市民が自主的に植えたオオヤマザクラの並木道を地域住民と一緒に、保育・保護活動及び清掃活動をした。また、麓に弘前城築城400年記念として植えた森の下刈りなどの手入れをした。こうした活動により、森林の大切さや環境問題などを認識していただくとともに、森林の持つセラピー効果・リラックス効果を体験できた。また、このことにより世代間、住民間の交流と健康増進が図られた。

●事業成果

並木道の手入れを毎年しているところから、春にはヤマザクラが咲き、県内外の多くの方々に変喜ばれている。並木道の枯木の撤去、植樹により、並木道の保護とその発展に貢献できた。

●自己評価

並木道の手入れには、募集人員に対して100%の応募があり、また、森林観察会では、森林の持つ機能やセラピー効果について学習できた。

●参加者の声

- ・年々、オオヤマザクラの並木道が充実していくのが分かる。それに関わっていると思うと大変嬉しい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
30本	約200本	1.5ha	162人	3人	165人
樹種：オオヤマザクラ					
実施場所：青森県弘前市御幸町					



オオヤマザクラの植樹

活樹祭～こども間伐体験～in南部町

三八みらいの森づくり協議会

青森県三戸郡五戸町

●事業概要

目的は、子ども達が体験を通じて林業への理解を深める機会とすることである。主な内容は、次の通りである。

①形質不良木の伐採、②枝打ち作業の体験、③参加者に対する森林環境教育(会員を講師として現場での説明)、④木材加工(製材)施設の見学、⑤木工体験

●事業成果

普段、森林・林業と触れ合う機会の少ない参加者が、作業の大切さや大変さを理解し、また、実際に木を使うことで木の活用法、可能性に気づいた。

●自己評価

初めての開催にしては、よくできたと思う。ただ募集に時間を要し、開催が当初の計画より遅れたことが反省点である。今後の課題としては、学校行事が前年度にほぼ決定するためもっと早い段階でのアプローチが必要と思われる。

●参加者の声

Q1:「活樹祭」参加の動機

おもしろそうだから(6人)・作るのが好きだから(3人)

Q2:林業体験はどうでしたか

大変なめになった(8人)

Q2-2:林業体験のなかで別な作業を体験してみたいものはありますか

苗木の植え付け(5人)・刈り払い(3人)・チェーンソー伐採(2人)

Q3:木のイス(プランター)はうまく作れましたか

大変うまくできた(7人)・まあまあうまくできた(3人)・もっといろいろ作ってみたい(2人)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積		
0.32ha	14人	14人
実施場所:青森県南部町		



木工体験

活樹祭～こども間伐体験～in八戸

八戸活樹祭実行委員会

青森県八戸市卸センター

●事業概要

未来を担う子ども達に日本の森林や青森県の森林に興味を持ってもらい、森林を手入れすること、そして国産材を利用することの大切さを楽しく学んでもらうために、「活樹祭」として林業体験や工場見学、木工体験を行った。具体的な内容としては、森林の機能、間伐・枝打ちについての簡単な講義を行った後に実際に作業を体験してもらい、チェーンソーによる伐倒の見学、ツリークライミングを行っての樹上での特殊伐採の見学、三菱製紙八戸工場でのチップから紙を作る過程の見学、木工体験を行った。

●事業成果

参加者は初対面の人の多い環境で表情も多少こわばっていたように見えたが、空気の良い森林内で笑ったり驚いたりしているうちに自然と緊張もほぐれ、帰る頃にはいきいきとした良い表情になっていた。その過程で林業に明るいイメージを抱いてもらえ、森林の保全や国産材の利用についてもプラスなものとして印象に残すことができた。

●自己評価

目的は果たすことができたと感じる。しかし、地元の数十万人規模の集まるイベントと重なってしまったこともあり参加者が当初の設定人数まで達しなかった。今後の課題としては日程の慎重な設定と効果的な募集方法により人数を確実に集めたい。

●参加者の声

・森には役割がいっぱいあってすごいと思った。

・自分で作ったイスを持ち帰れてうれしかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県内	計
1.60ha	0.1ha	9人	9人
実施場所:青森県南部町			



枝打ち作業体験

森林ボランティアの力で 松枯れ対策プロジェクト2015

(特非) 遠野エコネット

岩手県遠野市附馬牛町

●事業概要

目的は、県内各地で深刻な問題となっている「松枯れ」の被害拡大防止を図ること、また、伝統的な炭焼き技術の伝承を図ることであり、その主な内容は、次の通りである。

- ①遠野市宮守町内の山林にて「林の除・間伐と搬出」。
- ②炭焼き窯づくりを実施し、5日間の「炭窯づくり体験会」を企画し開催。
- ③平成27年12月以降毎月「炭焼き」を実施し、その間の1日は「炭焼き体験会」として開催。
- ④研究者を講師に招き「松枯れ対策セミナー」を開催。

●事業成果

一般市民や地域の森林ボランティアが参加できる「炭窯作り体験会」や「炭焼き体験会」、「松枯れ対策セミナー」を開催する事ができ、「松枯れ」や木炭技術の継承への貴重な啓蒙機会となった。また、アカマツ林を森林ボランティアの力で除・間伐し、その材を搬出し、木炭材として活用することができた。

●自己評価

当初、炭焼きをするための炭窯を、宮守町の山林内に設置する計画を立てたが、管理上の問題があり、当会の活動場所である「遠野・薪の駅」への設置となってしまった。また、「炭焼き体験会」について、参加者が少なくなってきており、今後は内容やPR方法の再検討が必要である。

●参加者の声

- ・炭俵作り、前回よりはマシな物に仕上げられて嬉しかった。箆笥の上に消臭剤として置きました。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
約4ha	約4ha	205人	8人	213人
実施場所：岩手県遠野市				



炭窯づくり体験会

ふるさとの里山整備活動と 自然環境(里山)保全啓発事業

(特非) こが里山を守る会

茨城県古河市恩名

●事業概要

荒れがちな里山の景観を取り戻すべく平成21年に23haの平地林から産業廃棄物の撤去など、保全整備に着手する。並行して地元の小中学校に自然環境(里山)保全体験学習の場として活用を要請し、生物調査・森の恵み・里山保全整備・植樹などの体験学習活動を実施している。この子どもたち参加の体験活動は、自然環境(里山)観察会が古河市の委託事業として平成25年より開催、本年度で4回目になる観察会を開催し多くの市民の参加を得た。このことが自然環境保全啓発活動に繋がった。

●事業成果

ゴミがなくなって整備された里山及び子どもたち参加による自然環境体験学習活動が市民に周知されてきた。以前は荒れ放題でゴミの不法投棄場所になっていた里山も自生した山野草も甦り、市民の関心が高まってきた。

●自己評価

活動が周知されてきたことにより、ゴミの不法投棄が少なくなってきた。また、市内の幼稚園より里山体験を行いたいとの要望が寄せられ、10月に2回、里山の恵み(どんぐり拾い)を実施、今年度も要請がある。今後は、子どもたちの活動の危険性除却のため、立枯れ木伐採を進めたい。

●参加者の声

身近なところに自然環境豊かな里山があったのかと驚きの声が多く聞かれた。里山に接していくことがゴミの不法投棄を防ぐことに繋がること認識されてきた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
100本	8.1ha	0.6ha	1ha	860人	860人
樹種：ヤエザクラ					
実施場所：茨城県古河市					



市民参加で里山保全

茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動

いばらき森林クラブ

茨城県ひたちなか市高野

●事業概要

目的は、県民の森の中にあるスギ採種園の跡地が手入れされず荒れたまま放置されていたので、毎年伸び放題となる雑草を刈払機できれいに刈取り、その後に広葉樹を植樹し、訪れる人たちが楽しく散策できるきれいな森森づくりを実現することである。

●事業成果

1年間を通して6回(会員参加数 延べ54名)の整備活動を実施した結果、雑草の伸びをおさえることができた。

以前に植樹したイロハモミジとコブシが良く生育してきたので、形よく剪定作業を行い、またヒトツバタゴの成長を助けるため周囲の雑草を除去した結果、樹高1m以上になり、今後に期待できる状況となった。

●自己評価

年間活動日程に対する天候は今年度もほぼ恵まれた。1回毎の参加者は前年度より微減したが満足な成果があったと思う。植樹においては、穴掘り、施肥、水遣り、支柱方法などについて経験と話し合いにより植樹の技術が本年度も向上した。

●参加者の声

・いばらき森林クラブが県民の森内での森林整備活動を始めて、今年度で10年目を迎えた。活動拠点である県民の森のスギ採種園跡地は年々成果が出てきており、以前の跡地から見ると、すばらしい森林に生まれ変わっている。(県民の森管理者)

実績取りまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.2ha	146本	1.7ha	282人	1人	283人
樹種：ヒトツバタゴ、イロハモミジ、ヤマザクラほか					
実施場所：茨城県那珂市、水戸市、常陸大宮市、ひたちなか市ほか					



ハヤトミツバツツジの植樹(那珂湊第一小学校)

地域の子供たちを森へ誘う事業2015

(特非) NPO埼玉ネット

さいたま市北区日進町

●事業概要

親子で触れ合いながら豊かな自然を持つ森林に親しみ、自然を愛し大切に作る心や、豊かな心を育むとともに、森林に対する理解を深めることを目的に、日進親和会(商店会)と地元子ども会などと協力して、①森林体験活動として東秩父村と毛呂山町阿諏訪及び権現堂の山林において、観察会・安全研修、近隣調査などの森づくり教室を開催した。②日進小学校で、「どんぐりを育てよう」をスローガンに、森づくりの啓発活動を行った。

●事業成果

普段、森林と触れ合う機会が少ない子どもたちが、作業前後の林を見て、手入れ不足の影響や、森林整備の大切さを学ぶことができた。

●自己評価

【森林体験活動】

活動フィールドが3か所となった。森林安全研修として、参加父親を対象につる切、枝打ち、丸太切り研修を行った。

【自然体験教室】

毛呂山町の森林で観察教室を実施。シイタケのほだ木作りや、どんぐり育成地の下刈り、除伐ができ、参加者から好評であった。

【どんぐりイベント活動】

～どんぐりと遊ぼう～「どんぐりを育てよう」をスローガンに、森づくりの啓発活動を行った。

●参加者の声

・来て良かった。次回は友達を誘います。(小学4年生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
50本	13.1ha	2.2ha	4ha	550人	550人
樹種：クヌギほか					
実施場所：埼玉県日高市、毛呂山町、東秩父村					



親子で森林体験

県境を越えた森づくり連携事業 【PART 2】

(特非) グリーンフォレストジャパン

埼玉県川口市元郷

●事業概要

県境を越えた広域的な視点から、県を越えた森づくりは、相互の交流を通して森づくりをしていかなければならない。

2年目の今年度は、森づくり活動や木工体験を通し、森林から得られる恵みを肌で感じてもらう機会とした。木工教室、森林整備体験教室、林業産業地域の工場見学会、古道整備などを開催した。特に間伐体験を通して森づくりの大切さを体験してもらった。さらに木工によって、森林から得られる恵みを感じてもらう機会とした。

●事業成果

参加者の多くは東京在住者が多かったので、森づくりが都市の水源地にもなっているなど、現在でも重要な地域であることを知ってもらった。地元林業家とも交流会も開催し、江戸時代から続く林業の歴史を通してこの地域の森づくりの重要性を語る会を開いた。これまで、東京・青梅成木地区の林家と埼玉・名栗地区の林家との交流はあまりなかったが、この事業を通して交流も深めることができた。

●自己評価

継続的な森林づくりを行うためには人材確保が重要な課題になってくる。人材確保に苦勞し、森林整備をしながら安全確保と森林実態調査に時間がかかってしまった。地元の人たちと連携して森林体験教室を開催し、継続的に開催することになったが、やはり指導者不足が問題なのでこれからのどう確保していくか。

●参加者の声

森林作業が簡単ではないことなど、直接話を聞くことでわかったとの感想が多かった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	間伐本数	県内	県外	計
0.7ha	0.2ha	0.3ha	33本	173人	126人	299人
実施場所：埼玉県飯能市、東京都青梅市						



間伐

都市住民の参加する里山整備と 里山資源の有効活用

(特非) 竹もりの里

千葉県長生郡長南町

●事業概要

荒廃した竹林を都市住民と共同で再生することが目的である。ボランティア参加の竹林整備デーは地元住民と都市住民が交流しながら作業を進め本年度で、43回目の開催となった。主な内容は①荒廃した竹林を再生するため枯れ竹、倒竹の撤去②竹の適時間伐③作業機械の安全講習会の実施④竹材の有効活用⑤竹炭普及のためのシンポジウム開催、各種イベントへの参加である。

●事業成果

都市住民と地域住民がいっしょに作業することで交流が生まれ、作業のスキルアップを図ることができた。廃校となった小学校の裏庭を重点的に整備した結果、近隣の子ども達が安全に遊べる環境を整えることができた。竹材の有効活用を進める中で、移動式の炭化炉を開発し、安価な竹炭を製造するノウハウを多くの方が体験できた。

●自己評価

竹林整備デーは毎月第3土曜日の開催としたため、参加書の固定化と新しい参加者が増え、管理竹林の整備を計画通り進めることができた。都市住民は自然環境に接する機会が得られ、作業を通じて荒廃した里山の現状を多くの方に体感させることができた。参加者は休憩できるスペースがなく、トイレを含め現地に設置することが必要であった。

●参加者の声

・長年放置され、遠ざかっていたが自然の中で子ども達を遊ばせられるようになった。(30代主婦)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	2.0ha	181人	54人	235人
実施場所：千葉県長柄町、長南町					



竹林整備

都市と農村のヒトや技術の対流を 促し持続可能な里山再生につなげ るひと育てと仕組みづくり事業

(特非) トージバ

千葉県香取郡神崎町

●事業概要

本事業では、里山の竹林問題の解決策として都市農村対流を通じた里山とヒトとの新たな関係づくりをめざして、1) 都市部において環境イベントへの出展・ワークショップなどを通じて個人レベルからの竹材利用、ボランティアなどを促し、2) 農村部においては竹林整備の実践や間伐した竹の有効活用の技術を伝承・交換する講座を開催しインストラクター人材を中心に養成した。

●事業成果

- ①荒れた竹林が整備され今後の竹材利用にむけて太さ別・種類別の資源管理がし易くなった。
- ②竹テントを作れて・教えられる人材が全国で育った(計50人)。その後インストラクター自身によって講座の自主開催が愛知県、宮城県などで5回程実施された。
- ③新たな竹パウダーの農業利用や製造機の自主制作コミュニティができた。

●自己評価

インストラクター人材や技術者などとのネットワークが予想以上に広がった。今後は継続的な竹パウダー講座実施に向けての教材づくりや商品化などが課題である。

●参加者の声

イベント来訪者やボランティア、講座参加者などからは、「これまでとは違った有効な利用策が必要だ」といった声が多く、オリジナルの「竹テント」や「竹パウダー製造機」に対しては共感が多かった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積	118人	297人	415人
2.2ha			
実施場所：千葉県神崎町ほか			



竹林整備

昆虫の森、果樹の森創りを媒介と した東京都日の出町と都市部の大人 および子供の交流に関する事業

(一財) みんなの森財団

東京都西多摩郡日の出町

●事業概要

目的は放置林を間伐・整備し、広葉樹や果樹の森として再生することであり、主な活動は①スギ・ヒノキを間伐し日当たりを良くする、②間伐材を歩道の崩壊防止柵などに利用する、③クヌギやコナラなど甲虫類が集まる広葉樹苗、ブルーベリーなど食べられる果樹苗の植樹、④里山である日の出町と都市部の大人および子どもの交流である。

●事業成果

過密箇所の間伐、形質不良木の間伐などを行い、日当たりが良くなった。傾斜地での作業であったが、注意を払って安全に作業を行うことができた。目的とした面積・本数の植樹を行うことができた。

●自己評価

- ・目標としていたエリアの伐採、整地、植樹を行うことができた。
- ・大きなケガもなく完了できた。
- ・まだ密生している箇所や欠損木があり、伐採や枝打ちが必要。

●参加者の声

- ・見通せなかった森が間伐によって明るくなった。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	都内	都外	計
0.2ha	100本	0.2ha	78人	55人	133人
樹種：コナラ、ブルーベリーほか					
実施場所：東京都日の出町					



倒木の片付け

かぐや姫事業2015「竹にふれる！ 竹で作る！竹をかなでる！」

(特非) 日本青少年音楽芸能協会

東京都新宿区西新宿

●事業概要

目的は、青少年が竹林や森林の整備を体験し間伐材を利用することにより、緑化の推進と啓蒙を図る事業であり、主な活動内容は次の通り。

①専門家による竹林の話の聞き、竹林整備の必要性を学習、②荒れた竹林の整備（下刈り、伐採など手入れ）、③タケを素材とした楽器づくり、④作製した楽器をもちいて演奏発表、⑤「緑の募金」の周知

●事業成果

地域の子どもやその保護者や県外からの参加者も加わり、枯れたり傾いたタケの伐採、間伐を行い、手つかずで荒れていた竹林が整備された。参加者は、竹林や森林などに触れる機会があまりなかったが、今回の事業で竹林や森林整備に理解と関心を持つようになった。また地域の住民にも関心が広まった。

●自己評価

初めてのこぎりを持つ子どもの参加者も多かったが、指導者たちが安全を確保しながら伐採をすることができた。2日目は天候が悪く、予定していた範囲の整備ができなかった。竹の楽器づくりと演奏発表では、竹林整備への理解とタケや自然への興味と関心を広げることができた。今後はこの場所を荒らさないようにうにしていこうと、近隣の竹林へも整備を広げていくことが課題である。

●参加者の声

・うっそうとした場所が、みんなで手入れをしていくと、きれいな竹林になって気持ち良かった。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	間伐利用	竹の楽器づくり	県内	県外	計
0.7ha	80本	2回	90人	42人	132人
実施場所：長野県上田市					



竹林整備

森林ボランティアの森林再生活動 (植栽・下刈・間伐など)による健全な森づくり事業

(公財) Save Earth Foundation

東京都大田区羽田

●事業概要

不健全な森林を再生し、本来の森林の恵みを次の世代に残すため、環境教育(普及啓発)を兼ねた森林ボランティア活動を実施することで、様々な方に森林の持つ機能と森林体験の楽しさ、現在、森林(環境)が抱えている危機を知ってもらい、その解決のために今後も森林に関わる人材を増やすために行った。主な内容は次の通り。

①千葉県山武市で都市住民参加による植樹地下刈り作業とスギ林間伐作業

②長野県東御市で地域住民対象の森林体験イベントの実施

●事業成果

千葉県山武市においては、都市住民が参加し、スギ植樹地の下刈りと間伐を行い、林内に光が差すようになり、森林整備の大切さを伝えることができた。長野県東御市では、森林体験の楽しさを知ってもらうことができた。

●自己評価

長野県東御市では計画を上回る参加者を得ることができたが、千葉県山武市での定例活動については、バスを借り上げるほどの参加者を確保できなかった。

●参加者の声

・森の中から木々を見て、こんなに荒れていると初めて気づいた。一人一人ができることを取り組んでいくことの大切さを感じた。(千葉の活動参加者・20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
下刈面積	除伐面積	間伐面積	計
0.5ha	0.4ha	0.4ha	120人
実施場所：長野県東御市、千葉県山武市			



下刈り作業後の植樹地

サンシティの緑の若返り活動

サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

●事業概要

公園エリアは、一区画200～500㎡に区分して順次、樹木の若がえりを図っており、平成27年度は植樹面積408㎡に若返がえり植樹を行い、また、ツワブキ・ノシラン・ハランなどの野草を植え込み、雑草のない庭園の緑地化を図り、快適な住環境を整備した。

●事業成果

公園エリア：公園エリアの下刈り・中高木枝落とし・枯れ木6本を伐採し、植樹環境を整備し、31本の世代交代植樹を行い、樹木の若がえりを実現した。

庭園エリア：中高木の枝落とし・枯れ木伐採し、ツワブキ・ハラン・ノシランなどを植え込み、住みよい快適な環境を整備した。

●自己評価

事業：510人の参加者によって、計画の事業は完成した。

反省点：伐採木の合意形成に多くの時間を要した。

今後の課題：伐採木の合意形成時間の短縮・未庭園エリアの緑地化の実施日程の立案と住民の合意形成構築。

●参加者の声

- ・内が整備され、明るくなり、世代交代植樹で、次世代の町山の緑が楽しみになった。(住民)
- ・緑は光・水・空気が適切に維持される必要があることを肌で感じた。(学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植樹	伐採	下刈面積	都内	計
31本	8本	0.0541ha	510人	510人
樹種：クヌギ、サクラ、コブシ、エノキほか				
実施場所：東京都板橋区中台				

人と地域と世界がつながる、国際森林保全ワークキャンプ

(特非) NICE (日本国際ワークキャンプセンター)

東京都新宿区新宿

●事業概要

①荒廃する森林の状況を実践的な作業で実際に改善し、②国民、特に都市の若者と住民の保全への意識と行動を高め、③世界の森林活動との交流・連携も生み出すために、全国16ヶ所で森林保全に取り組む、2週間程度の合宿型ボランティア活動を行う。

本事業が従来の保全活動にはない種類の成果を示すことにより、こうしたワークキャンプが新しい活動モデルとして全国各地に広がり、また参加したボランティアや住民が保全活動の新たな担い手として活動を発展していくことも期待できる。

●事業成果

全国10県15ヶ所19回、トータル261日間で204名の国内外の若者が荒廃する森林の間伐や下草刈りを行い(計1657人日)、森林での下草刈りを13.7ha、間伐を8.7ha実施した。国内外の若者たちが地域住民と森林作業に取り組むことで、森林の手入れだけではなく、世代間、国籍を越えた交流が生まれた。森が人と人とを結ぶ場にもなった。

●自己評価

当初の計画に比べて多少の規模縮小になってしまった。

●参加者の声

・間伐をすることで森にプラスの影響があり、ひいては地盤を強くして災害にも強くなるのは驚いた。ボランティアプログラムに参加したからこそ知り得たことでした。ここで経験したこと、学んだことを周りの人に伝えていきたい。(19歳 女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
下刈面積	間伐面積	計
13.7ha	8.7ha	1657人
実施場所：北海道・三重・福岡など全国10道府県		



間伐体験

誰でも出来る日本の森づくり隊 (実習編)

ドングリの会東京

東京都渋谷区千駄ヶ谷

●事業概要

目的は、育林技術の訓練による、知識・経験・育林技術の向上、および推進力のある森づくり部隊の育成。

内容は、毎回、条件の異なる現場で作業し、育林行程とその技術を学び、各現場によりノウハウが異なることも知り、応用力のある実践技術を習得する。森林の現状および確立されていない広葉樹の森づくりへの理解を深める。

●事業成果

多現場で設定したため、毎回、自ずと各現場の比較説明が入り、「多様である日本の森の特長への理解」につながった。

技術を習得したいが実践する場がなかった人たちが、経験を積めたことにより、さらなる森づくり参加への可能性につながったことが大きな成果。

●自己評価

単発参加も受け入れたため、参加者にバリエーションが出て、活動に幅が出た。

一方で参加者レベルが一致せず、対応は一律では不可となり、スタッフ数も増え、事業費が膨らんでしまった。

各現場での「反復作業編」の追加設定が課題といえる。

●参加者の声

・実践のない一般的な講習と違い、その場で分からないことを聞きながら学べるので大変理解しやすかった。慣れることは大事。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	都内	都外	計
1ha	900本	2ha	3ha	69人	92人	161人
樹種：ナラ、ヤマザクラ、カエデ、ケヤキ、ブナ、クリほか						
実施場所：群馬県みなかみ町、栃木県さくら市、静岡県富士宮市、千葉県君津市、茨城県石岡市、宮城県栗原市						



ナラ、ヤマザクラなどを植樹

収入を得る永続的森林整備を实践する地域住民主体の自伐型林業、西日本普及育成事業

(特非) 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

東京都新宿区西早稲田

●事業概要

地域団体や自治体と連携し、地域住民主体の自伐型林業者を育成しながら広域的・持続的に森林整備や森づくりの展開を拡大することを目的とした。展開地域は、高知県仁淀川流域(佐川町)、鹿児島県出水市、島根県高津川流域(益田市、津和野町)、鳥取県智頭町、滋賀県長浜市。

活動内容は、町内外から集まってきた若手たちのための自伐型林業研修や、山林集約と山林バンクのしくみをコーディネート、自伐型林業を核とした移住モデルの提案、自伐型林業シンポジウム、広葉樹施業モデルの展開を行った。

●事業成果

各自自治体において、自伐林家や自伐型林業を核とした移住モデル政策に対しての補助制度などができつつある。

また、若手の自伐型林業への参画が急速に増え始め、各地域(自治体)での刺激(起爆剤)になりつつある。

●自己評価

コーディネートができた自治体では、地域振興策として取り組みとして、自伐型林業展開の加速がみえた。

●参加者の声

自伐型林業で移住を決めた若者たちは、「長期的な森林整備を行うことによって、環境保全と同時に、生業として成り立つことがうれしい！」という声が多く聞かれた。

実績とりまとめ表

内容	参加者数		
	県内	県外	計
智頭町フォーラム	180人	20人	200人
実施場所：高知県佐川町、鹿児島県出水市、島根県益田市・津和野町、鳥取県智頭町、滋賀県長浜市			



水源林保全のための森林整備と森林の多目的利活用の推進

(特非) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市中町

●事業概要

多くのパートナー企業や団体が水源林保全に積極的に参加したり、森林の利活用を推進するため、神奈川県松田町の「やどりき水源林」を中心に、除間伐、下刈りや枯れ枝整理などの林内整備、広葉樹植栽、間伐材を利用した経路整備や土留めづくりなどを行った。水源林整備の普及啓発、森林癒やし体験や自然観察などのプログラムを展開した。また、参加団体に間伐安全管理実習を行った。

●事業成果

①除間伐や下刈り・枯れ枝の整理により林内整備が進んだ。
②多くの団体を森林に呼び込むことができ、森林を活用した多様な活動ができた。
③苗木植栽や間伐材を利用した経路、土留めづくりには多くの参加者が興味を抱くことができた。

●自己評価

①森林整備や森林の利活用を図る活動ができた。
②森林作業の意義や森の恵みに理解を深めていただくことができた。
③多くの参加者をいかに森林に招くか、森林整備や森林利活用を図るための新たなプログラム開発も必要である。

●参加者の声

- ・間伐材を使った土留めづくりはおもしろかった。
- ・水源涵養に間伐や下刈りが大切なことが理解できた。
- ・合同の間伐実習と安全管理は役に立った。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
150本	1.35ha	0.75ha	872人	38人	910人
樹種：ミツマタ・広葉樹					
実施場所：神奈川県松田町、南足柄市					



林内整備作業

青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及活動

高尾グリーン倶楽部

神奈川県茅ヶ崎市浜之郷

●事業概要

「青年の山」などの部分林、及び同国有林において、森林の整備を行うこと、森林研修施設などを活用した森林体験教育を行うことを目的にしている。①森林整備については、過密となっている人工林の間伐、ツル切り、除伐、複層林整備、歩道整備などを実施した。②体験活動としては、地域の子どもたち、小中学生～大学生グループ、職場・地域グループなどを対象に、企画型の森林体験教育を実施した。

●事業成果

①森林所有者と結んだ覚書等に基づき、25haの間伐を実施、あわせてツル切り除伐を行い、明るい健全な森林に生まれ変わった。
②体験活動支援は23回実施し、体験を通して子どもから大人まで幅広い層の皆さんに、社会貢献の意義を理解していただくとともに、森林保全意識を高めることができた。

●自己評価

①チェーンソーなどの安全作業技術の向上を図っていく必要がある。
②体験活動は、参加者には大変好評で要望も多いので、対応可能な範囲で更に拡充していきたい。
③木材のよさを実感し木材に親しんでもらうため、間伐材などの加工利用体制を強化する必要がある。

●参加者の声

- ・木を伐ることが山を良くするため必要で、その木を有効に使うことが大事であることがわかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	つる切り	複層林整備	都内	都外	計
2.5ha	3.0ha	0.5ha	755人	120人	875人
実施場所：東京都八王子市（梅ノ木平国有林）					



間伐後に材の加工を見学

伊豆韮山金谷地区整備事業

(特非) 日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川

●事業概要

伊豆韮山金谷地区にはモウソウチク、マダケを中心とした10haの竹林が集落を囲むように広がっている。過疎高齢化が進み、担い手不足から拡大した放置竹林を都市住民と地元住民の交流を通じ整備する。

本年は2haの竹林を整備する。間伐材は竹灯籠に加工して11月の「韮山竹灯籠まつり」に利用する。残材はチップ化して竹林内に敷設及び農家に配布し堆肥として活用する。

●事業成果

集落を覆うように繁殖した荒廃竹林を皆伐し民家と竹林の緩衝地帯を作った。後方の竹林は間伐により明るく見通しをよくしたため、前庭を我が物顔に歩いていたイノシシが出てこなくなった。

間伐作業に地域の人も積極的に参加するようになった。

間伐材を活用して竹灯籠祭りを実施したことで多くの客が集落に来て地域の活性化にも貢献できた。

●自己評価

- ・10haの竹林の内、予定通り2haの竹林整備を終えた。
- ・間伐作業やイベントに地域の人たちが積極的に参加するようになった。
- ・一方で間伐が進むもイノシシによるタケノコの被害がひどく、いい親竹が残らずなかなか綺麗な竹林ができない。

●参加者の声

- ・都会の人たちとの協働作業は楽しい。(60代男性)
- ・こんなところにこれだけ大勢の方が来てくれるなんて信じられない。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 2.0ha	2982人	423人	3405人
実施場所：静岡県伊豆の国市韮山町			



竹林整備

山の間伐材を利用した マチの公園整備

森林を楽しむ会

神奈川県川崎市多摩区

●事業概要

都市住民によるヒノキ林や雑木林の保全と、間伐材を土留め材やベンチ材に使って町の公園整備。

●事業成果

当会では、平成14年より栃木県さくら市(旧喜連川)に年5回ほどヒノキ林と雑木林の手入れ、除間伐や枝打ち、林内整備に通っている。

同時に当会は、小平市の中央公園の一角の整備を担当している。その公園には、以前、自分たちが矢板市の山に行き、間伐した材を小平迄運び製作し寄贈した木製ベンチ10脚と木のテーブル2台が設置してあるが、現在は、その部材の補修に、さくら市から運んだ材を活用している。

●自己評価

24年度は、少し太めの木も伐って製材しベンチの改修に利用したが、25年度からは、間伐材を土留めの横架材や杭として有効に活用している。また間伐材を使って木工品を作製し、小平市のバザーで、販売、資金集めや当会の活動をアピールする場ともなっている。

27年6月に、小平市から要請を受け、小平市公園等アダプト制度に合意し、公園整備に一層関わる事となった。

課題としては、若い人の加入が急務となっている。公園整備などやっている事は、市民にも喜ばれ、やりがいがあるので、今後とも取り組んでいきたい。

●参加者の声

- ・少しでも社会の役に立てると思うと嬉しい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	都内	都外	計
6.5ha	5.0ha	1.5ha	29人	68人	97人
樹種：ササ、コナラ、クリ、マツ、ヒノキなど					
実施場所：栃木県さくら市、桐生市、東京都小平市					



公園の整備

大吞ふれあいの里山づくりプロジェクト

大吞グリーンツーリズム推進協議会

石川県七尾市花園町

●事業概要

地域内外の人々に対して、植樹を通して森林への関心と理解を深めるために事業を実施。

広葉樹（モミジ、カエデ、クヌギ、ナラ、イチヨウなど）を300本植樹。

地域住民と都市住民との交流を図った。

●事業成果

地域住民、都市住民の森林に対する関心が高まった。

住民同士の連携が深まった。

木を身近に感じてもらえた。

親子の交流が深まった。

●自己評価

フォレストサポーターの会員の方々にも参加いただき、植栽方法についても丁寧に説明していただき、好評で計画通りに植樹することができた。2回目となる今回は、昨年の反省点も踏まえ段取りよく進めることができた。交流場所ではチェーンソーアートの実演や薪割体験も行い、参加者にも喜んでもらい、木を身近に感じてもらえたと思う。

●参加者の声

親子の共同作業により木を植えることができ、良かった。今後の下刈りなどの保育にもかかわっていききたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.8ha	300本	0.2ha	112人	12人	124人
樹種：モミジ、カエデ、クヌギ、ナラ、イチヨウなど					
実施場所：石川県山崎町					



広葉樹を植樹

古里の未来を育む、里山からの暮らしと繋ぐ森づくり

(特非) 月尾くらし工房

福井県越前市轟井町

●事業概要

三里山周辺の森を再生する事を目的として、地域の森を守るボランティアを育てながら、地域の身近な里山を守る活動を体験プロジェクトとして森にふれる、森を育む、森の恵をいただく、森の中で生活する体験を企画しながら人と里山の豊かな関係を構築する活動を行った。主な活動は、①荒廃する森の地拵え、整地②作業歩道整備③除伐・間伐④獣害防止柵設置⑤植樹⑥森の恵みによる食育

●事業成果

三里山周辺の峯坂山での植樹、赤坂松明山での森林整備や植樹を実施した結果①三里山周辺の峯坂山で地域の高齢者を中心に森づくりにかかわるボランティアが育ってきた②赤坂松明山での活動により、ボランティア組織赤坂みらい塾が育ってきた

●自己評価

地区住民に里山を守り未来へ引き継ぐ試みは80%近く達成できた。今後の課題は、地区住民の参加者が少ないので事業の継続により森を守る啓蒙普及を図っていききたい。

●参加者の声

・森づくり植樹に参加し、巣箱づくりや木を植える体験が家族ぐるみできてよかった。古里の里山を守る体験に来年も参加したい(家族)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.35ha	560本	0.35ha	0.20ha	45人	45人
実施場所：福井県越前市					
樹種：ヤマザクラ、ヤマモミジほか					



ヤマザクラ、モミジなどを植樹

活樹祭～こども間伐体験～in上伊那

上伊那活樹祭実行委員会

長野県駒ヶ根市中沢

●事業概要

「活樹祭」は、日本の森の健全化にとって、今最も必要な間伐と、その材の利用促進について、未来を担う子ども達が楽しく学ぶ林業体験プログラムである。長野県上伊那地域で開催した。本プログラムを通じ、子ども達と林業関係者との交流を通じて、森林や林業にたいする理解を深めてもらうとともに、森林の多様性とその有用性を認識してもらうこととなった。

●事業成果

昨年同様定員の20人を満たす参加者がおり、昨年も参加したという子どもが複数いた。森へ入り、伐体験を実施した。暗い森が、明るい森へと変わり、それまで入りたがらなかった子どもまでもが明るい森に興味をしめすようになった。午後は森林からプリント材料である葉や枝、木の実などを子ども達自らが集め、それに絵の具をつけて、トートバッグに押しつけてプリントしてもらった。大小さまざまな模様が描かれ、森の豊かさを認識してもらうことができた。その後「活樹提案書」として木材の新たな利用を考える会を実施、多くの子どもから独自の考えや木の利用について書いてもらい、多くのアイデアが語られ、今後の木材利用のヒントになるような考えが数多く寄せられた。

●自己評価

プログラム全体を通じ、森を育てるためには、ただ守るだけでなく、伐る事や使うことが大切であることを子どもたちに伝えられたと考える。

●参加者の声

木材の利用に多くの興味を抱いてくれたようだ。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
除伐面積	間伐面積	県内	計
0.2ha	0.2ha	29人	29人
実施場所：長野県南箕輪村			



間伐作業

チェーンソーを使った山仕事の安全・レベルアップ講座

(特非) 信州フォレストワーク

長野市丹波島

●事業概要

山仕事でチェーンソーの使用が一般的になっている。しかしながら安全で正しい使い方などの知識は不十分である。そこで一般者を対象とした山仕事講座を年3回程行い、チェーンソーの安全で正しい使い方やメンテナンスの方法を学んだり、実際に木を伐採する方法を体験して、実践的な講習を通して、より安全で効率的なチェーンソーワークを身に付けてもらう。また間伐実習によるフォローアップ講座や参加者のネットワークを通して情報交換などを行い、楽しみながら連携して活動できるよう配慮する。

●事業成果

山仕事講座を3回行った。1回目は安全なチェーンソーの使い方とメンテナンスを学んだ。2回目は実際にチェーンソーを使って安全な間伐方法を体験した。3回目は、間伐材の搬出と薪割の体験を行った。また、フォローアップ講座として、簡易架線を使った搬出の実習を行った。

●自己評価

当初の計画3回を予定通り実施し、参加者の要望によりさらにフォローアップ講座ができた。ただ参加者のレベルや要求が異なるため、一人一人に十分な対応ができたか疑問である。いずれにしろ今後とも継続していくことが大切で常に安全を意識した講座を定期的開催していきたい。

●参加者の声

・道具を正しく使うことは安全や効率につながり、メンテナンスも自分で行えば大切に長く使用できる。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
山仕事講座	県内	計
4回	114人	114人
実施場所：長野県小川村		



チェーンソーの正しい使い方を学ぶ

長野県・千葉県における、ボランティア森林整備技術者の養成を目指した森林整備と植栽活動

(特非) 自然文化国際交流協会

長野県北佐久郡立科町

●事業概要

間伐などの整備が遅れた人工林において、多様な人々参加の森林の整備及び荒廃林の再生を目的に、それらの人々を対象にボランティアの森林整備技術者の養成をめざしこの活動を行う。

内容：当団体が今まで行ってきたチェーンソーを使わない「皮むき間伐」の方法による森林整備を発展させた形で、ボランティアの森林整備技術者養成をめざし、間伐、竹の除伐などの森林整備、密度管理、広葉樹の植栽などのイベントや講習会を開催し、アマチュア林業者の育成とともに、荒廃林の再生活動を行った。

●事業成果

今年度新たに得られた成果など：多様な人々を対象に、里山の整備や再生、さらに山林資源の有効活用を目的にボランティアの森林技術者の養成講座を行ってきた。森への理解や林業技術が高まり、3haの人工林の整備がボランティアにより完了した。

●自己評価

参加者の森林に対する関心や、森林に関する技術が高まったとともに、人工林に大勢の人々が訪れるようになった。

●参加者の声

- ・森林整備の基本的なことがよく理解できた。
- ・週末林業を始めたい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	100本	0.6ha	2ha	77人	66人	143人
樹種：果樹ほか						
実施場所：千葉県君津町ほか						



皮むき間伐作業

沼津市愛鷹運動公園内森林・竹林整備事業

環境整備「森と竹で健康クラブ」

静岡県沼津市東原

●事業概要

- ①荒れたヒノキ人工林を、ミニ森林公園にすべく「森林散策エリア」として長期整備事業として取り組み中。
- ②JR送電線下の皆伐されたヒノキ林の跡地を「木の花咲くやゾーン」として植樹・育樹継続中。
- ③県主催の春の森づくり大作戦に協賛して、植樹、下刈作業を実施。
- ④県主催の秋の森づくり大作戦に協賛して、ツツジ100本植樹を実施。
- ⑤沼津市から寄贈を受けたクヌギの苗木を圃場に移植し、次年度の植樹に備えた。
- ⑥ヒノキ約100本が枯れ木となったので、除伐作業実施。
- ⑦ヒノキ間伐作業の実施。間伐材は散策路の階段補修及びベンチ用として活用。
- ⑧一般市民参加型イベントの実施。植樹祭、キノコ菌植菌研修会。
- ⑨愛鷹運動公園内の竹林部は間伐を進めた。

●事業成果

- ①愛鷹運動公園内のヒノキ林は徐々に明るく安全な市民公園になりつつある。
- ②散策エリア内の入り口付近の階段を修復した案内板を2箇所を設置した効果で散策する人増加。

●自己評価

- ・ヒノキ林は50年間手入れされておらず、劣勢木多く、間伐の進捗は約30%。
- ・市民参加を増やすのが今後も課題。

●参加者の声

散策路を歩く人からは「案内板ができ、歩道整備され、訪れるのが楽しみになった」との声。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.3ha	250本	4ha	739人	739人
樹種：クヌギほか				
実施場所：静岡県沼津市（愛鷹運動公園）				

「森づくり自然学校」及び 富士山麓の自然現地調査

(特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

●事業概要

・当事業は“だれでも参加できる安全で楽しい持続的な森づくり”をめざしている。

・活動の内容

- ①森をつくること（植栽植樹、樹種転換、苗木づくりなど）
- ②森を守り育てること（間伐、除伐、枝打ちなど）
- ③森を生かすこと（間伐材などの有効活用、森歩き、森林体験、自然観察、環境学習、木工教室など）

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27～28年）

今回の参加者の48%が首都圏に住む人であった。また、参加者のうち、小中高校の生徒が約1200人であった。

今後この子どもたちの参加者を増やし、“自分の木を植えて、自分たちの森として手入れし育てる”ということを実現して、次世代の人たちの森づくりに貢献したい。

②今年度新たに得られた成果等

荒れた森が見違えるように整備が進み、美しい広葉樹の森になってきた。

●自己評価

樹種転換として植栽した広葉樹の成長を見て、参加者全員の努力が確実に実ってきていることを実感できた。また、首都圏の学校が森づくりに参加できるよう対応策を実行する必要性を痛感している。

●参加者の声

・自然体験と作業で汗をかき、うれしかった。（参加者）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	263本	1.0ha	0.2ha	958人	798人	1756人
樹種：コナラ、モミジ、クヌギ						
実施場所：静岡県御殿場市						



小中高生がさまざまな自然を体験

猿投山北西山麓斜面の環境林整備

猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

●事業概要

健全で活力のある優良林の育成と水土保持機能を向上させ、林道沿線の景観向上を図った。雑木林は、常緑広葉樹を主体に除伐、侵入笹の刈り取りを行い、林床に陽光を入れ、林床植生の多様化を図り、環境林として整備した。人工林は、長年手が入っていないスギ、ヒノキの間伐を実施した。また、林床に灌木の多い地域では、適宜除伐を行い、植樹の育成を図った。

コナラの枯死木が依然として散在するため、伐倒処理し、事項防止をはかった。

一般市民が森林環境に親しむよう「観桜会」「自然観察会」「森の音楽祭」「森の探検隊」「法人会員デー」を開催した。

●事業成果

人工林間伐は、計画通り実施され、林床に陽光が入る環境が整備された。また、人工林の林床植生除伐の結果、気持ちの良い林床景観を整備することができた。雑木林整備では、特に林道、遊歩道沿線の除伐整備により、景観向上を図ることができた。

●自己評価

人工林整備では、ほぼ計画通りの整備を実行できた。コナラの枯死木処理は、遊歩道沿線の整備は達成できたが、雑木林林内に依然散在しており、作業の安全を図るため、継続処理が必要である。雑木林整備は、除伐により、遊歩道沿線の景観を向上させることができた。

●参加者の声

・自然の中でのクラフト作りや森の散策は、とても楽しかった。子どもたちの目がキラキラしていたので、参加して良かった。（森の探検隊参加者）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
整理伐	間伐・除伐	計
0.2ha	0.5ha	1073人
実施場所：愛知県瀬戸市（県有林、民有林、東大演習林）		



雑木林での除伐作業

森の健康診断全国出前事業

森の健康診断出前隊

名古屋市中村区那古野

●事業概要

森の健康診断については、普及と講座内容の充実をはかり、特に、学校教育での森の健康診断については、子どもの森の健康診断プログラムの改善・充実と、まだ実施されていない地域への普及を図る。

●事業成果

10県からの依頼を受け、延べ29回の出前講座を実施。

特に、学校の森の健康診断については、次世代を担う子どもたちへの普及を図るためのチームを編成し、教育委員会、小学校、地元キーパーソンなどに働きかけると同時に、子どもの森の健康診断の内容改善および授業時間内での実施を検討・試行を重ね、各種改訂版プログラムを開発した。

また、8月には、教員向けの体験研修会を2回実施した。

●自己評価

特に子どもの森の健康診断については教員研修を3回開催し、積極的に学校に足を運んでの案内や様々なメディアによる広報も進め、小学校への普及に大きな進展があった。2017年豊田市で開催されるに「子どもの森・学校林サミット」つながったことは大きい。

次世代を育てる小学校への普及・プログラム開発が今後どう進むか楽しみである一方、遠方の学校への出前は継続に限界があり、地域への移転が必須となる。技術やノウハウをどう移転するかが今後の大きな課題である。

●参加者の声

- ・これから森を大切にしたい。(小6女子)
- ・木を一本伐ったら空から光がたくさん入ったことにびっくりした。(小5女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	健康診断	県内	県外	計
0.5ha	15.0ha	154人	509人	663人
実施場所：愛知県ほか10県				



10県で29回の出前講座を開いた

竹林整備と環境保全

奈良県森林ボランティア連絡協議会

奈良市高畑町

●事業概要

奈良・大阪の市街地から気軽に利用できるハイキング道として親しまれている矢田丘陵・奈良県立矢田山自然公園「矢田山遊びの森」の「国道308号線」と並行しているところの景観が「侵入した竹林、不法投棄されたゴミ」などで大きく阻害されていた。そこで「竹林・枯損木などの伐採と不法投棄されたゴミの撤去などの環境整備」を行った。また伐採や環境整備の作業にあわせて、子どもたちを対象にして「伐採した竹などの資材を利用した竹細工の体験会」を行った。

●事業成果

人工林に侵入した竹の伐採、タケの侵食によって枯れたスギ、ヒノキや国道に覆いかぶさるように茂った雑木類の除伐を行った。また沿道が雑木やササ類などで覆われていたことが誘因になったか、タイヤや家電、家庭ゴミなどの不法投棄が多くみられたが、これらを撤去し、明るい環境を作り出すことができた。合わせて行った子どもを対象にした「竹伐りと工作」の体験会を行うことで、環境保全に対する関心を深める事ができた。

●自己評価

景観が良くなったことによってゴミの不法投棄も減少すると期待される。子どもたちに自然環境を守ることの重要性を示すことができた。これからもこの環境を維持していくには、見守り活動を継続する事が必要と考える。

●参加者の声

ハイカーや車で国道を利用する皆さんから沿道が明るくなって気持ちよく通れると感謝された。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
竹林伐採	除伐面積	下刈面積	環境整備	県内	県外	計
0.45ha	0.25ha	0.2ha	0.3ha	225人	25人	250人
実施場所：奈良県大和郡山市（奈良県立遊びの森）						



竹林整備体験

戦後70周年記念平和の森整備事業

(特非) ひろしま人と樹の会

広島市西区鈴が峰町

●事業概要

目的は、「平和の森」周辺において手入れ不足の針広混交林を健全な森林に再生するための作業であり、森林の復元を通じて平和を考える契機とする。あわせて、作業で出た伐採木をきのこ栽培の原木、木炭、薪などに有効活用する活動を通じて都市と山村との交流を図る。

主な活動は、次の通りである。

①針広混交林の除伐、下刈り、②過密林の間伐（危険木伐採含む）、搬出、利用、③伐採木の有効利用（きのこ栽培の原木、木炭、薪など）、④きのこ栽培教室、炭焼き体験、薪割り体験を通して都市と山村の交流を図った。

●事業成果

手入れ不足だった針広混交林に光が差し込み、見通しの良い林に生まれ変わった。

定期的なきのこ栽培教室、炭焼き体験などの環境教育の教材として活用し好評を得た。

原爆の被害を受けた被爆サクラの二世にあたるサクラの苗木を参加者の代表に植えてもらい、改めて戦争のない平和の大切さを考える契機とすることができた。

●自己評価

1.0haの針広混交林は下刈り、除伐、間伐を計画通り達成することができた。368人の参加を得て目的を達成できた。

伐採の技術力の向上を図るとともに安全に活動ができる体制作りを進めたい。

●参加者の声

・戦後70年の節目に被爆サクラを植樹でき、改めて平和のありがたさを感じた。（大学生）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐・間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	381人	5人	386人
樹種：スギ広葉樹混交林				
実施場所：広島県廿日市市（県立もみのき森林公園平和の森）				



記念植樹（被爆サクラ）

環境保全型森林整備で災害に強く、収入になる自伐林家育成及び普及事業

(特非) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

●事業概要

AB材に加え、C材（林地残材）の収集システムで、災害に強い森づくりと収入になる施業を両立させるしくみづくりを構築し、普及啓発することにある。

1. 自伐型林業の実践

人家に隣接する山林を対象に、災害に強い森づくりのための選木、間伐（伐倒、造材など）、搬出、作業道開設、運材によるABC材出荷による収入までの、一連の森林整備の流れを実施した。

2. 自伐型林業研修会の定期的な開催

間伐や作業道開設や、森林経営研修を実施した。

3. 自伐型林業方式の普及（自伐林業チームづくり）と連携・ネットワーク化

高知県内の自伐型林業のネットワークを築いた。

●事業成果

長伐期択伐による持続可能な森林整備及び経営が、災害に強い森林を築くとともに安定した収入につながることを証明することができた。

●自己評価

概ね事業完遂となったが、普及啓発が県内にとどまる結果となり不満が残った。

●参加者の声

・持ち山の整備に自信が持てた。（参加者）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	作業道開設	県内	県外	計
約8ha	230m	190人	21人	211人
実施場所：高知県佐川町、日高村				



造材・搬出実習

下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト

(特非) いきいきみはら会

高知県幡多郡三原村

●事業概要

高知県三原村と土佐清水市を流れる下ノ加江川水系において、川上の三原村側と川下の土佐清水市側が連携して森林整備を行う事により、森里川海のつながりを再生する事業を行う。森林整備、間伐作業は、自伐型林業の指導者を招き、軽機材での間伐作業の実務講習を受け、森林整備の人員を増やす。

●事業成果

森林整備、間伐作業の実務講習の受講により森林整備を行うメンバーが、中級レベルで、間伐、造材、搬出、薪への加工などへの一連の作業を実施できるようになった。また、村内及び土佐清水市で、バラバラに活動して自伐型林業を行っていた個人やグループ、森林整備の機会がなかった移住者などが、連携して活動できるようになった。

●自己評価

約1.5haの森林整備及び延長約350mの作業道、歩道ができた。経験不足及び森林整備エリアが比較的急峻な中腹部での活動となったため、時間はかかったが、各メンバーが連携し、計画通りの成果が得られた。今後は、これらの経験を元に、さらに効率をアップし森林整備エリアを広げると共に、地域内で森林整備、間伐ができるメンバーを増やし、川上、川下で連系するネットワークを広げたい。

●参加者の声

- ・自伐型林業の実際の作業現場を見学し自山でも取り入れたくなった。(参加者)
- ・作業道の重要性について理解することができた。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	作業道m	利用本数	県内	県外	計
1.57ha	350m	449本	394人	36人	430人
実施場所：高知県三原村、土佐清水市					



新しく作った作業道で、軽架線を使った間伐材搬出研修

森林ボランティアの日「くにの松原」保全・再生活動

(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ケ丘

●事業概要

くにの松原はクロマツ林で、後背地の集落などを保全するとともに町民の憩いの場としても貴重な森林であるが、近年、富栄養化などにより樹勢の衰えなどが見られるようになっていた。このため、森林ボランティアの日に呼応して、森林ボランティア約300人が参加し、侵入しつつある広葉樹や竹類を除伐するとともに、海岸前線には新たにマツクイムシ抵抗性クロマツを植樹し、マツ林の保全・再生を期する活動を行った。

●事業成果

今回は全県から多くの森林ボランティアの参加を得て、町民にとっても大きな喜びとなった。

特に今回の活動では、侵入しつつあった竹類をほぼ駆逐するとともに、家族連れなどに抵抗性マツを丁寧に植えてもらった。

●自己評価

4年間の活動で除伐面積が約4haと、当初目標としていた海岸前線のマント群落の欠如の著しかった個所への植栽はほぼ終了した。

しかし、我々が除伐した区域は、「くにの松原」の一部であり、富栄養化は毎年の除伐がないとさらに進行する。今後は町当局と町民が一体となった活動が必要である。

●参加者の声

- ・「くにの松原」の保全活動に、県下一円から森林ボランティアが参加していただきありがたい。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	計
0.2ha	1215本	1.0ha	300人	300人
樹種：クロマツ				
実施場所：鹿児島県大崎町				



クロマツの植樹

大地の恵み 体験ジオツアー

秩父まるごとジオパーク推進協議会

埼玉県秩父市野坂町

●事業概要

地域外の方を対象に、自然豊かな秩父で森林整備活動の体験や、ジオツアーをとおして自然の成り立ちを知ってもらい、源流地域秩父の魅力を体感していただく。

秩父市の森づくり課と観光課との連携により新たなツーリズム事業として実施する。

①森林整備活動（間伐体験、枝切・玉切体験、チェーンソーデモンストレーション）

②ジオツアー（大滝地区ジオ解説、鉱物採取体験、秩父鉱山見学、三峯神社見学、歴史民俗資料館見学等）

●事業成果

普段触れ合う機会が少ない森づくり活動を通して、いのちの水を育む源流地域の魅力を体感してもらい、山と森林を守り育てる意識を深め、その大切さを学ぶことができた。

ジオツアーの実施により、地形や自然の成り立ちとしくみに気づき、生態系や人間生活との関わりを考えるきっかけとなった。

●自己評価

姉妹都市である荒川区・豊島区を中心に区報への掲載、HPでの広報、学校へのチラシ配布などPRを行ったが、参加者が少なく定員に達しなかった。

地域外からの参加者を募ることで、自然豊かな秩父の魅力をPRできた。参加者のなかには、秩父に定住したいとの声も上がった。

●参加者の声

・森林整備活動を通じて自然のダムである山の大切さを理解した。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 0.3ha	12人	14人	26人
実施場所：埼玉県秩父市大滝地区・横瀬町（秩父市市有林）			



玉切り体験

三宅島復興支援緑化再生プロジェクト

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

三宅島は雄山の噴火と高濃度ガスによる被災で森林が大きなダメージを受け、被災森林の緑化が大きな課題となっている。当会は被災森林の緑化再生に取り組むため、08年に三宅村との間で「三宅島・雄山の緑化再生活動に関する協定」を締結した。この協定に沿って、同島の村有林を対象に植樹・森林整備を実施している。

●事業成果

①七島展望台村有林は、火山ガスによる枯損から、ようやくハチジョウススキなどの草本の回復が始まっており、この区域で、タブノキなどの植樹を行った。苗木の活着は良くなってきており森林の回復が期待されている。②自然観察園地として整備してきている村有林で刈払い、歩道整備、オオシマザクラの植樹などのメンテナンスを行った。

●自己評価

①これまでの植樹地で活着状況調査を行ったが概ね良好であり、植樹地の森林再生が着実に進んでいる。②村有林の園地整備については、散策コースとして村広報に掲載され、村民や村外からの来訪者にも利用されている。③地元三宅村から若いボランティアの参加を得て実施することができ、今後もその拡充に努めたい。

●参加者の声

・被災地に毎年少しずつ緑が再生していくのが目に見えてわかる。(60代男性)
・島外から来て島のために汗を流していただいております、一村民としても今後参加していきたい。(島内30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	地拵面積	下刈面積	都内	都外	計
1.0ha	1600本	1.0ha	0.6ha	86人	23人	109人
樹種：タブノキ、ヤブツバキ、ヒサカキ、オオシマザクラ						
実施場所：東京都三宅島三宅村（村有林）						



タブノキ、ヤブツバキなどを植樹

全国緑化運動発祥地を 災害や荒廃から守る森づくり

つながる森づくり実行委員会

東京都千代田区一ツ橋

●事業概要

目的は、全国緑化運動発祥地周辺の森林や山道が荒廃していることから、森林整備の作業を通して、森林の重要性を広めるとともに森林や木材に親しみ木材活用の意識を持ってもらう。具体的な作業内容は次の通り。

①道をふさぐ倒木や枯れ枝の片づけ、枯れた立ち木や傾いた樹木の伐倒、処理。②後の大雨で道そのものを流失させるイノシシのエサ荒らしの跡を早急に修復させ、土壌流出を防ぐ。③草刈りやツル払いを行い、荒廃路には丸太階段を設け、山道の安全通行を図り森づくり講習を実施する。

●事業成果

当初は黙々と取り組んでいた参加者も、森林が整備され林内が明るくなるなど具体的な成果が見えることで、やり甲斐を感じ笑顔になった。特に、若者や子どもは自然に触れる機会が少ないだけに、作業を通して森林整備の意義や森林の心地よさを理解するようになった。

●自己評価

煩雑な作業も大人数で取り組むと予想以上に早く終える。ただ、降雨のたびに風倒木や枯れ枝が増え想定を超えた労力を必要とした。茨城県は地震など災害が頻発しているだけに、参加者の安全作業に工夫が要り、さらに、チェーンソーの傷害保険も限られているためスタッフの安全作業に制度構築を含めた課題がある。

●参加者の声

・人工林は好きでなかったが、広葉樹林より天井が高く気持ちいい。保水力もあることに驚いた(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
草刈り	風倒木伐倒	ツル駆除	間伐面積	県内	県外	計
0.64ha	60本	0.14ha	20本	143人	57人	200人
実施場所：茨城県真壁町						



枯損木などの伐採

A-WASS 循環と共生の森づくりinときがわ

木と建築で創造する共生社会実践研究会(A-WASS)

東京都中央区東日本橋

●事業概要

長年放置されていた里山の雑木林の再生と資源の循環利用を図るため、森林総合研究所の研究者や地元の林業事業者から作業方針や材の薪・炭としての利用、チェーンソー操作などの指導を受けつつ、立木調査、どんぐり拾い、作業道整備と整理伐、材の玉切り・搬出、薪割り、看板の製作・設置などを行った。また、これら森づくり作業とあわせて、都市住民と地元住民とが、失われていた森林資源の循環的な利用の復活・再生に向けた方策を共に考えるための意見交換・交流会を開催した。

●事業成果

今年度は、整備した作業道を利用して、区域の約半分の大径コナラ木を伐採搬出し、林分の若返りに着手した。また、本事業の開始をきっかけに、平成28年4月、当研究会とときがわ町との間で「森づくり協定書」を締結することができ、長期的な視点で森づくり活動に取り組む基盤が整ったほか、「とき森なりわい塾」が町の事業として推進されることとなった。

●自己評価

チェーンソーの操作などの技能習得も十分進まなかった。その他、地元の森づくりボランティア団体の連携・参加がまだ不十分であり、一層の呼びかけが必要である。

●参加者の声

・チェーンソーの操作も初めてで新鮮だった。山村の暮らしやなりわいを知って勉強になった。(都市住民)
・森林を見つめ直すきっかけとなった。(地元住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
作業道作設	整理伐	県内	県外	計
20m	0.08ha	57人	42人	99人
実施場所：埼玉県ときがわ町(町有林)				



薪割り

上下流連携による循環型の森づくり 「森活」(しんかつ)プロジェクト

やまづくりくらぶ

東京都世田谷区給田

●事業概要

川場村の植林後30年近く放置された人工林(スギ)を下流域の世田谷区住民が整備する。その際に発生する間伐材を燃料に、近くにある里山の手入れで発生する広葉樹や竹林・マツ林の整備で発生する材を原料として炭焼きを実施することで森林整備への動機づけにつながる「循環型」の森づくりのサイクルを完成し、上下流が連携した持続可能な森の整備活動を確立する。

●事業成果

広葉樹の炭だけでなくマツやタケについても高品質の炭が出せるようになったことで、マツ・スギ混交林の間伐はもとより、広葉樹や竹林の整備も進められるようになった。

●自己評価

整備で出た炭材をすべて炭にできるサイクルは確立できた。一方で、材の処理など炭焼き作業にかかる時間が多くなり、思うようにスギの間伐が進んでいない。

●参加者の声

- ・間伐材での炭焼きもできるようになり山が片付く。(川場村地権者)
- ・針葉樹の間伐に力を注ぎたい。(くらぶ役員)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5ha	300本	0.5ha	3.3ha	2.0ha	25人	150人	175人
実施場所：群馬県川場村							



間伐材の搬出

首都圏と山村の住民交流・協働による 広葉樹林整備ボランティア活動事業

災害に強い広葉樹林を育てる首都圏住民の会

横浜市金沢区柴町

●事業概要

目的は、都市住民と山村住民による広域的な交流・協働事業活動を通じて、災害に強い広葉樹林を育てること。

ア. 大江町で、「自然条件などが厳しい地域での広葉樹林の育成」をテーマとし、主な活動は、①コナラの植栽及び翌年の融雪後の補植、②活着率の向上、成木までの期間短縮などを狙って、昨秋より樹高が高いコナラのポット苗の植栽である。

イ. 西川町で、「多様な樹種の組合せによる、新しい視点での天然更新型施業を導入した広葉樹林の育成」をテーマとし、主な活動は、①樹種、樹高、支柱の使い分けなどによる広葉樹の生育状況を知る観点から、一部鳥居型支柱を導入したコナラの植栽及び翌年の融雪後の補植、②選択的伐採及びその跡地へコシアブラ(食用)、ヤマボウシ(景観用)及びエンジュ(木工用)の植栽、③現地にて首都圏住民と地元住民との対話集会を実施。

●事業成果

豪雪対応上15mの苗高で木製・鳥居型支柱付の根回し苗を試行的に植栽したところ、良好な成績であったが、「コストを極力節減する努力」が求められている。

●自己評価

本事業の役割は大きく、今後一層努力の発揮が求められている。

●参加者の声

- ・地元の方との協働作業は楽しかった。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.24ha	245本	0.35ha	40人	44人	84人
樹種：コナラ、コシアブラ、ヤマボウシ、エンジュ					
実施場所：山形県大江町、西川町					



コナラ、ヤマボウシなどを植樹

森と海を結ぶ歴史ロマン浜街道と北潟湖が育む未来への森づくり

北潟の森協議会

福井県あわら市波松

●事業概要

福井県あわら市北潟国有林や北潟湖周辺の森において、自然災害やマツクイ虫などにより荒廃が進む森を再生するための作業であり、主な作業内容は次の通りである。

- ①歴史ロマン浜街道の復元と遊歩道の整備（遊歩道沿いの草刈整備）
- ②荒廃している松林や広葉樹林の整備（除伐、間伐）
- ③北潟湖防災林の整備（草刈、竹柵等の設置）
- ④荒廃した松林の植樹による再生（植樹）
- ⑤森林・林業体験プログラム（市内小学校での森の授業）

●事業成果

地域住民等の参加により、折損木や不良木、つる等の除伐・間伐により林内の特に遊歩道周辺の見通しが良くなり、森に光があたり出し、森が元気になってきた。また、荒廃した森に植樹する事により参加者から早く大きくなり北潟湖が荒廃した森から明るく豊かな森になるよう、手入れにも参加したいと話していた。森林・林業体験教育により子どもたちは森林整備の大切さを学んだ。

●自己評価

北潟湖周辺の整備を要する森林の内、一部しか植樹できなかった。地域住民を巻き込んでどんな森の再生を目指すのか今後の課題。

事前研修等で技術や安全の指導を行っていききたい。

●参加者の声

- ・森の再生（植樹）に参加できて良かった。（30代女性）

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	450本	0.5ha	1.3ha	1.3ha	347人	347人
樹種：シロタモ、スダジィ、アキグミ、シバグリ						
実施場所：福井県あわら市						



荒廃したマツ林にシロタモなどを植樹

山村と都市を結ぶ桃源郷の森づくりプロジェクト

越の郷地球環境会議

福井県鯖江市中野町

●事業概要

荒廃が続く里山をフィールドとして、未来に向けた健全な森林の育成に資する事を目的に次の事業を実施した。地域の小学校・NPO・市民・企業との連携や都市住民（学生を中心）の参加により新たな森林ボランティアの育成を図り、荒廃する森林整備を図った。①どんぐりからトトロの命の森づくり（苗木づくりと植樹活動）②荒廃している森林の整備（地拵、整地獣害防止柵）

●事業成果

学生や地域の参加者の中で、植樹した森の手入れに関わりたいという人が出てきたので山村と都市の輪をすこしずつ広げていきたい。

●自己評価

森林整備①どんぐりからトトロの命の森づくり 計画に対して80%だった。②荒廃している森林整備は70%。③歩道整備 思ったより手こずりました。④森の手入れ（間伐、除伐）と間伐材有効利用70%。指導者の育成と地域のボランティア参加者を増やすことが課題。

●参加者の声

- ・植樹活動に参加して森を育てる大切さが分かりました（男性）
- ・大きくなった木を間伐する大切さが分かりました。木は私達の生活に必要なものを提供してくれます。これからも森を大事にしていきたい。（小学生）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	1350本	0.6ha	272人	20人	292人
樹種：クヌギ、カシ、ケヤキほか					
実施場所：福井県鯖江市					



クヌギ、カシなどを植樹

山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動事業

森林・山村を守る中部圏都市住民の会

名古屋市昭和区滝川町

●事業概要

事業の目的は、地域の住民の生活・生業を支え、水源涵養、防災を始めとする多くの面での役割りを担うナラ、ブナなどの広葉樹林の整備を都市・山村の住民が共に現場での作業などを通じて積極的に行うことにある。主な活動は、岐阜県郡上市白鳥町で、スギ伐採跡地に、広葉樹を植え、その際、シカによる苗木の食害を防ぐため人造繊維製の網（ウッドガード）で苗木を囲う作業を併行して行い、山村住民と地元住民との対話集会を行うことである。

●事業成果

事業成果は、未だ十分見届け得る段階ではないが、ウッドガードの役割もあってか、シカの食害は今回は見られず、今後もこの延長上で対処していきたい。積雪による昨秋の植栽苗木の倒伏・枯損が一部に見られ、この対応策がこれからの課題と考えている。

●自己評価

シカ防除対策を継続することで今後にも役立つことを期することにしたいが、積雪による苗木の枯損は、広葉樹育成上の技術的なあり方を含め、対応策の検討を深めていく必要性を感じている。

●参加者の声

・自ら作業が体験し、都市・山村の住民が話し合いをし、そのあり方を論議することは、世の中に役立つ活動であり、大きな励みとなる活動と感じている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.45ha	150本	0.65ha	47人	39人	86人
樹種：コナラ、ケヤキ、ブナ					
実施場所：岐阜県郡上市白鳥町					



コナラ、ケヤキ、ブナなどを植樹

水源の里山再生事業

三ッ口の里山を守る会

三重県熊野市五郷町

●事業概要

目的は、山地に起因する災害を予防し、山村集落における生活環境の安全と安心を確保するため、小流域全体にわたる水源涵養機能や土砂流出防止機能などの高度発揮に資する森林の造成をめざす。深根性の樹種の植栽により土壌の保全を図るとともに、保水力を回復させることにより、これを活かした里山や生態系を保全するための作業であり、主な内容は、次の通りである。

- ①広葉樹苗木の植栽を困難にしている雑木林を草刈り機や除草剤により除去。
- ②この地域の潜在植生の一部を構成しているケヤキ、アカガシ、ウラジロガシなど6種の地域性苗木の小苗を植栽。

●事業成果

荒廃した林地4haに広葉樹の植栽をすることができたので、水源林の完成に向けてスタートをきることができ、今後の小流域全体への取組に向けて弾みがついた。

●自己評価

整備を要する林地22haのうち本年度は5haを計画したが、長年にわたり放置されていたことから雑草木の繁茂が著しかったので地拵えや苗木の運搬方法、作業歩道の配置などを工夫する必要がある。

また、根系の持つ土壌緊迫力が低下してきており、一部、表層崩壊が見られることから、苗木の植栽に加え、木柵などの山腹基礎工を施工する必要がある。

●参加者の声

・植栽した樹木が大きく育つのが楽しみだ。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
4ha	3074本	200人	200人
樹種：ケヤキ、アカガシ、ウラジロガシほか			
実施場所：三重県熊野市五郷町			



ケヤキほかを植樹

蘇る熊野の森・大日山プロジェクト 2015 (6 番区)

(特非) 三つの森

和歌山県東牟婁郡太地町

●事業概要

田辺市本宮町の地滑り工事跡地山腹において、平成15年以来、裸地状態が続き、緑化の兆しは見られない。その山を健全な森に再生し、世界遺産の地・熊野の景観も再生するためである。

1. 貧困な土壌に活着できる、根部の充実した約1m高の苗木の植栽。2. 苗木は自生樹種を全て用いる。3. 堆肥及び補充土を補う。4. 落葉、刈り草を保湿維持のためにマルチする。5. 苗木根部の土壌流失を防ぎ、固定するために竹筒を用いる。

●事業成果

活着及び成長は、全体的に順調。現地は日当たり良く乾燥しやすいが、適当な苗木間隔と最小限の草刈りに起因すると思われる。竹筒使用により、植樹参加者は植栽穴を掘る手間が省け、効率的だった。

●自己評価

植樹祭前、約2週間、晴天続きで後の苗木活着を不安視する参加者の声もあり、一部は春季に延期した事は適切だった。

●参加者の声

- ・植栽地から見下ろす景観は、素晴らしかった。反面、下から見上げた時、山腹の裸状の姿に胸が痛んだ。(60代女性)
- ・現地は、石なども見られたが竹筒や堆肥も用意され、主催者の配慮を感じた。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.47ha	1650本	60人	5人	65人
実施場所：和歌山県田辺市本宮町				



40人が参加しての植樹祭

平成27年度斐伊川流域荒廃林等 再生整備住民交流会

斐伊川流域林業活性化センター

松江市東津田町

●事業概要

目的は、斐伊川流域の荒廃林地を植林する事により水源林としての整備とともに防災などの国土保全機能の向上を図ったことである。また、植林活動やイベントを通じて、上流と下流の住民が連携して森林整備を進める重要性について相互理解と認識を深めた。事業活動は次のとおりである。

- ①参加者の安全性の確保と植林後の適切管理のため、雑木林の伐開、作業道環境整備
- ②植栽：住民約150人による植栽
- ③交流イベント：パネルシアター、森の芸術作品展

●事業成果

多くの流域住民が参加して植林活動を行う事により、荒廃林が次世代に引き継がれる森林として蘇ることとなった。イベントを通じて参加者が上流下流の住民が連携して森林整備する必要性について認識が深まった。

参加者もロケーションの良い地域を再認識し中山間地域の良さについて再認識した。行政や森林組合の職員も住民参加の植林活動の推進の可能性について理解が深まった。

●自己評価

参加者も植林活動や交流イベントにも熱心に取り組み事業成果も達成された。子ども達も多く将来の森林整備の担い手として期待できるものとなった。

●参加者の声

- ・楽しく植林ができて、将来この木が大きくなって重要な役割を果たすことに意義を感じた。(中学生)
- ・意義も感じ、親子で楽しい一日を過ごした。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.4ha	800本	147人	147人
樹種：ヒノキ、サクラ、スギ			
実施場所：島根県奥出雲町			



ヒノキ、サクラなどを植樹

大浦干拓防風林保全事業

(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ヶ丘

●事業概要

大浦干拓の防風林は、主林木のクロマツの欠損した個所やクロマツの枝下高が高くなり、中下層の暴風効果の減衰が見られる部分があり、水田の耕作や集落住民の生活環境保全上の課題となっていた。

このため、地域の住民と水田の耕作者が、当研究所の指導の下に、欠損箇所にマツクイムシ抵抗性クロマツの植栽と、中下層の暴風効果を得るためウバメガシなどの中下層木を植栽した。植栽にあたっては、植栽木の健全な育成を図るため、スギ間伐材を使用した防風垣を設置した。

●自己評価

地域の樹民から南さつま市を通じて当団体に要請のあった防風林の保全活動が、緑の募金事業により実現できた。干拓地の農耕者には大変喜んでいただけたが、今後さらに一般の住民を巻き込んだ活動となるような展開を図っていきたい。

●参加者の声

- ・これまで防風林の保全は各自で行ってきたが、一齐に実施できてありがたい。
- ・防風林にはどのような樹種が適しているかわからなかったが、今回の活動でそれを教えていただき大変参考になった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.4ha	700本	25人	25人
樹種：クロマツ、シャリンバイなど			
実施場所：鹿児島県大崎町（くにの松原町有林内）			



クロマツ、シャリンバイなどを植樹

やんばる地域“森・川・海”連携プロジェクト

(特非) おきなわグリーンネットワーク

那覇市上之屋

●事業概要

沖縄県北部、やんばる地域は、赤土と呼ばれる陸域（農地など）からの土砂流出の問題があり、その問題解決を目的として外部専門機関のアドバイスなどにより、地元赤土等流出防止対策協議会、地元高校、観光産業などと連携して、地域が持続的に活動に取り組む協働体制づくりの構築を行った。主な活動内容は以下とおりである。

(1)大宜味村地元高校と地域との取り組み

①河川モニタリング調査、SPRS調査、赤土除去試験（沖縄県立辺土名高校）

②グリーンベルト植栽活動（沖縄県立辺土名高校）

③炭焼き作業体験

(2)東村地域と連携したグリーンベルト植栽活動2回

●事業成果

地域住民や農家、地元高校性、県外修学旅行生などが参加し、地域の赤土など流出防止対策の普及に向けた協働体制づくりに貢献することができた。対策農地面積4.8haにおいては、59%の赤土など流出削減効果が期待できる。

●自己評価

計画より多く活動することができたが、当初計画の森林資材である炭の活用が思うようにできなかった。

●参加者の声

- ・地域と連携した取り組みだと、対策農家も増えると思います。（参加農家）
- ・地域の環境保全に対する意識が強くなりました。（高校生）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
4.8ha	1万1820本	85人	382人	467人
実施場所：沖縄県大宜味村、東村				



グリーンベルト植栽

緑化の推進

エコキャンプ2015

エコキャンプ2015実行委員会

岡山市北区柳町

●事業概要

植樹会、自然観察会、講演会などを実施し、親子で自然を体験、感動を得るとともに地球環境に対する理解を深め、広く環境保全に導く。あわせて「緑の募金」に対する認識を高める。2015年7月25日・26日、恩原高原オートキャンプ場で、「エコキャンプ2015」を開催。親子120人の参加による①オオヤマザクラ・ウリハダカエデ・ヤマボウシの植栽②自然観察教室③木工教室④キャンプファイアー木組みづくり体験⑤エコ体験教室⑥エコドライブ⑦キャンプファイヤーなどの内容で開催。

●事業成果

植樹会、木工教室、自然観察会などの野外活動を通じて、参加者が森を守り育てていこうという気運が盛り上がった。中でもメインイベントの植樹会では森林インストラクターの指導を受けながら苗木120本を丁寧に植え付け、将来大きく育つことを願った。また、木のおもちゃ作りや自然観察会などの実施によって、普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者は環境保護への関心を高めた。

●自己評価

計画通り植栽でき森林の大切さや環境保全の啓発につながった。今後は参加者がキャンプを通じ、より森林環境教育ができるよう、新プログラムなど考え実行していきたい。

●参加者の声

- ・今年のエコキャンプでは木について知らなかったことがいっぱい分かりました。それから木を使っている色々な物が作れることも分かりました。(小学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.05ha	120本	118人	2人	120人
樹種：オオヤマザクラ・ウリハダカエデ・ヤマボウシ				
実施場所：岡山県鏡野町				



オオヤマザクラ、ウリハダカエデなどを植樹

獅子吼高原 森のふれあい音楽会

「つたえよう 美しき森」推進委員会

金沢市古府

●事業概要

当委員会では、森を知るにはまず森に行き森に親しむことから始めようと平成17年から「おい！森に行こう」をスローガンに、県民参加型の様々な事業展開を行っている。その1つである「獅子吼 森のふれあい音楽会」は、若い人達に音楽を通して森の大切さを伝えようとの趣旨から、同世代のグループを中心に出演してもらってステージを繰り返す。また、高原での植樹やトレッキングのほか親子での工作教室などの実施を通して森林保全の必要性をアピールしている。

●事業成果

昨年は山頂で音楽会を開催したが、ゴンドラの輸送力などの事情から山麓での開催とした。ご当地アイドルグループから高校生マーチングバンドと幅広い音楽愛好家に出演してもらい、会場は終日、多くの聴衆で賑わった。また、植樹やトレッキング、親子工作教室は毎年、多くの参加希望者があり、木に触れるということを存分に体験してもらっている。

●自己評価

自然保護、森林保全を感じてもらうには絶好の場所であった。同一地点で長年開催しており、県内全域への訴求を考えた場合、開催地変更を考える時期に来ていると思われる。

●参加者の声

- ・マーチングバンドの動きがあるので面白かった。
- ・この時期に山を訪れ作業するのは楽しい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	20本	37人	37人
樹種：コナラ			
実施場所：石川県白山市（獅子吼高原）			



コナラを植樹

斎王竹の道「緑の森公園」づくり

(特非) ういの郷クラブ

三重県多気郡明和町

●事業概要

- ①タケに浸蝕されていた「斎王参向古道」沿いの荒廃スギ林0.45haを景観生産のウメ林として再生する。
- ②竹藪化した雑木林0.5haを広葉樹林として再生する。作業道を敷設し、不良雑木を除伐・運び出して、有用樹の植栽圃場とロータリーを設置した。
- ③この森林沿いのササと灌木に覆われた歴史古道を散策路として整備する。
- ④年間を通して今まで再生した竹林1.2haの保全を継続する。保全修景のアジサイの手入れ、竹柵の更新に努めた。

●事業成果

- ①梅苗は成長し、圃場全体を覆うほどになった。
- ②雑木林の一隅に設けたロータリーは間伐材の腰掛を設置し、周辺を土盛りしてサクラ・モミジを植栽した。
- ③公園化林のメインとして、ロータリーに続く圃場に、コナラ・ツツジなどを植樹した。
- ④整備した古道は作業道として再生され、不法投棄がなくなり、散策路として多くの市民が訪れるようになった。
- ⑤恒例イベントを年間20回に及ぶ地元小学校の野外活動や青少年団体による親林活動により、自然に親しむ関心や意識が高まっている。

●参加者の声

- ・昼間通るのも怖かったスギ山が素晴らしい場所になった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	計
0.58ha	260本	0.5ha	1300人	1300人
樹種：サクラ、ウメ、モミジ、コナラ、ツツジほか				
実施場所：三重県明和町				



サクラ、ウメなどを植樹

親と子協働の森づくりと自然体験活動

(公社) 北海道森と緑の会

札幌市中央区北四条西

●事業概要

「森を育てよう！親と子協働の森づくり植樹祭」を札幌市白旗山都市環境林で実施した。

市民ボランティアと子ども達が協働し植樹などの森林整備を行うほか、自然体験活動の実施を通じ環境保全に貢献するとともに、地域住民や子ども達の緑化意識の高揚を図るものである。

また、(株)ツルハの協賛により旭川地区に平成21・22年台風被害跡地に植栽した「親と子の協働の森」で、国有林との協定により実施している保育作業を実施した。

●事業成果

当日は暖かな曇り空の日で、植樹場所は傾斜がありササの根が残っていたが、予定の時間内に植樹を終了した。

植樹後に行われた自然体験活動では、樹木の高さの測り方の説明の後、誰が一番正確に測れるかゲームを実施し、普段できない体験が親子共に好評だった。

●自己評価

昨年度から協賛企業がないため参加者が減少した。また植樹に適した場所も少なくなってきている。また、旭川地区の保育作業についても現地を管理している国有林との協議が必要となっている。

●参加者の声

- ・来年も実施するのであれば参加したい。
- ・非常に良い環境で楽しい一日だった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.05ha	100本	0.40ha	25人	25人
樹種：アカエゾマツ				
実施場所：札幌市白旗山ほか				



アカエゾマツを植樹

活樹祭～こども間伐体験～

環境NPOオフィス町内会

東京都港区芝浦

●事業概要

「木を切って使うことは、健康な森づくりに必要なこと」をキーワードにした「活樹祭 こども間伐体験」を、「森の町内会」活動のサポーター企業である「キッザニア東京」と協力して、岩手県葛巻町にて実施した。

【活樹祭の3要素】

〔間伐材の幅広い活用法の理解〕…国産材を有効活用している地域の取り組みを見学

〔林業の仕事体験〕…森を育てる林業の仕事を経験

〔木の可能性に気づく〕…木の加工・利用を体験、木を積極的に使うための「活樹提案書」を作成

●事業成果

元気な森を維持するためには「林業」の仕事が必要であり、木は様々な形で有効に活用できるものだという意識づけが行われた。地域の森林を整備する幅広い関係者にご協力いただくことができた。参加したこども達はもちろんのこと、保護者や周囲の人達、運営に関わった関係者にとっても、「活樹マインド」を深める機会とすることができた。

●自己評価

活動の総まとめとして、「活樹提案書」の作成・発表を位置づけることで、2泊3日の活樹祭を通じて、こども達が楽しみながら「活樹マインド」を深めることができるよう、プログラム運営することができた。

●参加者の声

・木を「たくさん」「使って」「大切に」するのが自然にやさしいということを知った。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積			
1ha	11人	24人	35人
実施場所：岩手県葛巻町			



間伐体験

地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」

(認特) 共存の森ネットワーク

東京都世田谷区松原

●事業概要

「聞き書き甲子園」に参加した学生たちを中心に、森林を育て利用した暮らしや、その暮らしを支えてきた「森の名手・名人」たちの知恵や技を学び、活動を実践し、森づくりのネットワークを広げていくことを目的に活動。全国6地区で里山の整備活動、伐り出した竹材の活用、ジオトープツアーなどを行ったほか、市原市と川上村では、里山資源の活用方法や共同作業の仕組み等について地域住民に聞き、それらを冊子にまとめた。

●事業成果

里山整備については、散策道の階段や手すりの修復を行い、安全に森を回遊できるよう整備した。また数年かけて行ってきた豊田市での竹林整備が終わり、除伐地には広葉樹を植樹した。

●自己評価

各地区での活動も5年を超えるところが増え、森づくりの活動に対する参加者の要望や地域側からの要望も変化してきたので、今度の活動内容の見直しが必要となってい。課題となっていた新規参加者の獲得について、大幅な増員をすることはできなかったものの、活動の参加者が地区に移住するなどして、受け入れ側の体制を整えることができた。

●参加者の声

・散策道を整備するために急な斜面を杭や道具を担いで行くのは大変ですが、整備の効果を感じる景色に感動した。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
2ha	20本	30.5ha	170人	261人	431人
樹種：カエデ、サクラ					
実施場所：新潟県村上市、千葉県市原市、愛知県豊田市、滋賀県大津市、奈良県川上村、福岡県八女市					



散策道の整備

丸一山植樹祭

丸一山花と緑の会

北海道空知郡上富良野町

●事業概要

げんきの森の一角である丸一山に地域住民の手で植樹し、町民の憩いの場とするとともに観光客にも立ち寄って楽しんでもらえる場を作る。また、参加した子どもたちを含め自分たちが植樹したサクラなどが将来大きくなる楽しみを味わってもらい、この山への愛着を高める。

内容は、地域の地理的条件や土壌、気候に合った品種のサクラおよびそれらの紅葉が映える、ネグンドカエデを購入し町民の手で植樹するとともに、樹木の域管理を行う。

講話を依頼し、植樹祭参加者に森の働きや森林環境が大切であることを理解してもらう。

●事業成果

サクラと広葉樹が山に増えて、賑わいが増加した。

元東大演習林教授の講話を聞くことにより、参加者が森林や樹木の大切さを理解した。

参加した子どもたちが、親子の触れ合いが図られ、自然を体験・学習することができた。

●自己評価

2005年に設立以来、自己資金に併せて各種の補助金助成金を受け毎年植樹を行っている。今回の補助事業も計画通り概ね達成ができた。会の活動知名度も高くなってきた。

一方で、子どもの参加が減少してきているので親子で参加できる方策を講じる必要がある。

●参加者の声

・町の近くにたくさんのサクラやモミジがあるのを知らなかった。毎年参加したい(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	計
4.5ha	220本	7ha	89人
樹種：ネグンドカエデ、ソメイヨシノ、エゾヤマサクラほか			
実施場所：北海道上富良野町			



エゾヤマザクラほかを植樹

げんきの森づくりと森の学習活動

(特非) 森林遊びサポートセンター

札幌市南区藤野

●事業概要

目的：学校林を活用して子どもたちと森づくりや木々の学習から、森や自然を大切にすることを育む。

内容：森づくり体験①植樹準備の地ごしらえ②植樹③森の歩道整備④下刈り

森の学習①子ども樹木博士認定②ツリークライミングなどを実施した。

●事業成果

①前年度までの成果など(平成19～27年)

平成16年の台風被害の復旧と子どもたちの森林環境教育活動の継続により、森の整備も進み、子どもたちも木々や森に親しみ、保護者を含めて森を大切にすることを共有ができた。

②今年度新たに得られた成果等

エゾヤマザクラ40本とエゾコリンゴ20本植樹し、小鳥の村に相応しい森の整備ができた。

●自己評価

学校や子どもたちと保護者のみなさんの協力があり、活動経費の交付をいただき円滑に活動ができたことを感謝している。

●参加者の声

学校から子どもたちの感想文が届けられたが、植樹の準備地ごしらえは厳しかった、ツリークライミングは樹上から森を眺めての感動など、小鳥の村があつての体験ができたことを感謝する声が多くあった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.2ha	60本	2ha	0.5ha	180人	40人	220人
樹種：エゾヤマザクラ、エゾコリンゴ						
実施場所：札幌市						



下刈作業

東日本大震災復興祈念・吉里吉里 保育園環境緑化事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

吉里吉里保育園は、東日本大震災の大津波により園舎が全壊、流出した。平成26年に大槌町吉里吉里地内の高台に新しい保育園が完成したが、山林を造成して建設したため、保育園の周囲は裸地状態であった。

このような状況の下、あの東日本大震災・大津波から一日でも早い復興を祈念するとともに、園児が緑に囲まれた豊かな環境のもとで健やかに成長することを願い、園児、小学生及びボランティアなどにより保育園周囲へサクラやツツジを植栽し環境の緑化を図った。

●事業成果

県外ボランティアと地域の住民が協力し、植林という形で緑化活動を行うことができた。植樹作業が初めての人が多く、緑化の大切さと植樹作業の大変さを学ぶことで森林への関心を高めることができた。

●自己評価

計画どおりに行うことができたことに満足している。

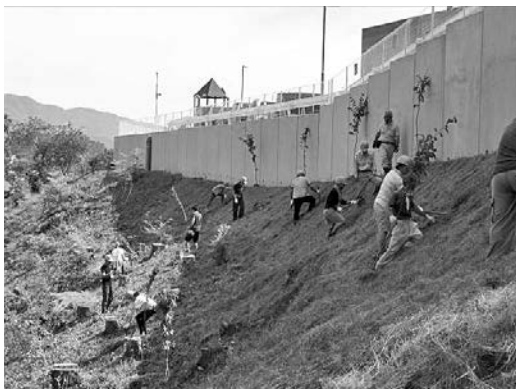
ボランティアへの作業内容の周知、また事前準備などに不十分な点があったので、作業前に緑化の学習の時間を設けるなどを行いたい。

●参加者の声

- ・初めての植林でした。サクラの花が早く咲いてほしい。(県外ボランティア)
- ・花が咲くのが楽しみ。小学生になったら見に来たい。(幼稚園児)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.32ha	550本	66人	87人	153人
樹種：オオヤマザクラ、ツツジ				
実施場所：岩手県大槌町吉里吉里（吉里吉里保育園）				



オオヤマザクラ、ツツジなどを植樹

気仙沼市立津谷小学校における 学校教育環境向上事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

学校教育環境の向上を図るため、校地の南樹木園とサクラ並木を主体に、剪定などの環境整備を行った。また、環境整備と全労済からの「みどりの少年団」への帽子とスカーフ贈呈を記念して、ハナミズキ2本を植樹した。

●事業成果

津谷小学校は、全国緑化コンクールで準特選の経歴がある緑化活動の盛んな学校だが、震災以降は、校庭に仮設住宅が建設され、緑化活動を続けていける状況ではなかった。そんな中で、今回の事業で、本当にすっきりした庭園などが蘇り、木々と花壇により、児童も教師も仮設住宅の方々も、ずいぶん癒やされる最適な環境が形成された。

●自己評価

地域の方々も咲きそろったサクラ並木を見に訪れるなど、地域と結びつきの強い歴史ある学校であり、今回の環境整備で、これまで以上に、新た学習環境として親しまれると思う。反省点としては、作業場面を見学する機会をより多くして、環境整備に対する理解を高める機会として活用できたと思う。今後は、季節ごとに木々の特徴や素晴らしさについての学習の場としても、活用されることを期待している。

●参加者の声

「仮設住宅の前の樹木園がきれいなので椅子に腰を下ろして眺めるようになった」と話す仮設住宅居住の方の声が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
記念植樹	看板設置	環境整備	県内	県外	計
2本	1基	0.06ha	46人	1人	47人
樹種：ハナミズキ					
実施場所：宮城県気仙沼市（津谷小学校内）					



ハナミズキを記念植樹

震災地域の学校教育環境向上のための 緑化事業等（石岡市吉生小学校）

（公社）茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

東日本大震災で大きな被害を受けた石岡市吉生地内の吉生小学校学校林の復旧・復興に向けて、地域文化の発祥となる小学校の校庭周辺（学校林）の緑化などの整備を行った。主な活動は、次のとおり。

- ①森林整備（スギ100本）、②はばたき橋の橋柱の改修、③空中回廊の整備、ターザンロープの設置、④遊歩道の整備、⑤記念式典、記念植樹

●事業成果

学校林の緑化活動に取り組み、スギの間伐や枝打ちを含めた森林環境整備と児童が森林内で休み時間を過ごす緑空間を整備することができた。特に遊歩道整備にあたっては、児童と共にPTA、地域住民などが参加し、より地域社会との連携が図られた学校緑化活動となった。

●自己評価

小規模学校施設では、被災地であっても予算は限られ、校庭などの環境整備は思うように実施できないのが実情。しかし、今回の事業により学校林の整備や遊具施設の強化ができたこと、事業実施にあたっては、地元住民の協力そして連絡調整がうまくいったこと。特に事前打合や作業、式典で地域、学校が協働できたことを感謝された。

●参加者の声

- ・緑がいっぱいの学校林で野外授業や森の遊びをしてきたが、そこにツバキを植え、遊歩道わきにシャガを植えられることはうれしかった。（小学5年女子）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
遊歩道整備	植栽本数	県内	計
140m	51本	110人	110人
樹種：ヤマツバキ、シャガ			
実施場所：茨城県石岡市（吉生小学校）			



ヤマツバキを植樹

震災地域における学校教育環境の 向上のための緑化事業 （いわき市立藤原小学校）

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町

●事業概要

学校敷地内の樹木の枝払いなどの手入れを行い、教育環境の安全性を高めるための環境整備を行う。また、植樹活動を行うことにより、学校の教育環境の向上と児童の樹木に対する意識の向上を推進する。

●事業成果

害虫により立ち枯れていたマツを伐採、校内では対応が容易ではなかった高木の枝払いや校舎周辺の法面の草刈りなどを行うことができ、安全性と美観を高めることができた。また、校庭に5本の樹木の植栽や、植樹を記念しての樹木オリエンテーリングを行い、児童の樹木に対する関心を高めることができた。

●自己評価

震災以降、樹木とふれあったり畑で栽培活動に取り組むなどの活動が減少し、児童の自然環境に対する意識も低下していたが、この事業を機に、自分たちの学校環境をもう一度見つめ直す機会となった。

●参加者の声

- ・校庭には、いろいろな種類の木が植えてあることに気がつきました。いつも遊んでいるのに、今まで気がつきませんでした。これから、名前を覚えたい。（児童）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植栽	枯れたマツの伐採・撤去	ベニカナメ剪定	県内	計
5本	4本	150本	110人	110人
樹種：ヒメシャラ、ソヨゴ、モミジ、ハナミズキ、シマトネリコ				
実施場所：福島県いわき市（藤原小学校）				



ヒメシャラ、ソヨゴなどを植樹

「復興さくらの丘」環境緑化及び 緑の小道作設事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

目的は、東日本大震災の大津波により失われた桜並木の再生と地域の復興を祈念するため、復興さくらの丘に山田町の震災犠牲者数のサクラ824本の植樹が行われた一部を地域の緑の憩いの場とし、主な活動として、ツツジ、サツキなど480本の緑化木を植栽した。また、管理等に必要な散策路520mを開設し木材チップを敷設した。

●事業成果

緑化により四季折々の花が楽しめる。

また、散策路は管理と地元小学校の自然観察会などに利用でき、津波到達点より上方に開設したことから、来場者の避難路としても活用が図られる。

●自己評価

- ・伐採跡地のため雑木の萌芽等で下刈が困難ではあるが、ボランティアにより毎年下刈り作業等管理できる状態にあり助かっている。
- ・現地の土壌は海岸のため保水力が弱く、真夏の渇水期は苗木に散水が不可欠となっていたが、散策路の開設により、散水ができ管理と併せ有効に活用できる。

●参加者の声

- ・あいにくの天候ではあったが達成感があった。(地元企業ボランティア)
- ・緑化木等で彩られるのが楽しみ。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
1.99ha	480本	240人	5人	245人
樹種：ツツジ、アジサイ、モミジなど				
実施場所：岩手県山田町（復興さくらの丘）				



高校生による植樹

未来への植樹祭 ～野田村海岸林再生への一歩～

のだ千年の松

岩手県九戸郡野田村

●事業概要

東日本大震災で多大なる被害を受けた岩手県野田村の復興のシンボルとなるワイナリーへの植樹により、今後活動する海岸林再生への基盤を作ることが目的である。主な内容は次のとおりである。

- ①村の木であり、シンボルでもあるマツの植樹
- ②村民の願いを込めたワイナリーに希望と再生のアーモンド、サクラなどの植樹
- ③地元内外参加者の植樹に対する理解の向上

●事業成果

県内外から参加があり、復興への気持ちが高まった。

ワイナリーの従事者、山ブドウ生産者の結束が強まり、苗木を育てる意識が向上した。

活動状況を「のだ千年の松」ブログ上に掲載し、野田村と植樹をPRできた。

●自己評価

ワイナリー通路から遊具場全体を囲むよう植える計画だったが、隣接する塩工房の工事の都合で4面の内の1面を断念する結果となった。関係者の事前の話し合いが完全ではなかった結果である。さらに植樹祭直前に変更が多々あり、第三セクターばあぶる及び役所との意思疎通が図りきれていなかった。事前の打ち合わせを十分に行い計画を立てる必要性を感じた。

●参加者の声

- ・木を植えるのが楽しかった。(小学生女子)
- ・これからはここで花見をしたい。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.08ha	85本	40人	40人
樹種：マツ、モモ、サクラなど			
実施場所：岩手県野田村			



マツ、モモ、サクラなどを植樹

東日本大震災・被災地に 緑と心の復興を！ Project-D

(公財) 日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

●事業概要

目的は、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献することであり、主な活動は、被災地（岩手・宮城・福島）に植える広葉樹（どんぐり）の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育て、植え戻すことである。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成23～27年）

苗木の里親や植樹等の活動に参加した人たちに、これからも被災地を応援しようという気持ちをもってもらうとともに、地域の生物多様性を維持することの大切さを理解していただいた。

②今年度新たに得られた成果等

宮城県東松島市で新たに植樹を実施したほか、昨年度より活動している福島県郡山市においても引き続き植樹を行った。地元の人たちにも多く参加していただき、子どもたちにとっては屋外で活動する機会も提供することができた。

●自己評価

プロジェクトで育てた苗木をほぼ被災地に植え戻し終えた。今後の保育は長期間にわたるので、補植・施肥・除草等をしっかり行える体制を整えたい。

●参加者の声

- ・10年後、30年後に大きく育った木を見に来るのが楽しみ。
- ・草刈りなどの活動にも参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.13ha	3900本	0.5ha	150人	85人	235人
樹種：クヌギ、コナラ、シラカシ等					
実施場所：宮城県東松島市、福島県郡山市					



クヌギ、コナラなどを植樹

「被災地に緑と 心のふれあい森林づくり」事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うとともに森林づくりの重要性を普及する。

●事業成果

沿岸被災住民と山村住民の交流のきっかけとなり、地元米川地区住民の方々と絆が昨年に増して深まった。また、沿岸被災住民の人々にとっては、二度目であっても、森林作業体験を通して森林づくりの魅力を感じ取っていただき、次回も参加したいという意欲を示してくれた。

●自己評価

計画どおりのイベント開催回数が実施でき、所期の目的は達成できた。ただし、林床栽培のマイタケ発生の遅れによって、一部催事内容変更もあり、日程設定の難しさを今年も感じた。今後も、参加者に、森林に興味をもっていただけるような、また、被災者の心の癒しの時となるような森林作業体験イベントを計画したい。

●参加者の声

- ・震災による将来の不安などが一時的でも森林で癒された。（南三陸町 76才男性）
- ・森林作業体験で米川地区住民の方々と交流が深まった。今後も継続してほしい。（南三陸町72才女性）
- ・浜育ちの私が、国土の緑化や森林の大切さを知り、震災復興に頑張る気持ちの後押しとなったので、今後もこのようなイベントを続けてほしい。（南三陸町75才男性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.40ha	1200本	0.40ha	370人	370人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：宮城県登米市東和町（米川生産森林組合有林内）				



ヤマザクラを植樹

復興まちづくり集会所竣工記念 植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災に伴う防災集団移転により、南三陸町内に新たに造成された防集団地の木造集会所竣工にあわせ、身近な緑とのふれあいを通じて緑の重要性を普及するとともに、東日本大震災からの復興を祈念するために、南三陸町木造災害公営住宅建設推進協議会が、新たなコミュニティ活動の場となる集会所で、住民とともに復興まちづくりのシンボルとなる樹木の植栽を行ったもの。

●事業成果

各地で被災した方々が、新たな集いの場となる集会所のシンボルツリー（ハナミズキ）と一緒に植栽することにより、生活の場である団地内の緑化意識とコミュニティの連帯感の醸成が図られた。

●自己評価

植栽場所の土壌条件があまり良好でなかったため、参加者に事前に案内した時間よりも植栽及び建柱の掘削に時間を要したこともあってか、参加者が途中で帰宅された方も少なくなかった。今後は、植栽準備作業についても余裕を持って設定し、参加者への時間的負担を少なくしたい。

●参加者の声

- ・建物だけでは殺風景だったが、きれいな赤い花の咲くシンボルツリーに気持ちが癒されることを期待している。
- ・これから毎年、集会所の庭先で季節の花が見られるので、楽しみにしている。
- ・皆で植えたのだから、体の動く限り世話をしていきたい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数		
4本	16人	16人
樹種：ハナミズキ		
実施場所：宮城県南三陸町		



ハナミズキを記念植樹

震災地域の学校教育環境向上のための 緑化事業（市原市立京葉小学校）

市原市立京葉小学校

千葉県市原市五井西

●事業概要

震災地域の学校教育環境向上のため、校内の緑化など環境整備を図った。主な内容は下記のとおりである。

- ①校内の京葉山（小高く造成した山）の緑の再生及び表土流出防止を期待したツツジの植樹。
- ②なんじゃもんじゃの木「ヒトツバタゴ」の植栽。
- ③枯枝の落下事故を未然に防ぐため、クスノキ大径木やカイヅカイブキの剪定、校内に残存し毒性を有するキョウチクトウの根株の適切な処理。

●事業成果

表土が流出し、児童が立ち入ることも困難になりつつあった京葉山に緑が蘇り、あわせて植樹や大掛りな剪定を行ったことで安全に緑と親しむ学校教育環境が著しく向上した。特に児童が大好きな京葉山に登り、緑のなかを思い切り飛び回る姿を再び目にできたことは感無量である。

●自己評価

震災後の緑の再生や、防災・事故の未然防止などの視点による事業計画は、予定どおり達成できた。大地震という恐ろしい経験をした児童に対し、今後は緑あふれる環境や木々や花そのものが与える癒しの効果などを、より活かしていけるよう学校としていきたい。

●参加者の声

- ・ツツジが一斉に咲くのを早く見たい。（小学3年男子）
- ・当校は昔から緑を大切にしている学校。今回植えた木々も児童達と共に大切に育てていきたい。（緑化ボランティア）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	剪定	県内	県外	計
200本	7本	649人	2人	651人
樹種：ツツジ、ヒトツバタゴ、クスノキ、カイヅカイブキ				
実施場所：千葉県市原市 市立京葉小学校				



ツツジ、ヒトツバタゴの植樹

第四次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業

(公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原

●事業概要

本県太平洋側の東日本大震災被災地域（八戸市、三沢市、おいらせ町）内の保育園・幼稚園（市2施設・町1施設計5施設）を対象に、花木の植樹（県産材使用プランターも含む）及び県産材を使用した積木を寄贈した。

●事業成果

テレビニュースとして県内に放送され、また、県内の有力紙に掲載された。

被災地域の園児が花木を植樹したり、県産材を使用した積み木で遊ぶ事でマスコミに取り上げられ、緑の募金事業の啓発につながった。

今回寄贈した被災地域の保育園・幼稚園は一部に過ぎないので、これからも継続して実施していきたい。

●参加者の声

- ・みんなで植えたので楽しかった。
- ・花が咲くのが楽しみ。
- ・木の積み木は良い匂いがする。
- ・積み木でいっぱい遊びたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
35㎡	90本	100人	100人
樹種：ドウダンツツジほか			
実施場所：青森県八戸市、三沢市、おいらせ町			



県産材を使用したプランターへの植樹

間伐材等の組立て什器（組手什）を用いた熊本地震復興支援事業

組手什おかげまわし協議会

愛知県名古屋市中村区那古野

●事業概要

国産木材の製材から出る余り材を加工して、組手什という組立部材を作った。これを被災地での屋内什器、棚、台、箱、として活用すべく、当方で生産し、被災地へ運搬、寄贈した。また、被災地での資材活用を進め組手什生産をめざして、紹介と技術指導、交流を行った。

●事業成果

組手什においては、暮らしの中に木材を取り入れて、その価値を実感していただくことができた。さまざまな住まい方、要望に合わせて自由な形と大きさの什器を製作でき、身近な山の資源を有効に使っていけると説明を理解していただいた。現地での組手什生産も実現し、国内の至る所で同じように森林資源の有効利用と共に、予想される非常時での支援資材として有効なことが判った。

(今回の用途例)

ボランティアセンターでの雑多な救援物資の整理棚。下駄、長靴、ズックなど多様な履き物に対応した下駄箱。避難所での身辺整理、整理棚。位牌置き場。机。被災地での汚れた写真の干し棚など。

●参加者の声

- ・切り欠きのある部材を、様々に組んで棚やラックが作れます。木造仮設住宅にピッタリのデザイン。

実績とりまとめ表

作業内容
組手什の寄贈、組み立て協働作業
靴箱や整理棚、図書棚等、避難所ごとのリクエストに応じて支援団体（九州森林インストラクターほか）と避難者が協力して組み立て・設置
全9箇所・組手什1万2000本を寄贈
実施場所：熊本県西原村、熊本市西区、益城町、南阿蘇村等の避難所（小学校、福祉センター、地元企業体育館、役場仮庁舎など）



組み立て作業は、みなで協力しながらすすめた

子供たち中心で、荒れ地を広葉樹の森づくりで再生

奥州万年の森をつくる会

岩手県奥州市前沢区

●事業概要

約50年放置されてきた養蚕団地跡地の荒れ地を子どもたちと共に、落葉広葉樹の森づくりをする。

ドングリなどの採取、苗の植替え、苗づくり、育苗、植樹活動を子どもたち共に実施した。①植樹祭は0.8haに落葉広葉樹13種・2500本を約200人の参加者を得て植樹した。②昨年及び2・3年前の植樹地の下刈りを延べ23回実施した。③苗の植替え作業を実施した。④どんぐりなどの採取。⑤苗づくりを前沢小学校4年生全員で総合学習の授業として昨年に引き続き実施できた。

●事業成果

荒れ地が整地され多種の落葉広葉樹の苗で埋まり、今後、森への変遷が期待される。植樹祭・苗の植替えには多くの子どもたちが参加して自然環境及び生命の大切さを共に学ぶことができた。

●自己評価

計画していた事業などは自然教室を残して、ほぼ予定通り実施できたが、下刈り（除草）及び育苗において天候不順（高温・多雨）の対応に不備があり後手に回った場合があった。また、研修会、子どもたちの自然教室の日程調整は早期にすべきであった。昨年に続き実施できた前沢小学校での苗づくりは大きな成果であった。

●参加者の声

・大きな樹に育ってほしい・森になるのが楽しみ（植樹祭に参加した子どもたち）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	計
0.8 ha	2500本	4 ha	372人
樹種：落葉広葉樹13種、トチ、クヌギ・コナラ・ミズナラ			
実施場所：岩手県奥州市			



広葉樹13種、2500本を植樹

千年希望の丘育樹事業 「大きく育て、10万本の緑の堤防」

千年希望の丘協会

宮城県岩沼市中央

●事業概要

3.11を忘れないように初春から夏に咲く花木、レンギョウやマンサク、ネムノキなど344本を植樹し、千年希望の丘の育樹事業に寄与する。あわせて、市民をはじめ多くのボランティアの方々の力を借りて、今後の千年希望の丘の管理がスムーズに行えるよう、交流を深めていく。

●事業成果

海岸から約200mの場所につくられた千年希望の丘本体は、市の事業で行われたが、その周辺は津波に襲われた集落の跡が未だ色濃く残っている。その場所へ一部とはいえ、花木を植樹したことにより特段に環境が改善された感じがする。

●自己評価

樹木の配置、高木を植えるための穴掘り、支柱の建て込みなどを事前に行っていたため、当日は女性の方や子ども達などもスムーズに作業をすることができ、参加者は満足することができたと思われる。参加者は千年希望の丘協会会員、(株)ローソン社員等81人であった。一般市民の方々の参加を多くする努力が必要である。

●参加者の声

「大変楽しかった」の声が特に子ども連れや夫婦で参加された方に多かった。今後とも、千年希望の丘の緑を継続するためには交流会が是非必要と感じた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.15ha	344本	80人	1人	81人
樹種：レンギョウ、マンサク、ネムノキなど				
実施場所：宮城県岩沼市				



マンサク、ネムノキなどを植樹

花いっぱい森コミュニティプロジェクト

ふるさと山の会

山形県最上郡真室川町

●事業概要

「みんなで花いっぱいの森をつくろう」を合言葉に、毎年、刈払い、植樹を行っている。

●事業成果

会員はじめ地域住民等の協力を得て、刈払い等の準備を行ない、第6回「植樹祭」を5月7日(土)に開催した。

雨にもかかわらず60人が参加した。参加者全員雨合羽を着てオオヤマザクラの苗木を手に持ち植樹場所まで運んだ。

専門家の植樹作業手順と注意事項の指導を受けた後、それぞれに分かれて植樹をした。

雨に濡れながらも協力しあい、参加した方々が楽しそうに笑顔で作業している風景を見て、この事業をやったと再確認した。

●自己評価

植樹祭前に会員及び地元の協力を得て準備に万全を期したので、参加者が雨にもかかわらず不平の言葉もなく、「準備大変だったね」とねぎらいの言葉をいただいた。

オオヤマザクラを計画通り植樹することができた。今後もこの活動を継続し、皆さんに楽しんで参加していただけるよう、さらに努力していきたい。

●参加者の声

- ・植樹祭を継続して実施していただきたい。
- ・来年もまた参加したい。帰り道も長いので、山のことについてお話をしながら楽しく帰れればと思います。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.25ha	51本	0.5ha	73人	73人
樹種：オオヤマザクラ				
実施場所：山形県真室川町				



オオヤマザクラの植樹

「川内村いのちの森づくり」植樹祭

(特非)川内村NPO協働センター

福島県双葉郡川内村

●事業概要

かつての川内は「森林王国」といわれ、森林は村民にとって生活の場であり、共生の場であった。しかしながら、2011年東日本大震災以降一変し、取り巻く状況に村民に戸惑いをみせている。

村は、早々に帰村宣言し、復興の諸施策は実を結ぼうとしている。今回植樹活動を計画する箇所もそのひとつであり、集う人々に樹木のもつ安らぎを与え、世代を越えた交流の場となるよう植樹を実施するものである。

●事業成果

地域住民も参加し、老人施設敷地内に植樹をすることにより人と森林の関わりを感じ取り、また川内村に生息する樹木を植樹したことで安らぎを覚え子どもたちからお年寄りまで多くの住民の交流の場に育てる。

●自己評価

植樹予定地600㎡のうち200㎡の実施となり、次回の植樹の参加にも積極的に声がありました。

事前の勉強会等の開催や参加者への作業手順については十分に検討する必要がある。

●参加者の声

- ・特養から見る川内村の景色(山々が見渡せる)に溶け込めるような植樹を続けて行きたい。(60代女性)
- ・いつかは自分も行く道(介護)なので、できる間は手入れなどの環境整備に参加したい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	計
0.02ha	135本	50人
樹種：サツキ・アセビほか		
実施場所：福島県川内村 特別養護老人ホームかわうち		



サツキ、アセビなどを植樹

スポーツを愛する青少年が 安らぎ親しみの持てる桜植樹

いちょうの会

茨城県取手市宮和田

●事業概要

スポーツを愛する青少年たちが美しいサクラや木陰に親しみ緑の恩恵に感謝する心豊かな感性を育むことを目的として、取手市藤代スポーツセンターの多目的広場に陽光桜2本を植樹した。

●事業成果

藤代スポーツセンター多目的広場に植樹した陽光桜によって殺風景だった空地が安らぎを憩える親しみの持てる場になった。2本のサクラの配置がゆったりとして、多目的広場を利用する人々には便利で心地よい。景観的にもすばらしくなった。

●自己評価

植樹場所、樹木の種類、植栽方法、作業手順など樹木が丈夫にすくすく育つための作業はほぼ完璧にでき達成状況はかなり満足している。

今後の課題は、会員の高齢化でもっと積極的に作業にあたるために若い人の会員増強に努めたい。

●参加者の声

- ・姿、形の美しいサクラを植えられてなんだかとてもすがすがしい気持ちになった。(70代女性)
- ・もっとサクラや常緑樹を植樹して緑の多い公園にしていきたい。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.02ha	2本	42人	42人
樹種：サクラ			
実施場所：茨城県取手市			



サクラを植樹

筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

(特非) つくば環境フォーラム

茨城県つくば市要

●事業概要

水源涵養林の大切さを啓発するとともに、生物多様性が増大するための森林整備を都市住民の参加によって行い、整備で出る材を有効活用することで、活動の持続性を図ることも目的とした。雑木林の下刈り・クヌギなどの大径木の伐採、作業道の設置、伐採して開けた空間への植樹などを実施し、良好な里山林の形成をめざした。また、拡大し荒廃している竹林を整備し、整備の過程で出る竹材を植樹の支柱として活用した。薪ストーブ愛好家で組織された「つくば薪クラブ」も毎回活動に参加しており、イベント実施日以外にも森の下刈りにあまっている。植樹や苗まわりの下刈りには企業ボランティアが参加した。

●事業成果

植樹した場所は次第に林として育っており、雑木を間伐した場所は萌芽更新や空間への植樹で若返った。明るくなった林内には季節の花も見られるようになり、見通しが良くなってイノシシ被害低減も期待できる。子どもたちの里山体験の場として活用可能になった。

●自己評価

森林整備活動を環境教育にも活用するという目的が達成できた。企業ボランティアは活動の大きな力となるので、より一層の企業参加を呼び込みたい。

●参加者の声

企業ボランティアで植樹に参加した若者たちに里山保全に関するレクチャーを行い、よい研修だったと感想をいただいた。子どもたちは夢中で取り組んでいた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	85本	2.3ha	217人	10人	227人
樹種：クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、ヤブツバキ					
実施場所：茨城県つくば市					



大径木伐倒講習と作業

どングりの木植樹会

(特非) 森の自然学校助川山保全くらぶ

茨城県日立市西成沢町

●事業概要

平成3年の大規模森林火災の跡地に開設された森林公園において、自然繁茂したヤシヤブシ系の広大な単相林の中に、クヌギ・コナラ系の里山林群落を創成する。

17年間に亘り、子どもたちや市民と共に6300本余のクヌギ・コナラの植樹を続けてきた。植樹地の決定・除伐・地ごしらえ・作業道整備を経て春先に植樹会を開催する。夏には直近5年分の植林地の下刈りを実施する。間伐材はシイタケ植菌の原木と遊歩道・作業道の階段用資材・木工工作材料として利用している。

●事業成果

4回に分けて、予定した場所に、クヌギ、コナラ、クリを植樹した。参加者は207人であった。

17年間・17ヶ所の植林地すべてで、クヌギ・コナラが順調に生育している。

地元小学校6年生の卒業記念植樹が定着して参加者の安定的確保が実現した。

今後4年分の植林予定地を確保済みで地ごしらえを少しずつ進めている。

メンバーの確保と若返りが今後の大きな課題である。

●参加者の声

- ・お父さんと植樹できて楽しかった。(保育園児)
- ・植えた木が丈夫に育ってほしいです。(小学5年男子)
- ・6年生全員で卒業直前に植樹した意義は大きい。環境教育にも最高。(小学校教員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	300本	2.5ha	600人	600人
樹種：クヌギ・コナラ・クリ				
実施場所：茨城県日立市（助川山市民の森公園）				



日立市立成沢小学校卒業記念植樹会

山村都市交流の絆づくりを深める 筑波山水源の森づくり

(特非) 地球の緑を育てる会

つくばみらい市陽光台

●事業概要

【目的】戦後植えられた過密なスギ、ヒノキを健全な森林に再生することと同時に、その作業に参加する者同士の交流を図り、市民として森づくりの一助を担いたいとするボランティア同時の絆を深めることも目的とする。

【内容】

1. 発育不全や枯死したスギ、ヒノキ、マツなどの間伐とその間伐材を土留めとして設置、植栽地全面に雑草を除き、植栽地を造成する(業者)。
2. 参加者による資機材の植樹現場までの運搬。
3. 参加者による植栽地の全面耕起作業。
4. マルチング材づくり、間伐材の葉を資材とする。
5. 参加者による苗の植付け作業。
6. 参加者によるマルチング作業。
7. 昼食をとりながらの交流会開催。

●事業成果

2006年から2009年まで行った植栽地で、針葉樹林内に植えられた苗は著しい成長を見せている。2010年から2013年までのサクラ、ツゲなどの樹林内に植えられた苗は、成長はゆっくりである。2014年、2015年に植えられた苗は、イノシシ害もなく、ゆっくりと成長している。

●自己評価

機械力に頼れない植樹であるが、今後も続けていきたい。

●参加者の声

- ・林間部の作業で筑波山の英気をもらった。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加数		
植栽面積	植栽本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	2000本	0.1ha	0.1ha	159人	68人	227人
樹種：シラカシ、アカガシ、アラカシ、スダジイ、タブノキ、ヤマザクラほか						
実施場所：茨城県つくば市（筑波山神社林）						



シラカシ、アカガシ、タブノキなどを植樹

東日本大震災復興支援緑化木苗育苗

(特非) とんぼエコオフィス

千葉県船橋市本町

●事業概要

東日本大震災の被災地の緑化復旧を図るために、植樹用の苗木を育成するものである。主な活動は次のとおりである。①被災地域での樹木の種子採取、挿し木用穂木の採取、苗木の山採り。②全国の幼稚園、小中学校などでドングリから育てた幼苗を受け入れる。③千葉県山武市山武育苗センターで上記①、②を基に苗木を育成する。④作業は種子の播種、発芽管理、挿し木作業と育苗管理。⑤出荷可能な苗木の仕上げ、出荷作業、苗木の輸送作業。⑥被災地・東松島市矢本地区、浜市地区海岸防災林及び陸前高田市、大船渡市、石巻市等で植樹、植栽の指導と管理。⑦山武育苗センターでのボランティア受け入れによる育苗作業の指導。

●事業成果

多くの人の参加により、この苗木育成の活動の意義が認められてきた。また八街市の中学校の生徒たちによる育苗ボランティア活動は6年継続されている。

●自己評価

今年度は種子採取が8万粒ほど、山採り苗木が1000本、挿し木用穂木2000本ほど採取でき、さらに全国の幼稚園、小中学校等から幼苗を受け入れるようになった。

また今年より東松島市矢本地区及び、浜市地区海岸防災林再生活動に参加することになり本格的な活動状態となってきた。今後は苗木の需要が増加傾向なため、より効率的な苗木育成を検討する必要がある。

●参加者の声

・苗木山採りや種子採取は勉強になる。毎年参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.9ha	4030本	0.4ha	17人	151人	168人
樹種：広葉樹とクロマツ					
実施場所：宮城県東松島市、石巻市、千葉県山武市					



育苗センターで苗木を育成

自然林と共生の森作り

あわくらの自然を増す北新クラブ

東京都新宿区北新宿

●事業概要

本活動は中国山脈の自然林を増やす活動である。森を四季で彩り、土壌を肥やす。また、その土壌が雨水をろ過し良質な水が川に流れ海まで続くのである。

本活動を続けることにより土壌を改良し森を豊かにすることにつながる動植物と人との関係及び川や海に住む生物をも豊かにすることができるのである。

●事業成果

スギやヒノキを伐採することにより下草が生え、土砂崩れが少なくなったことにより流れてくる水がきれいになった。

また、毎年行われている「体験学習」も好評で、少しずつ人から人へ輪が広がりはじめ新しく参加する家族も増えた。今後も継続し輪を広げていく必要を感じた。

●自己評価

本年度の作業は目標達成度90%である。残り10%は梅雨前後に大雨が降り思うように作業が進まなかったことが原因である。また、風・雪で木が倒れないよう、シカによる被害が少なくなるよう、杭やネットで被害を食い止めようとするが資材が足りていない現状がある。

●参加者の声

・毎年楽しみにしています。植樹を通して森林の大切さを実感しています。
・近所の子どもたちを誘って毎回参加しています。子ども達も楽しいようです。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
3ha	213本	7ha	90人	50人	140人
樹種：コナラ、ヤマザクラ、コブシ、ヤマボウシほか					
実施場所：岡山県美作市					



コナラ、ヤマザクラなどを植樹

三宅島復興森林づくり交流事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

主な活動は、平成12年の噴火による影響で木が枯れてしまった雄山中腹での植林活動である。未だ有害ガスによって枯れてしまい手つかずの場所で参加者による植樹を行った。また三宅島の歴史や自然を学ぶ島内散策も実施した。参加者には自然の脅威を実感してもらうことで日常における防災意識の向上に資する活動を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26年)

地元の緑の再生をしてほしいという要望に応え植林活動に参加した。三宅島復興プログラムを通して、地域との交流を深め地域貢献活動を行うことで日本全体のよりよい環境づくりをする一助となった。年3回活動で3000本の植樹をすることができた。

②今年度新たに得られた成果等

年々、若者の関心が高まっており、大学生を対象としたプログラムでは、植林だけでなく教育の場にもなっている。

●自己評価

継続した活動を行ってきているが、島の森林が再生するには、まだまだ時間がかかることを毎回痛感している。今後も継続的な活動を進め、島民との交流を深めながら三宅島の緑の復興に取り組むとともに、森林のよき理解者を市民のなかから育成していくことが課題である。

●参加者の声

・噴火後に再生していく姿(自然)やそこに住む島民の方々のたくましさを感じられて良かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	島内	島外	計
1ha	1350本	31人	105人	136人
樹種：タブノキ				
実施場所：東京都三宅村				



タブノキを植樹

アースデイいのちの森

いのちの森

東京都渋谷区代々木神園町

●事業概要

いのちと生物多様性を尊重する、社会づくり、暮らしづくり、人づくりに貢献する。自然環境との触れ合いと学びを促進し、いのちへの眼差しと自然感性を養う普及啓発活動を。100年後の緑あふれる東京の姿を想像し森づくり推進活動を行う。この実現に向け、下記の取り組みを行った。

①アースデイいのちの森 2016年イベント実施

4月23日(土)、24日(日)野外体験型環境イベントを人工林の実例モデルであり、都市にありながらも生物多様な明治神宮の森で行った。来場者2日間約7万人。

②グリーンコリドープロジェクト

心の啓蒙活動と木を育成し植樹するアクションの両面を行う活動を実施。都市の立地を活かし、環境に興味ない若者や、体力的・時間的に環境実践には難しい青年～高齢者など多層をターゲットに、苗木育成と植樹活動を行った。

●事業成果

①意識が変化した、森を大切にしたい、との感想があった。

②植樹活用する苗を育てる為230人が主体的に持ち帰っている。また、初心者でも参加できる植樹を6/11(土)に実施。どんぐりの芽吹きから植樹の一連作業を体験し、意識が変わった・理解が深まったなどと感想あり。

●自己評価

今後は、この行事を継続する為に、資金、人材、クオリティーの維持と向上を目指し来年の実施が課題。

●参加者の声

・苗木のこれからが楽しみ。(グリーンコリドー参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数			
植付面積	植付本数	県内	県外	アースデイ	計
0.5ha	80本	20人	40人	7万人	7万60人
樹種：シイ・カシ・ナラ					
実施場所：東京都渋谷区(アースデイ)、埼玉県飯能市、日高市					



生物多様性について語りあう

日の出町・大久野森再生事業

(特非) 花咲き村

東京都西多摩郡日の出町

●事業概要

秋川上流に位置する日の出町大久野地区で放棄され荒廃している山林の再生を目的とする。地元や下流域の小・中学生、学童保育の児童たち、メンタルな理由で社会生活に馴染みにくい若者たち、地域の大人たちが力を合わせて森林整備、里山活用に取り組んでいく。これにより、現在の山林再生はもとより、子どもたちの森林への愛着を育み、将来的には新たな林業の担い手になってもらうことをめざす。また、そのための指導員養成を多様な参加形態で実施した。

●事業成果

学校授業などでの事業の持続。

参加者の青少年の活動形態が多様になったこと。

●自己評価

事業が多様であり、個別事業をマネジメントできる人材が不可欠。

●参加者の声

生徒関係事業においては一般的ではあるが、「ためになった」、「楽しかった」という感想が多い。主催者としてはもう少し具体的に書いてもらうよう先生達との打合せがある。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	都内	計
0.3ha	80本	0.4ha	0.2ha	170人	170人
樹種：ホオノキ、タニウツギ					
実施場所：東京都日の出町					



大久野中学林業体験授業

次世代につなぐ里山づくり

(特非) 里豊夢わかさ

福井県三方上中郡若狭町

●事業概要

- ①落葉広葉樹苗木を植栽する第8回ミニ植樹祭を10月18日に実施。
- ②将来を担う子どもたちに自然に親しませ、自然環境問題について考える主催事業として間伐放置材を利用した玉切り・薪づくりなどの体験活動を実施。
また、学童保育や三世代交流会などに出席で自然体験を広げる活動を実施。
- ③過去の植栽地の管理作業（剪定、獣害ネット管理、下刈り、積雪対策など）を通年実施。

●事業成果

昨年、植樹後にネットを取り付け、苗木を獣害からある程度守れたが、積雪時、ネットからはみ出た枝が食べられていた。今回、植栽地でシカが出入りしていたところを中心に金網ネットで囲ったため、現在のところ被害が出ていない。

●自己評価

植樹、植樹木の管理、自然体験活動については、ほぼ目的を達成し、高く評価している。反省点及び課題としては、少子化の影響で参加者が年々減少している点である。

借用している里山の植栽地が少なくなってきており、後1～2回でほぼ完了することとなっているため、その後、植樹活動をどう進めるかが大きな課題である。

●参加者の声

- ・いろいろな体験ができてうれしかった。植えた木が大きくなったのを見に来たい。（6年生男子）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2.0ha	35本	5.4ha	0.3ha	549人	75人	624人
樹種：クスギ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマボウシほか						
実施場所：福井県若狭町						



クスギ、ヤマザクラなどを植樹

森づくりに関しての無関心層を掘り起こしながら市民の手で進める森林整備活動

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市

●事業概要

森林ボランティアの裾野を広げるためには、ごく普通の人たちに森づくりへの関心を持ってもらう必要がある。それを解決するべく行った内容は、次の通りである。

■長野県佐久市(ヒノキの森、コナラの森)

手入れ不足となっている人工林を薪が穫れる広葉樹の森へと再生させる活動。①形質不良木の伐採と地拵え、②植栽、③下刈(これまでの植栽地エリア)

■長野県木島平村(ブナの森)

未利用放牧地を元のブナの森に再生させる活動。①ブナの原生林の林縁部の実生のブナの掘り採りとその移植。

■千葉県山武市(海岸防災林)

①下刈(これまでの植栽エリア)、②枯損木伐採と地拵え。

■森林学習会と成果報告会

●事業成果

- ①折損木・形質不良木を伐採し、コナラの植栽を行ったことで、林内の再生が進んだ(佐久市)。
- ②ヒノキ植栽地の下刈を行ったことで、苗木の保育が進み、将来の建材づくりに貢献した(佐久市)。ほか

●自己評価

山武市の防災林は、順調に苗木も生育していることで、枝が豊かになり、下刈りの際に邪魔になるほどだった。

●参加者の声

- ・人と自然は共生できるようになると思います。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.8ha	6600本	1.2ha	0.8ha	150人	398人	548人
樹種：ブナ・コナラ						
実施場所：長野県佐久市・木島平村、千葉県山武市						



ブナ・コナラなどを植樹

いなべプロジェクト『にぎやか市場』～持続的再生可能な森林資源の活用と地域活性化の仕組みづくり～

山造り研究所

三重県四日市市三滝台

●事業概要

人工林を間伐し、木質資源を無駄なく使う方法を探り、持続的循環の仕組みを地域で、たのしく交流しながら学びつくり出すこと。

●事業成果

間伐により暗かった森が光の差し込む明るい森へと変わった。さらに、地元の山主さんの理解が深まり、山づくり仲間として活動に参加するようになった。また、講習会の実施で他地区にも山づくりグループの仲間が増えた。

●自己評価

山主さんを対象とした山づくり講習会を複数回開催して仲間を増やせた。

計画的な間伐の実施により、山づくりと木づかいの循環利用の仕組みをつくりあげた。

木の駅プロジェクトの本場(愛知県豊田市)視察から地域自立のノウハウを学んだ事が大きな収穫だった。

木質バイオマス利用はオフグリッドでも熱と電気を生み出せる熱電供給方式が有効と分かった。

今後は、間伐など山主さんの安全意識向上と防具着用徹底と小型林業機械の使用技術習得が課題である。

●参加者の声

- ・自分の山林が明るく綺麗になっていく事に喜びを感じ、自分も元気になった。(森林所有者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	間伐木利用	県内	県外	計
1.0ha	30m ³	190人	10人	200人
実施場所：三重県いなべ市				



間伐材の搬出

今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備活動

今治地方水と緑の懇話会

愛媛県今治市玉川町

●事業概要

子どもたちに、森林整備体験をととして森林林業への理解を深めてもらうため、苗木の植栽活動を実施した。

参加者は、今治市立朝倉小学校4年生、地域住民で構成される会員、県、市職員。午前中は、今治市職員により「今治地方の森林づくり」と題して、度重なる水害から上流地域への植林を始めた、市の森づくりの歴史を説明していただいたあと、森林がない状態の山土と森林の土壌で保水力や降雨の影響がどのように違うのか教えていただいた。そのあと、ノコギリやキリを使って、ヒノキの枝からストラップを作る木工体験を行った。

午後からクスギ苗木の植栽、シカの食害防止チューブを設置した。

●事業成果

自然を大切にしていきたいという思いをもつことができた。さらに木工体験や植栽活動をととして、木のよさや森林の大切さを次代につなげることができた。

●自己評価

班で活動することで一連の作業を協力して丁寧にでき、小面積ゆえ活動に一体感があった。

児童と会員が共同で作業できる仕組みづくりが課題。

●参加者の声

・元気に育ってと願いながら作業した。身の回りの植物と水を大切にしたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.03ha	100本	74人	74人
樹種：クスギ			
実施場所：愛媛県今治市			



シカ食害防止チューブの設置

過疎化する佐賀県北部玄界灘に浮かぶ離島の〈産業の創生〉と〈雇用の創出〉を!!

(特非) レインボー七つの島連絡会議

佐賀県唐津市高島

●事業概要

佐賀県北部玄界灘に浮かぶ七つの島は、過疎化に陥っている。耕作放棄地を再生させるために樹木を植栽し、その果実から産業と憩いの場を創生しようとするものである。

●事業成果

耕作放棄地は、該当地に8300㎡の空間にアブラギリ100本植栽し、苗木の成長と共に島民の融和を図り、成長後には成果物を漁船のバイオマス燃料として活用していく予定である。そこに、雇用が生まれ、耕作地には公園化して島民の憩いの場へと変化していく予定である。

●自己評価

着実に苗木が着床し、育った樹木は高さ3mに成長している。一部は、果実もつき量産となれば加工段階に入る。島民の参加による下刈り作業が行われるようになった。

●参加者の声

耕作放棄地の作業に心地よさを体験し、今後を夢に描いて再来島を心待ちにしているようである。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
0.83ha	170本	70本	1.66ha	89人	20人	109人
樹種：アブラギリ						
実施場所：佐賀県唐津市						



アブラギリを植樹

みやぎ山元地区海岸防災林再生活動

(特非) 生命と環境保全

宮城県白石市上久保

●事業概要

目的は、津波被害軽減と農業の再建に不可欠な環境保全機能を発揮する海岸防災林の早期再生である。内容は、①地拵：苗木の根を冠水から守り、かつ、自由に伸びることが出来るように、マウンドと側溝を、機械（委託）と人力（日雇）で造成。②植栽：抵抗性クロマツ、コナラ計1021本を植栽。③巡視：月1回行うことで現況把握に努め、適期適作業に資する。④下刈り：植生の繁茂が例年になく旺盛なので、6月下旬に1回目の刈払を実施した。

●事業成果

「山元町の未来をつくる2016植樹祭」を平成28年4月23日(土)開催。参加者163人。うち、山元町から52人が参加。震災前、植栽地の近傍にお住まいの方から、お手伝いの申し出があった。住民の関心の高まりが強く感じられた。

●自己評価

①植栽は、計画通り完了。4班に分けて指導者を配置し植付方法の指導を行ってから植付に着手。②今後の課題は、指導者の増員と質の向上が求められる。③下刈りは、6月の降雨日が多いせいか植生の繁茂が旺盛なため、部分刈を全刈に変更し6月下旬に実施。8月下旬に、2回刈の実施予定。

●参加者の声

- ・もっと植えたかった。(小学生)
- ・植えた木の様子を見に来たい。(50代男性)
- ・植樹のプロが来て一緒に作業できることは、山元町の住民として、とてもありがたい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.2ha	1021本	0.2ha	100人	63人	163人
樹種：クロマツ、コナラ					
実施場所：宮城県山元町					



クロマツ、コナラなどを植樹

被災した鎮守の森の復旧及び災害防止のための森づくり事業

(特非) 日本樹木育成研究会

宇都宮市小幡

●事業概要

東日本大震災の大津波で被災し、社殿が全壊、社務所が流出するという壊滅的な被害を受けた神社の復興・再建を支援するための作業で、主な内容は次の通りである。

- ①境内地、鎮守の森への植樹活動
- ②急斜面に残る不要木の伐採活動
- ③下刈りや枯損木などの除去作業
- ④参加者への森林環境教育(災害防止のための森づくり)

●事業成果

被災後に造成された土地に、秋と春に苗木を植栽したことから、殺風景な景観が一変し、緑豊かになった。

また、普段、緑と触れ合う機会が少ない参加者はもとより、これまで被災地に足を運んだことがない参加者が、作業前後の現場を見て、災害の恐ろしさや、緑の重要性を再確認することができた。

●自己評価

活動場所(宮城県石巻市)が、当会の本拠地(宇都宮市)から遠方であったため、参加者の移動手段を確保することに苦労した。参加者は、1回目は、十分な周知活動が行えず、参加者が少なかった。また、事前にイメージしていたことと現場ではギャップがあったため、思うように作業が進まなかった。今後は、より情報収集を入念にし、作業段取りや参加者募集においても計画的に行う必要がある。

●参加者の声

- ・今後も、緑を増やすような支援を行いたい。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.9ha	272本	0.5ha	34人	3人	37人
樹種：スギ、サカキ、モミジ、ツツジなど					
実施場所：宮城県石巻市雄勝町					



サカキ、モミジなどを植樹

「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」応援

(特非) 森びとプロジェクト委員会

東京都北区東田端

●事業概要

福島県南相馬市が進めている「津波に強い都市基盤計画」を平成24年から応援してきた。「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭応援隊」を中心に、命を守る森の防潮堤づくり(植樹)と育樹・育苗活動を行ってきた。

●事業成果

平成28年3月27日に第3回「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」が開催され、16種2万本を植樹した。そのうち当委員会から5004本の苗木を提供した。また「市民サポーター養成講座」受講生には、森の防潮堤の役割や植樹をする苗木の種類や植え方を学んでもらい、当日は参加者に自らの言葉で指導できるようになった。特に相馬農業高校農業クラブの皆さんには、第1回目から一緒になって学んでおり、自らが携わった森の防潮堤の生長を見ることができた。

●自己評価

前段準備として「市民サポーター養成講座」を4回開催、当日はその受講生とインストラクターが共に市民サポーターとして植樹指導の役割を担ってくれた。3月23日～26日の準備作業にも多くのボランティアが積極的に参加してくれた。植樹後は「応援隊」を中心に年2回の草刈り、苗床の整備、散水などに取り組み、市民の参加も徐々に増得てきた。特に苗床では、暑さ、寒さを防ぐネットや棚の設置で育苗活動がやりやすくなった。今後も一人でも多くの南相馬市民へ植樹祭および育苗活動参加を呼びかけていきたい。

●参加者の声

- ・今日植えた苗木がしっかり根付くことを願っている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
南相馬市植樹苗木提供	育樹育苗活動	県内	県外	計
5004本	0.2ha	670人	289人	959人
樹種：シラカシ、アカガシ、スダジイ、シロダモ ほか				
実施場所：福島県南相馬市				



シラカシ、シロダモなどを植樹

宮城県名取市「海岸林再生プロジェクト10か年計画」

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

海岸林を農業・産業・生活を守る重要な「インフラ」と考え、約100haの海岸林・内陸防風林等の育苗、植栽、下刈・除伐などの保育を含む再生プロジェクトを、民間活力を導入し、官民の連携・協働をコーディネートして実施する。また、将来にわたって、地域社会によって森林保全活動が持続され、市民に親しまれる海岸林「名取市民の森」となるための基礎づくりや、海岸林が農業や生活を守るインフラであることを、多くの人に理解される啓発活動を行う。

●事業成果

3m高の盛土を上下しながらの作業で転倒する人も出ていたため、必要最低限の階段を設置した。種苗生産に関しては、本助成金の支援で平成28年度播種10万粒に対して十分なコンテナを発注し、生産ピーク6年間に前に十分な体制を整えることができた。

●自己評価

けが人もなく安定的に事業を行えた。今後も、育苗・造林・育林そしてプロジェクト全体の運営を変化に対応しながら実施したい。

●参加者の声

- ・苗木が良くなければ植栽後の生長もよくない。苗高は低いほうが海岸林には良い。(名取市海岸林再生の会メンバー)
- ・リピート率が驚くほど高く、会社に関わる活動でもっとも充実感を得られると社内で評価されています。(支援企業CSR担当)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	育苗本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
10ha	5万本	18万本	26ha	10ha	800人	800人	1600人
樹種：抵抗性クロマツ							
実施場所：宮城県名取市							



植樹地の階段づくり

海岸防災林植樹第2回

いのちの森づくり友の会

神奈川県平塚市上吉沢

●事業概要

掛川市では、「希望の森づくり・潮騒の杜植樹祭事業」が平成27年度からスタートしている。想定される震災による津波被害海岸線は延長10kmに及ぶため、全線で同事業を完了させるには今後20年間程度の期間が必要とされる。同事業の趣旨に賛同し、同様な事業を全国各地で推進するためのモデルとして、本募金事業により苗木等の支援を行う。浜松市遠州灘でも震災による津波被害が予想されるため津波に耐える土壌を形成させる自然の盾防潮森が必要である。

●事業成果

昨年からはまった植樹祭事業により、クロマツのほか自生する土地本来の広葉樹16種を植樹した。また、土壌が砂であるため、植樹基盤づくりとして公共残土のほか、木質チップ・畜産堆肥を加えた。これらの方法が良かったと思われる。浜松の植樹でも14団体が参加し、地域の人達に津波のために自然植生を植樹するという意識が高まってきた。

●自己評価

掛川の植樹は、NPO法人時ノ寿の森クラブが計画から植樹まで一貫して同事業を遂行。行政及び地元造園業者との技術的連携ができていたため、植樹事業に関して工期、品質ともに良好に実施できたと判断する。

浜松の植樹は参加者の協力があり実行できた。

●参加者の声

- ・この植樹作業を通して、命の大切さを次世代に伝えていきたい。(浜松植樹)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.9ha	5040本	1267人	53人	1320人
樹種：クロマツ・広葉樹16種				
実施場所：静岡県浜松市、掛川市				



クロマツや地域に自生する樹木を植樹

十日町市民協働の森づくり 「第5回植樹祭」

十日町市民協働の森づくり実行委員会

新潟県十日町市本町

●事業概要

平成23年の、長野県北部地震で被災した荒廃地の復旧を、十日町市や一般市民及び事業所、市内小学校と協働した植樹・育成活動と、新潟県による治山工事と連携し、豊かな里山の創出と森林環境保全活動の展開と言う理念の実現をめざす。

そのため、平成24年より植樹祭を継続して開催し、森づくり活動を実践しながら、地域を守る防災森林としての機能や、市民の憩いの森としての役割も高めながら森づくりの普及啓発を行うため、平成27年も植樹祭を実施した。

●事業成果

平成24年から平成27年まで5回の植樹祭を開催し、1.98haに、ブナ・コナラなどを植樹した。森づくりへの認識が年々高まっている。

●自己評価

4年が経過し、年々森づくりへの関心が高まっている。その理由は

- ・事業所で年間スケジュールに植樹祭を組み入れている所が出てきている。
 - ・教育委員会が協力的になっている。
- 今後は、育樹への取り組み方を構築していきたい。

●参加者の声

- ・さわやかな空気を吸い、心地よい汗をかいた。(40代男性)
- ・木を植えるのは大変だと思っていたが、割合簡単にできて嬉しかった。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.28ha	1960本	3015人	3015人
樹種：ブナ、コナラなど			
実施場所：新潟県十日町市			



ブナ、コナラなどを植樹

学校・公園のシンボルツリーを守ろう！プロジェクト

(特非) 樹木いきいきプロジェクト

静岡県富士市上横割

●事業概要

本事業は、塩害への対策を行っている。塩害とは、津波により土壤に多量の塩分が蓄積される、植物の生長が阻害されたり、植物が枯死したりすることを意味する。これに対処するため、津波被害地の公園・学校にて、①土壤塩害の実態調査、②塩害対策の実施およびアフターケア、③塩害に対する啓蒙の環境教育活動の活動を行っている。そして、塩害への対処を行った場所に木々を植栽することが当事業の目的である。

主な活動は次の通り、

- ①学校・公園にてシンボルツリー・新規植栽木のアフターケア活動
- ②公園にて事前に塩害対策を施し、安心して植樹できる環境を整える活動
- ③塩害についての環境教育ワークショップを実施する活動

●事業成果

昨年度までは、塩害で弱った木々を塩害対策を行って救う活動を依頼されることが多かったが、現在は、新規植栽を行うにあたり、事前の塩害対策などの環境整備を行うよう依頼されることが多くなった。

●自己評価

当初計画以上に自然環境の再生に貢献できたと考えている。

●参加者の声

・土を調べることは重要なんだと気づきました(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
塩害対策面積	塩害対策	県内	県外	計
0.7ha	25本	114人	30人	144人
実施場所：宮城県石巻市、東松島市、岩沼市、仙台市、静岡県富士市				



塩害対策を行ったサクラ

グリーンベイOSAKA森を育てる活動(海岸防災林の植樹整備)

(特非) グリーンベイ OSAKA

大阪市西区江戸堀

●事業概要

大阪府堺市の産業廃棄物最終処分場であった埋立地に植樹を行った。今年度は、1300㎡に728本(14種)を植樹した。参加者は総勢約120名であった。植樹に当たり、植樹の内容、植樹方式と方法などを解説しつつ、参加者に対して、この場における植樹活動の意味をも説明した。植樹後は、草刈り、施肥、灌水などの維持管理を行った。

●事業成果

植樹地は人口が密集する政令指定都市で、最も海側に位置している。津波発生時は危険区域である。その場に、現在、広い範囲に広葉樹も含めた様々な樹種の植樹を行い、大震災時には海岸防災林として津波の衝撃を半減できる効果が期待できるのではないかと、参加している人々から声が出たこともある。着実に植樹の成果が表れていると言える。

●参加者の声

本会は、作業の前に、軍手、マスク、飲料水(水、茶など)を配布するが、年々、子ども用のものの需要が増えている。大震災時の防災林としての植樹活動の中で、大人の参加者にとっては、植樹現場で自分の子どもたちの成長過程に合わせた教育を行っているという現実に、感謝と同時に活動の意味を深く感じている。

実績報告とりまとめ表

作業内容			参加人数	
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	計
0.13ha	728本	0.13ha	120人	120人
樹種：ヤマザクラほか				
実施場所：大阪府堺市				



ヤマザクラほかを植樹

徳島県那賀町木沢 森林整備事業

(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

那賀川上流域に、平成16年の台風被害を被った地域に、人工林のスギ・ヒノキに替え、保水力に優れているケヤキなどの広葉樹を植林し、自然災害に強い森林を整備する重要性を認識し、数年前より徳島県那賀町(旧木沢村)の地域で植林活動を実施し、平成16年の台風被害からの早期復旧を目指している。

植林地域はシカが多く繁殖して、食害を防止する事が急務で、従来の防除ネットを廃して、苗木に支柱を立てネットで巻く方式に変更した。シカがミツマタを食べない事がわかり、ミツマタを広葉樹の間に植えた。那賀町の「みつまたクラブ」と連携して収穫したミツマタを提供して、地域の過疎対策・経済の発展にも少しだが貢献している。

●事業成果

周辺の地域を見ても今までに植林した成果は明らかで、近い将来に向けて必ず目標は達成できる事を実感している。

●自己評価

森林の活性化の目的は少しずつだが進展している。近い将来に向けて展望も開けてきている。

会員が高齢化しているので、より多くの会員の皆さんに、植林作業に参加していただけるような取り組みをめざしたい。

●参加者の声

・山林が整備されて豊かな自然が回復できる様に微力だが協力していきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	2120本	9人	9人
樹種：ケヤキ、ミツマタ			
実施場所：徳島県那賀町			



ケヤキ、ミツマタを植樹

「地球に緑を 桜島を緑に」 どんぐり照葉樹の森づくり

桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会

鹿児島市下竜尾町

●事業概要

植栽地は桜島の麓で採石場跡地で荒地である。

錦江湾近隣の学校で「緑の少年団」を有する学校(22団体)を実行委員(巡回指導員)が定期的に訪問し、桜島に既存しているどんぐり種を採種し育苗体験活動を体験させ、その苗を桜島に植栽する体験活動で森林の役割と地球温暖化防止及び砂防等に関心・意欲を高めることを目的としている。

主な活動は、次のとおりである。

①下刈り作業、②第15回桜島どんぐりころころ植樹祭、③追肥活動・補植活動

●事業成果

7年前の植栽地は6m程に生長し、結実もあり照葉樹の森になりつつある。現地は、鹿児島市が展望できる公園の下にあり、観光客も大勢訪れる。照葉樹の森は景観にも寄与している。

下刈り活動・追肥活動を計画的に実施することで、参加者「緑の少年団員」は、森林は手入れが不可欠であることを学ぶことができた。

●自己評価

今後は近隣の漁協との連携をはかり、一層の充実した植栽活動を進める必要がある。

●参加者の声

・これまで3年間大事に育ててきたどんぐり苗なので、丁寧に植えました。(団員)
・夏期休業等、責任を持って育苗活動した体験は植物の神秘さを味わい「豊かな心」の育成に効果があった。(教員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.23ha	1008本	3.12ha	673人	8人	681人
樹種：ウバメガシ、アラカシ、マテバシイ					
実施場所：鹿児島市桜島					



ウバメガシ、アラカシなどを植樹

ふるさとの木による ふるさとの森づくり2015

千歳どんぐりを育てる会

北海道千歳市清水町

●事業概要

昔スキー場として切り開いた場所がその後スキー場が廃止になった。全体の10%程の面積に千歳市立真町中学校がミズナラを植樹したが、残り90%は自生した低木がまばらに生えているのみで、放置されていた。これを健全な森に再生することとし、本年はその初年度としてミズナラほかを植樹した。

- ①自生した低木や雑草を取り除き整地したのち植樹
- ②植樹地までの歩道の整備
- ③参加者に対する森林環境教育

●事業成果

荒れたまま放置されていた土地を、将来森林として蘇らせることができる。また、当会の会員、千歳航空少年団、一般公募を含め60人で植樹祭として実施した。樹種を学び、自ら手植えをしたことで、森を育てる大切さを実感できた。また、植樹地が周囲と比較して、管理された土地へと生まれ変わった様子を見て、継続して森づくりに参加したいという動機づけになった。

●自己評価

参加者をもっと増やせるよう今後は一層広報に力をいれたい。また、会員の拡大に努めたい。

●参加者の声

参加者からは、貴重な体験をしたとか、早く大きくなってほしい、また参加したいといった声が多く聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え・整地	道内	計
0.05ha	1200本	0.05ha	0.05ha	60人	60人
樹種：ミズナラほか15種					
実施場所：北海道千歳市					



植樹祭

森と緑と湖のマチ、 そらの森づくり植樹祭

釧路湿原・阿寒・摩周

シーニックバイウェイ運営代表者会議

北海道釧路市新川町

●事業概要

遊休地となっている弟子屈飛行場跡地に植樹を行い、地域住民・観光客が楽しめる森に戻すためであり、目的は下記の通りである。

1. 人にも自然にも優しい地域づくり。
2. 木育による環境問題に対する意識向上と障がいのある人たちと一緒に暮らす共生社会の実現。
3. 地域の自然を活かした「人にも自然にも優しい町づくり」の象徴として、観光資源の充実をはかる。

●事業成果

そらの森プロジェクトは開始して4年になり、開始当初にどんぐりから育てた苗木も大きくなり、景観に合わせて移植を行った。新しく購入した苗木(地域で種子から育成したもの)も植樹を行ったが「森」と呼ぶにはまだまだ遠いが、地域にも我々の活動が浸透しているといえる。

●自己評価

植樹面積は年々拡大しているが、年1回の活動であるため時間がかかるのとメンテナンス不足が指摘されている。昨年大雪の影響で植樹場所の一部が臨時の雪捨て場にされ、以前に植樹を行った樹木の多くが折損してしまった。同様の事案が発生しないよう気をつけたい。

●参加者の声

・道路沿いの場所でも何もない荒地が早く木々の生い茂る森になってほしい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
1.5ha	300本	2.0ha	89人	89人
樹種：クルミ、カラマツほか				
実施場所：北海道弟子屈町(弟子屈飛行場跡地)				



クルミ、カラマツなどを植樹

「鎮守の森」創生事業

加茂神社森林を育む会

青森市浪岡

●事業概要

目的は青森市五本松加茂神社の鎮守の森を健全な森に再生させ地域住民のシンボルにするものであり、主な内容は次のとおりである。

- ①スギ造林木の生長を阻害している雑木の伐採
- ②形質不良木の伐採、過密箇所における間伐や枝打ち
- ③疎林化した箇所への小学生によるヒバ、ケヤキの記念植栽

●事業成果

風雪害による折損木、形質不良木の伐採や造林木に巻き付いた蔓を切ったことから林内の見通しが良くなり、造林木に光が当たるようになった。

また、普段、森林と触れ合う機会が少ない参加者が作業前後の森を見て、手入れ不足の影響や森林整備の大切さを学ぶことができた。

●自己評価

小学生と保護者が一緒に植えた木に、名前と将来の夢などのメッセージを書いた木製の名札をくりつけ、木の成長を願ったことは森に親しみを持ってくれた。

長年の手入れ不足による倒木、折損木などが予想以上に多く、処理作業に手間取った。

今後は、子ども達が安全に遊べる森を創るための管理について検討する必要がある。

●参加者の声

- ・「マラソン記録会で10位に入る」と木札に書いた。1年後にまた見に来たい。(小学6年男子)
- ・「たんげでっけぐなれ!!津軽で生まれたから津軽弁で書いた。木と一緒に大きくなっていきたい。(小学6年男子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.04ha	17本	0.6ha	76人	76人
樹種：ヒバ、ケヤキ				
実施場所：青森市（加茂神社境内）				



ヒバ、ケヤキを植樹

長者山 新羅神社の「桜の馬場」再生事業

南部打毬を支援する会

青森県八戸市大字糠塚

●事業概要

青森県無形文化財の八戸騎馬打毬は年に一度奉納試合として桜の馬場で開催される。しかし資金不足により樹木の管理が適切に行われない状態にあり、景観を損ねるだけでなく、枯損木などが観覧者に当たるなどの安全性に問題があった。そのため以下の作業を行った。

- ①高所作業車による剪定、②枯損木の伐採。

●事業成果

ソメイヨシノの多くはテングス病に罹り、またアカマツなどは日当たり不足から枯損枝が見られた。その為この事業により、ソメイヨシノほか木の剪定を32本、アカマツほか高さ約20mの枯損木を4本伐採した。

●自己評価

かなりひどい状態であった為に、予定以上の木の剪定・伐採をする事になった。作業を行った事により、ソメイヨシノは綺麗に咲く事と思われる。また、枯損枝と枯損木を処分したおかげで、祭事を行う際にも安全に行うことができるようになった。今後の課題として、ソメイヨシノはテングス病になりやすい木であるので、数年に一度は剪定の管理をしなくてはならず、その予算の手当てを検討する必要がある。

●参加者の声

宮司からは、「見違えるようになった」と感謝された。騎馬打毬関係者からは、観覧者が落枝で怪我をする事を恐れていたため、「安全に神事を執り行う事ができる」と喜ばれた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
剪定	伐採	県内	計
32本	4本	20人	20人
実施場所：青森県八戸市（新羅神社 桜の馬場内）			



高所作業車での剪定

上坊牧野の一本桜樹勢回復事業

(農組) 田頭北部牧野組合

岩手県八幡平市田頭

●事業概要

原生種のカスミザクラで、本県では他に類を見ないカスミザクラの巨木である。また、山岳専門誌「山と渓谷」の表紙を飾るなど、全国的に知られ、開花の頃には多くの写真家や愛好家らで賑わう。さらに、家畜放牧での庇陰効果をもたらす。このように植物学及び観光・産業面からも貴重なサクラである。また、農作業の暦（指標）とされるなど、地域のシンボルとして位置付けられている。

しかし、近年、樹勢に衰退傾向が現れ開花量も減少し、憂慮される事態となっていた。ここに樹勢回復の治療を行い、往時のサクラの状態に戻すため、樹勢回復工事を実施した。

●事業成果

樹勢回復工事を実施したことにより、往事のサクラの状態に戻すことが見込める。また、桜管理講習会を実施したことにより、地域のシンボルであることを再認識し、サクラを保護管理していくことへの意識が高まった。

●自己評価

予定した工事及び桜管理講習会を無事に実施することができた。今後は、経過の観察と管理を継続して実施することとする。

●参加者の声

- ・樹勢回復事業を実施したことにより、今後も花を咲かし続け、たくさんの人を魅了してもらいたい。(組合員)
- ・管理講習会は、貴重な話を聞くことができ、改めてこのサクラを守っていきたいと思った。(組合員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
樹勢回復	管理講習会	県内	計
1本	1回	17人	17人
実施場所：岩手県八幡平市松尾寄木			



カスミザクラ

湯ノ花地区景観保全事業

南会津町緑化推進委員会

福島県南会津郡南会津町

●事業概要

福島県南会津町に所在する湯ノ花温泉の景観のシンボルとなっている「オオモミジ」が年々衰退しているため、保存のための処置治療作業であり、主な内容は、次の通りである。

- ①オオモミジの生育を阻害しているスギ2本を伐採除去。
- ②倒木防止のため設置しているワイヤーロープの位置の移設。
- ③カミキリ虫類の処置のため殺虫剤を散布
- ④樹幹の枯れ枝を切除し、傷口に殺菌・防水剤の塗布

●事業成果

樹木医の調査診断の結果、オオモミジの生育を阻害するスギ2本の除去と、枝枯れ防止のため殺虫剤散布、防腐剤等の塗布作業など応急処置を実施したため、オオモミジの生育環境が改善された。

●自己評価

樹木医の指導により、処置治療したため今年のオオモミジの生育を見守りたい。また、今後、地元湯ノ花地区に保全管理をお願いする。

●参加者の声

地元湯ノ花区からは処理治療を実施していただいたことで、春の新緑と秋の紅葉を楽しみに管理をしていくと言われた。

実績とりまとめ表

作業内容			
スギ伐採	伐採木運搬	ワイヤー移設	事業標柱設置
2本	2本	1本	1本
実施場所：福島県南会津町			



オオモミジの生育環境を整備

宇都宮市陽光地区青少年育成会 植林事業

宇都宮市陽光地区青少年育成会

宇都宮市緑

●事業概要

本活動は、足尾銅山の煙害で荒廃した足尾の山の緑化植林活動を通じて、緑と水循環を中心とした環境問題に取り組み、足尾銅山と渡瀬川源流地域の歴史と環境を通して、自然環境保全の重要性を学び、植林を通して緑の大切さと環境教育を醸成することを目的とする。

●事業成果

小学生とその保護者や地域住民が多数参加したことで、足尾銅山の歴史や煙害や伐採による荒れた山の状況を学び、荒廃した山の斜面に植林できたことは、環境学習の実践教育の場として実績を残したことができた。地元小学校の校長が参加したことにより、今後の小学校の自然環境教育にも大いに役立ち波及効果ができた。

●自己評価

計画して場所に予定通り100本を植えることができた。反省点としては、今回は子どもの参加が少なく、今後、地元小学校への事前の周知方法や行事の案内パンフレットを早めに配布する必要がある。

●参加者の声

- ・みんなで木を植えることができて楽しかった。(小学4年女子)
- ・足尾鉦山の歴史や荒廃した山々を観察し、植林できてよい体験になった。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
2.0ha	100本	1.0ha	34人	34人
樹種：コナラ、ヤマボウシ、ヤマザクラ、イロハモミジ				
実施場所：栃木県日光市				



コナラ、ヤマボウシなどを植樹

ふるさとのツツジ並木救助活動

群馬県樹木診断協会

前橋市苗ヶ島町

●事業概要

「三夜沢の赤城神社」の参道松並木の下木であるヤマツツジが衰弱し花着きが悪くなったため、害虫防除を行って樹勢回復を図り、春の行楽の人気スポットとしてのにぎわいを取り戻すことを目的とする。害虫の繁殖・食害時期に合わせて、7月と9月に薬剤散布を行った。事前にツル切り・下刈りを一般参加者を含めたボランティア作業を実施し、スムーズに実行できた。

●事業成果

今春の花着きは今までになく良好で、多くの観光客が訪れ、手入れの成果があったと地元関係者に喜ばれた。数年間は繰り返し防除作業を行うことが重要なため今年度も実施したもので、来春の花着きが良くなることが期待される。

●自己評価

- ①計画どおり実行した。造園業界の協力も得て煤得た結果、昨年度の2倍を超える区域を実行できた。
- ②反省点：できるだけ広い範囲に散布できるよう努めたが、実績は延長約300mで、総延長3kmに対する比率は低率にとどまった。
- ③今後の課題：ツツジの花の着き方は、気象条件や病虫害の影響のみならず、隔年着花の性質など複雑な要因が考えられるため、薬剤散布の効果がどこまで確認できるかは定かでないという見解が主流であるが、今回の実行結果を見て対応を検討したい。今後も地元関係者と協力し合って施工方法も工夫しながら実施していきたい。

●参加者の声

- ・今後もっと広い範囲に実行してほしい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
ツル切り、下刈	薬剤散布	県内	計
0.9ha	0.9ha	68人	68人
実施場所：前橋市柏倉町（赤城神社参道）			



下刈作業

六国見山森林公園の里山再生プロジェクト

北鎌倉湧水ネットワーク

神奈川県鎌倉市高野

●事業概要

目的は里山「六国見山森林公園」を、人と自然が共生できる明るい里山として再生し、次の世代に継承するための作業。主な作業は次の通りである。①アズマネザサ、アケビなどの下刈り、②形状不良のスギ、ヒノキなど中心とした間伐、③保水力の維持と景観向上を目的とした広葉樹の苗木の植樹、④間伐材の利用、⑤活動の理解を深めるための写真展の開催など。

●事業成果

①地域住民、団塊ジュニア、大学生など若い世代が参加してくれるようになった。②公園内が明るくなり、幼稚園が遠足の場所に利用、女性一人でも安全に散策できるようになった。③景観の向上により、鎌倉市外からの観光客が増加した。④山野草が続々復活し生物多様性が実現しつつある。⑤間伐材の有効活用に向け、一歩踏み出すことができた。⑥他団体との協働作業が実現した。

●自己評価

今後は間伐材のさらなる有効活用を図ることと地域住民の参加数を増やす必要がある

●参加者の声

- ・公園が明るくなり、安心して散策できるようになった。(60代女性)
- ・間伐材を有効利用した森から海までを良くする取り組みに感動した。(20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.01ha	26本	1.5ha	0.1ha	353人	22人	375人
樹種：ヤマツツジ、モミジ、エゴノキ						
実施場所：神奈川県鎌倉市						



幼稚園が遠足に利用

高麗山公園、桜を中心とした森林再生活動

湘南の森

神奈川県平塚市代官町

●事業概要

森林公園の保全活動の一環として、昨年に引き続き枯死あるいはテング巣病に罹病したソメイヨシノ種のサクラの成木を伐採し、その跡地に病気に強い野生種であるヤマザクラを補植し、サクラの健全な世代交代をめざす。

さらに長年継続実施している下刈りの効率化と適正化を図るため、専門家による植生調査を継続実施し、その結果を今後の活動指針として反映させ実施する。

●事業成果

罹病したサクラ13本を伐採し、その跡地にヤマザクラなどの苗木30本補植した。数年後に苗木が成長し開花を迎えるとき、野生のサクラを中心とした花を楽しむ森林公園の復活が期待される。後者の目的に関しては、専門家による1年間に及ぶ定点観測を行った結果、下刈りの有効な指針が得られた。今後の作業の効率化と公園の美化に大いに役立つものと評価される。

●自己評価

伐木数が13本と予定より2本減じたのは、協働作業である平塚市との分担変更によるもので、計画は目標通り達成された。反省点は作業の登山者への説明が個々となり時間が取られた。掲示板などで事前に周知するの必要を感じた。

●参加者の声

作業内容や目的を事前に説明し周知していたため、テングス病の枝葉を細かく裁断し搬出する手間を要し、また重労働の作業も快く引き受けてもらった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	30本	8.1ha	245人	33人	278人
樹種：ヤマザクラ、オオシマザクラ					
実施場所：神奈川県平塚市					



ヤマザクラなどを植樹

阿賀町中ノ沢地区 天然スギ巨木の森整備事業

(特非) お山の森の木の学校

新潟県東蒲原郡阿賀町

●事業概要

目的は、阿賀町中ノ沢渓谷森林公園「天然スギ巨木の森」の整備・活用を通しての森林公園及び山村中ノ沢の活性化であり、主な活動は、①事業イベントを通しての「天然スギ巨木の森」のPR、②既存遊歩道の再整備、③「天然スギ巨木の森」までの新たな作業道整備、④森林公園内の植生調査である。

●事業成果

「天然スギ巨木の森」を軸にしたふるさとの森林再整備事業により、国・県・町・地元集落・大学・地元メディアに対し、その活動主旨・目的・内容を認知してもらうことができた。そして、ボランティア及び地元大学生の協力により、森の整備が大きく進んだ。

●自己評価

- ・キックオフイベントで、多くの関係者から参加を頂き、「天然スギ巨木の森」の存在と価値を発信できた事は一番の収穫であった。
- ・既存遊歩道整備では地元生産森林組合員による安全指導、新規作業道ルート調査では、新潟大学農学部学生と協働実施など、当初の予想を超える多くの支持・協力をいただけた。
- ・今後はボランティアによる協力体制をさらに強化し、計画的に楽しくに整備を進めていきたい。

●参加者の声

- ・目的を持った森林整備作業に参加できて、達成感を持つことができた。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
草刈り	道づくり	イベント数	計
500m	300m	3回	184人
実施場所：新潟県阿賀町			



森林整備

「ふるさと絆の森」再生事業

石川フォレストサポーター会

金沢市古府町

●事業概要

目的は、輪島市門前町道下の運動公園の一角及び隣接する法面で、高齢化から手入れ不足となっている人工林を健全な森林に再生するための作業であり、主な内容は次の通りである。

- 1) 人工植栽された柏及びクロマツの幼齢林の下刈り
- 2) 枯損木の除去
- 3) カシワ及び抵抗性クロマツ苗の補植
- 4) その他支柱や木道の修理保全など

●事業成果

- 1) 植栽林が成長するにつれて、能登半島地震のメモリアルパークとして地元住民の憩いの場となりつつある。
- 2) 当地区に適した樹木としてカシワを植樹することにより、将来広場の利用者に木陰を提供できるようになった。

●自己評価

- 1) 当地区は海も近いので塩害もみられ、引き続き下刈り補植などが必要。
- 2) 適時に下刈りなどを実施することにより、景観上だけでなく、樹木の成長とともに祭など運動公園で催される地元のイベントに潤いを与えられるものと思われる。

●参加者の声

- ・NHK「まれ」の撮影地に近い現地を綺麗にできて、能登観光にも貢献できた。(60代男性)
- ・公園で行われる能登の火祭に合わせた下刈りなどは地域の方に高く評価されたのでやり甲斐があった。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	下刈面積	県内	計
0.1ha	0.54ha	76人	76人
樹種：カシワ、クロマツ			
実施場所：石川県輪島市			



法面の刈払作業

越前和紙の里の景観整備事業

五箇地区まちづくり協議会

福井県越前市大滝町

●事業概要

越前市東部の五箇地区は約1500年前から越前和紙の紙漉が行われている和紙の匠の里である。そこで、和紙の里らしい景観作りの一環として、シンボルとなる和紙の原料のミツマタ・ガンピを植樹し育成することにより、伝統文化の継承と地域の活性化を図る。

●事業成果

越前市東部の五箇地区内にある空き地に所有者の許可を得て、和紙の原料であるミツマタ、ガンピを、地区内の住民の方々といっしょに植樹した。また、参加者の方に依頼し、その後の草刈りなど育成に努めた。結果、和紙の里にふさわしいシンボルロードの整備が少しずつではあるが広がり、地元産業である越前和紙を誇りに思うことにつながったと考える。

●自己評価

今回の整備予定地は、ほぼ全域で植樹することができた。しかしながら、地区内にはまだまだ、道路に面した空き地が点在しているため、今後も機会を見つけて、和紙の原料である植樹作業を実施していきたい。また、本年3月には、以前にミツマタを植樹した場所が、和紙の里の景色として報道されたこともあったので、今後も、この事業を推進していきたい。

●参加者の声

花が咲く3月が楽しみであるし、その時は、地区内を散策したいといった声や和紙の里にふさわしい景色を作ることによって携われてよかった、などの意見があった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
40ha	250本	40ha	32人	2人	34人
樹種：ミツマタ、ガンピ					
実施場所：福井県越前市					



ミツマタ、ガンピを植樹

信州・志賀高原から始まる森林再生事業～市川海老蔵「いのちを守る森」づくり＝A B M O R I～

信州・志賀高原から始まる市川海老蔵「いのちを守る森」づくり＝A B M O R I 実行委員会

長野県下高井郡山ノ内町

●事業概要

目的は、信州・志賀高原にて閉鎖されたスキー場における森林再生を行うことである。

主な活動は、①市川海老蔵氏の協力のもと、植樹イベント「A B M O R I」の開催、②次世代を担う児童による育苗活動を通じての環境学習プログラムの実践である。

育苗活動では、1・2年生による「どんぐりからの苗づくり」、3・4年生による「志賀高原山内での苗の採取」を行い、5・6年生が「A B M O R Iでの植樹活動」を実施した。

●事業成果

第2回目のイベント以降、単なる植樹イベントだけでなく、育苗活動を通して地域の子どもの環境学習プログラムを構築することで、事業の拡充を図ることができたことに加え、第3回植樹イベントにおいて、3000㎡の森林再生のための植樹を行うことができた。

●自己評価

- ・植樹イベントは、当初の目的を達成することができた。
- ・育苗活動に関しては、発芽率が低かった。
- ・今後の課題としては、環境学習プログラムの拡充を図り植樹経費の縮減に努めることが必要である。

●参加者の声

- ・苗が大きくなるのが楽しみです。(小学3年生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.3ha	1万本	750人	350人	1100人
樹種：ミズナラほか				
実施場所：長野県山ノ内町				



ミズナラほかを植樹

いなべ松茸山再生実験モデル化プロジェクト事業

山造り研究所

三重県四日市市三滝台

●事業概要

本事業は、かつては当地の里山の至る所にあったマツタケ山を地元市民と共に復活・再生を実験的に行う取り組みである。放置された里山を地元の山主さんや森林ボランティアが手入れを行い再生環境を整えた。

●事業成果

再生化実験の候補地選択に難航したが、森林所有者の協力を得て適地を見つけることができた。長野県伊那市にある再生先進地へ研修視察を行い技術研修と交流を図った。

再生地の整備は、地元山主さんたちの協力もあり、林内除伐整備とシロカキなど再生に必要な環境づくりができた。また、マツタケにとどまらず、多様なキノコの出る山へと転換するように山を守るきっかけづくりができた。当地で間伐した木を使って看板を製作し設置した。

●自己評価

山主さんを巻き込んだ講習会や視察研修を行えたことは、今後の活動に大きな力となった。再生には多くの時間が必要であり、今後は、地経過観察や里山手入れを続けていくための仕掛けづくりが課題である。

●参加者の声

・夢のある取り組みで今後も活動していきたい。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
視察研修会	講習会	県内	県外	計
1回	2回	50人	5人	55人
実施場所：三重県いなべ市				



森林整備

小面積皆伐による里山再生モデル事業

四日市自然保護推進委員会

三重県四日市市沖の島町

●事業概要

放置され荒廃したふるさとの里山林を小面積ずつ皆伐し、ナラ枯れを防止するとともに、萌芽更新と実生によって若返らせ、多様性に富んだ林を再生する。また、活動を通して里山の有効活用を図り、市民による持続的な維持管理ができるモデルを作る。

●事業成果

事業は開始から4年が過ぎて、皆伐後の遷移が目に見えるようになり、活動が理解されやすくなってきた。萌芽更新と実生による再生は、ほぼ順調に進んでいる。また、昨年初めて復活が確認できたササユリも、さらに多くの株が確認できた。枝葉を現地でチップ化できるようになり、有効活用も進んだ。

●自己評価

協働連携している方々の協力もあり、事業はほぼ予定通り実施できた。今後は伐採と跡地管理の両方が必要になってくる。さらに多くの市民に参加してもらうため、新しい試みを加えていきたい。大規模なソーラー発電による里山の減少や放置によるナラ枯れの進行によって、里山のおかれた環境はますます厳しくなっている。若い人や子どもの参加者を増やしたいと思っている。

●参加者の声

・里山の保全に人が関わることの大切さがよくわかった。(50代女性)

・明るい森が自然にはできないことがわかった。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈面積	県内	計
20本	0.35ha	409人	409人
樹種：コナラ			
実施場所：三重県四日市市 南部丘陵公園南ゾーン他			



自走式チップ車を使って枝葉をチップ化

地黄湿地再生事業

能勢みどりすとクラブ

大阪府豊能郡能勢町

●事業概要

貴重な湧水湿原である「地黄湿地」の陸地化の防止と再生に向け、地元・行政・ボランティア・学識経験者からなる「地黄湿地再生保全検討会議」を設置し、その提言に基づき、湿地周辺の森林を含む湿地の再生作業を開始した。

湿地に隣接した森林区域の疎開と湿地内に侵入した灌木の伐採・掘り取りやすスキなどの刈り払いと除根、さらに湿地内に発生した流路の埋め戻しと地下水位の上昇に伴い、円滑な作業の確保、及び作業の安全性確保の観点から木栈道を設置した。

●事業成果

陸地化しつつあった湿地全体に小さな水溜りも散見されるようになってきた。

サギソウの生育域も拡大し、個体数も増加している。湿地と森林の境界域でもササユリ、ツツナミソウ、オトギリソウ、ノギランなどが確認できるようになっている。

●自己評価

様々な団体、個人の協力を得て、湿地は着実に再生されてきている。中でも湿地内及びその周辺の水分環境と日照条件の改善は著しく、ボランティアの継続した管理作業の積み重ねにより、さらなる改善が期待できる。

今後、土嚢積み工法でのシルト質の循環を意図した継続作業が必要となる。

●参加者の声

観察会ではモリアオガエルの卵塊やトキソウの生育区域の拡大と個体数の増加などの確かな観察に基づく低径草本類の着実な再生への評価の声が大きかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	府内	府外	計
0.3ha	0.2ha	69人	12人	81人

実施場所：大阪府能勢町



木道を設置

矢田山頂上展望台の眺望・景観を回復し荒廃した里山林を再生する(2)

(特非) 森づくり奈良クラブ

奈良市高畑町

●事業概要

市街地から手頃に利用できるハイキング道として多くの方に親しまれている矢田丘陵の頂上からの眺望・景観を改善するため、緑の募金の助成を受け奈良県の許可のもと、「伐木と環境整備」を行った。

作業には他の森林ボランティア団体、環境保護団体、ハイキング道を愛好するハイカーの皆さん、マウンテンバイク愛好団体の皆さんなどに参加していただいた。

●事業成果

毎月第2土曜日の定例活動を中心に活動し、樹齢30～40年の人工林を中心に除伐して頂上展望台から西側の生駒山その下に広がる市街地が眺望できるようになった。

また周辺の雑木、タケなどを整備して頂上展望台周辺の景観よくすることができた。この活動を通じて多くの方々と環境改善活動で楽しい汗を流す事ができた。

●自己評価

当初予想していた以上の成果を上げることができた。果たして何本の樹木を伐採すれば、眺望がよくなるのか不安もあったが予想を超えて眺望が改善された。今後の課題として、良くなった眺望・環境をこれからも維持していくには、保全のための見守り活動が必要と考える。

●参加者の声

ハイカーの間では、この矢田丘陵は標高は低いが変化に富んだコースとして好評だそうで、参加した皆さんは自分たちの手で環境が良くなったことに感激していた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐本数	竹林整備	県内	県外	計
0.7ha	41本	0.4ha	193人	45人	238人

実施場所：奈良県大和郡山市



人工林の整備

ふるさとの森林再生事業

よこおみち森もりの会

神戸市須磨区竜が台

●事業概要

須磨ニュータウンの周辺に残された森・緑地を整備し、人と自然が共存できる癒しの森づくりを行っている。

①草で覆われていた法面を整備し、一面に兵庫の県花野路菊を育成。②雑木林・タケヤブを整備し、自然に接する場を提供。また植樹しツツジの森づくりを行っている。③タケの雑木林などへの拡大を抑制。④老木化したクヌギを伐採し、地元自治会と協働してシイタケの栽培。⑤竹林内で地元子ども達への竹細工教室の実施。⑥地元中学生の受け入など。

●事業成果

野路菊の栽培地は、こうべ花の名所に選定され、満開時には多くの人を訪れる。整備が進んだ雑木林や竹林には、日常的に森林浴や景観を求めて散策に来る人が増えている。苗づくりから始めて植樹したツツジなどが花を付けた。地元の各グループにシイタケ狩りを実施し、自然の恵みを体感してもらっている。

●自己評価

当初の計画はほぼ達成することができたが、野路菊の栽培に手間取ったり、イベントの準備などに時間がかかり、雑木林やタケヤブの整備などにかかる時間に制約を受けた。

●参加者の声

- ・この活動を通して自然のことを考え、ボランティアで活動をする方々のことを知った。自然のことにもっと関心を持ちたい。(中学生)
- ・その後何度も植樹木の生長を見に来ている。(植樹参加者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植栽本数	計
189本	1052人
樹種：ツツジ・モミジ、マユミ、ニシキギなど	
実施場所：神戸市須磨区	



雑木林に拡大したタケの伐採

益田市の原点“心のふるさと・里山の景観の金谷集落”を守る植栽とサクラの治療

美都町金谷自治会

島根県益田市美都町

●事業概要

- ・イロハモミジの広葉樹を植栽することにより、市道から見て城山桜の景観を壊さないようにする。
- ・27年前に植栽した集落の市道沿線や城山桜のサクラも弱り、サクラの再生と見物に来ていただく方々に未永く楽しんでもらえるよう、テングス病の治療を行う。

●事業成果

- ・この事業をスタートするに当たり、自治会長名で参加を呼び掛けた。幸い未経験ではあるが多くの人が集まった。城山桜を中心に春はサクラ、秋はモミジ、周辺の混交林との良い景観とお客様に発信する目玉ができた。
- ・テングス病の治療で枝がすっきりした。

●自己評価

- ・治療後のサクラを見て、本当に良いことをしたと皆んな満足感を味わえた。
- ・皆さんの都合がつけばもう2日位治療したかった。

●参加者の声

- ・市道沿線のサクラが咲いた景観を早く見たい。イロハモミジは紅葉するまでに10年位かかるであろうが、紅葉一色に染まった景観が待ち遠しい。(女性)
- ・サクラの治療をボランティアで、こんなに本格的にされた所は見たことがない。(女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.3ha	30本	39人	39人
樹種：イロハモミジ			
実施場所：島根県益田市			



下刈作業

西村大師堂しだれ桜樹勢回復事業

中津巨樹名木保存会

愛媛県上浮穴郡久万高原町

●事業概要

西村大師堂のしだれ桜(エドヒガンザクラ)は、推定樹齢230年、昭和57年度に久万高原町の天然記念物に指定されている。樹勢がやや衰えたことから、平成9年から地元有志により保存活動が行われてきたが、平成17年に「中津巨樹名木保存会」が発足され、毎年枯れ枝の除去や周辺の草刈、施肥を行ってきた。しかしここ数年、特に枝の枯死や花付きの減少が見られるため、本事業により根周りの保全や枝の保護、また土壌改良を実施した。

●事業成果

本事業の実施により、サクラの樹勢が回復傾向にあり、葉の付きや枝の伸びが見られる。また景観にも配慮した木柵の設置により根周りの保護ができるようになった。

●自己評価

事業の目的は達成された。しかし、完全な樹勢回復には数年を要し、常に樹木医などと相談しながら適時適切な保全作業が必要である。

地域のシンボルであるサクラの保全活動に地域が一体となって取り組んでいきたい。なお、事業の状況が久万高原町広報に掲載されている。

●参加者の声

- ・毎年4月の「中津さくらまつり」には、町内外から多くの方が訪れている。これからも地域みんなの協力によりこのサクラの保護に努めていきたい。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容
樹勢回復
1本
実施場所：愛媛県久万高原町



サクラの樹勢回復

国 際 協 力

日本ーラオス友好の森展示林造成事業

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

このプロジェクトは、ラオス国と締結したMOUに基づき、地元樹種による展示林を造成してかつての自然林を復元するとともに、共同で植樹祭を行い植林を通じた国際交流と森林保全の普及啓発を行うこと、及び植栽が行われた若い森林を対象に間伐し、その展示林を造成して熱帯地域での森林管理手法を検証することを目的としている。

●事業成果

11種類の郷土樹種を20本ずつモザイク状に群状植樹して展示林の造成を行った。植樹祭は7月6日に行い、在住者を含めて日本から20人が参加、ラオス側からは150人が参加して、共同で1000本の植樹を行うとともに、中高校生を対象に森林講座を行うなど交流を深めた。1月の間伐は、間伐の意義、選木の方法、伐木技術などについての討議と現地での実技講習会を行った。

●自己評価

第2期計画の2年目になるが、年度計画どおり植樹及び間伐を実施することができた。特に間伐については、ラオスでは初めての試みであり、ラオス大学林学部の学生を受け入れ、その実習も兼ねて実施した。今後、大学と共同で間伐の効果を検証していくことにしているが、熱帯地域の森林管理の参考データとなることが期待されている。

●参加者の声

植樹祭では「地元の住民や子どもたちに森林保全の大切さを教えるいい機会になった」という声が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	地拵面積	下刈面積	日本	ラオス	計
2.5ha	2777本	2.5ha	20.0ha	102人	928人	1030人
樹種：クシリア、トンキンチク、シタンほか						
実施場所：ラオス・ビエンチャン県バンビエン						



間伐実習

カラコルム・ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動

(特非) ヒマラヤン・グリーン・クラブ

大津市北大路

●事業概要

目的は、住民の緑化意識を高め主体的緑化活動に繋げることであり、主な活動は、①緑化推進の担い手としてスカルド市内高等教育校にグリーンクラブの結成を進め、講演、校内植樹、森林事務所直轄地で各校学生参加の植樹祭と生育調査、②僻村では灌漑設備と苗木を支援し、植樹、挿し木育苗、灌漑、食害防止などは自主管理を指導する。

●事業成果

①僻村では植林の習慣がなかった。毎年植林ボランティアを募集して継続してきた結果、灌漑水の確保と家畜の食害防止柵の支援により乾燥寒冷地でも生育した。森林事務所直轄地で平成20年から継続している学生植林は当初は水不足で枯れたが、井戸揚水2基等灌漑設備支援と専門職員の管理により成果が出て、学生グリーンクラブの環境教育の場となる。

②今年度、グリーンクラブは10校に増え、校内植樹など活発、春の植樹祭に学生85人参加、野外実習は昨夏と今年5月に本会の植林地調査へと進展した。僻村では10年以上の成木は地下水も吸い取って樹林を形成している。

●自己評価

多くの参加者の努力で、厳しい環境下でも緑は少しずつ増えて来た。現地の人に継続してほしい。

●参加者の声

・自生するイバラで柵を補修し植林地を守っている村民に出会うと嬉しくなる。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	パキスタン	計
0.73ha	2250本	8人	200人	208人
樹種：ポプラ、ニセアカシア、スナナツメ、マツ、コニファー、アンズほか				
実施場所：パキスタン・スカルド市内と周辺とブラルド川流域など9カ所				



ポプラ、アンズほかを植樹

長江上流域植林協力事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

長江上流域の環境緑化のために重慶市が取り組んでいる「緑化長江・重慶行動計画」に参画し植林活動と作業道の整備を行った。植林地は、プロジェクト対象地域の中でも緊急性が高い地域である。植林と、植林活動を円滑に進めるために作業道を整備した。

●事業成果

日本からの植林ボランティア、植林協力企業の現地従業員、中国大学生と地域住民が協同で植林活動を行うことで、環境意識を高める機会となっている。重慶市江津区農業総合開発弁公室が、植林後も一貫して管理を行っているため、苗木の生育状況も良好である。

●自己評価

着実に事業を進めることができている。今後も、引き続き継続した活動を実施することで、環境緑化を推進するとともに日中の市民一人ひとりの環境意識の向上にもつながっていききたい。また、参加者を多く集めることで、植林活動を通じた日中双方の交流が盛んになるように取り組んでいきたい。

●参加者の声

- ・地元の人との協働は良い。中国の人も一生懸命に作業していた。
- ・非常に得難い経験を積めた。高層ビルを背景にしながらの植林は印象的だった。(日本・ボランティア)
- ・日本から江津に来ての植林活動に感動した。植林の魅力も知った。(中国・日本語学科の大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
5ha	5000本	26人	135人	161人
樹種：ユーカリ、サクラなど				
実施場所：中国・重慶市江津区				



ユーカリ、サクラなどを植樹

地球温暖化防止と 日中友好の森づくり事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

植林地の内モンゴル自治区エジンホロ旗小ホロ地区は、阿鎮より30km、新街より8km離れ、幹線道路に面しており、緑化拠点地は、「沙蒿」や「沙米」が植生している半固定砂丘地帯である。今年度も、協力企業植林ツアーと現地林業局による障子松の植林作業で、地球温暖化防止と日中友好の森づくりを実施した。

●事業成果

土の付いた大苗を移植する方式により、活着率と保存率を高めた。今年度は、第3期8年目となるが、1年目、2年目に植林した苗木は順調に生育している。

●自己評価

地球温暖化防止とそれに伴う緑化活動は継続して取り組まなければならない重要な課題であり、国の「国民参加の森林づくり」はその重要な推進手段の一つとして位置づけられている。その意味では、この事業が両国の国民が環境意識の高まりと両国民の交流と相互理解に一定の貢献を果たしている。一方で、日本人ツアー参加者が減少傾向にあるなど課題もあげられる。地球温暖化防止、環境緑化活動は今後も重要な活動であり、より一層、環境意識を高め交流を深める為に普及拡大を進めていきたい。

●参加者の声

- ・以前は一面沙漠だったところが、長年少しずつの努力で緑に変わってきたことを植林の作業を通して実感することができた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.7ha	500本	17人	120人	137人
樹種：障子松				
実施場所：中国・内モンゴルエジンホロ旗				



障子松を植樹

地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業

(特非) サヘルの森

東京都町田市原町田

●事業概要

本事業は、サヘル地域の「里山」において、水土の保全、生活環境改善などのために、有用な資源である樹木を育成し、緑地の持続的な利用と管理、保護を行うことである。①里山再生のために、64か村の住民約5000人に1万4千本余の苗木配布、アリ塚植林の補植・草刈管理などを行った。②里山の保護のために、3つの村の7人が灌木林や耕地で柵づくりに取り組んだ。③地域の中核篤農家の育成のために、コビリ村で7人の村人に苗木の生産技術、接ぎ木技術などの研修、4か所の学校林育成に協力した。④有用樹の育成のために、試験植栽を行った。

●事業成果

地域に点在する小さな苗畑を支援することにより、苗木の供給が速やかになり、多くの村人に苗木を配布できた。村人7人に技術研修が実施できた。アリ塚植林地の草刈りで大部分の苗木は野火から守られた。

●自己評価

里山再生を目指した苗木配布、荒廃地植林管理（補植、草刈等）は順調に進み、地域苗畑の研修・交流も実施できた。有用樹の種子からの育成の中で、大量のチャンガラの子が虫に食われて発芽しなかった。よい種子の入手が課題である。

●参加者の声

・配布で受け取った苗木が畑の脇で大きくなった。もっと欲しい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	マリ
1万4655本	5000人
樹種：ユーカリ、バオバブ	
実施場所：マリ・クリコロ州	



ユーカリ、バオバブなどを植樹

フィリピン国レイテ島北西部の台風被災地における地域復興を目指した植林事業（フェーズ2）

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

本事業は2013年のハイヤン台風による復興支援が十分に行き届いていないフィリピン国レイテ島北西部地域において植林事業を実施した。緑化推進を通じた災害への耐性強化および復興への寄与を目指し、以下の活動を実施した。

①森林保全に関するワークショップの開催

②植林活動の実施

③森林保全の重要性に関するパンフレットの作成・配布

●事業成果

地域の自然環境を考慮し、レインフォレストেশションの手法を用いて現地固有の樹種の植林を実施した。今後、植林した樹木は防風林として地域の防災機能を高めつつ、森林面積の増加や土地保全に役立つことが期待される。また各活動には多くの現地住民にも参加していただき、町全体で意欲的に取り組むことができた。

●自己評価

現地住民の理解と積極的な参加を得て、効率良く、そして効果の高い植林事業を実施することができた。そのため、本事業終了後も現地住民が自立して森林保全や緑化推進活動を実施していくことが期待できる。今後はモニタリングや指導を適宜行い、現地住民の管理能力もさらに向上させていく。

●参加者の声

・自分たちでしっかり管理していきたい。(現地住民・農家)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
3.8 ha	5511本	1人	99人	100人
樹種：トーチ、ダオ、バナヨ、ピタンゴール、バロボほか				
実施場所：フィリピン・レイテ州カナンガ町				



現地住民との植林

平成27年度 緑の国際ボランティア 研修 (フィリピン国)

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

本事業は9日間の緑の国際ボランティア研修をフィリピン国レイテ島で実施し、研修員が緑の募金の果たす役割や国際緑化活動の重要性について理解を深めることを目指した。研修では現地の森林環境や自然災害に関する講義、緑の募金事業による植林地を含めた様々な植林地の視察、苗床研究施設の訪問、天然熱帯雨林や森林伐採による荒廃地等の視察、現地住民との交流やボランティア活動、植林活動、各訪問地での森林・環境保全に関する調査と国際シンポジウムでのグループ発表などを行った。

●事業成果

本研修では非常に多くの森林・環境保全に関わる地を訪れ、多くの現地の人々と交流することで、レイテ島における多様な森林、自然、そして開発問題などに触れることができた。研修員は森林・環境保全に関する調査を行うことで、途上国における環境問題や国際環境協力の必要性・課題などの実態に直接触れることで理解を深めた。

●自己評価

研修後のアンケート調査の結果からも、緑の募金や国際緑化活動、国際環境協力の重要性についての理解を深めたことが確認でき、本事業の目標を達成することができた。今後も現地の人々との繋がりを継続させていきたい。

●参加者の声

・森林と環境とのつながりを知り、森林の大切さを新たな視点から考えることができた。(研修員)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	フィリピン	計
植付本数	15人	18人	33人
樹種：Toog、Dao、Banuyo、Narra			
実施場所：フィリピン・レイテ州バイバイ市			



現地樹種の植林

インドネシア 森林と水保全のための の学校地域連携プロジェクト

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

インドネシア東ジャワ州のマドゥラ島は、乾季の水不足や雨季の大洪水といった深刻な水に関する問題を抱えている。このようなマドゥラ島において地域住民の地域の水環境保全に関する知識や意欲、技術を高めながら植林活動を促進し、根本的な環境改善に向けて持続的に行動できる地域体制を構築・定着させることを目的とし、学校において、植林活動及び環境教育・啓発活動を実施する。

●事業成果

今回新たに雨水貯水設備を設置したダウンケック中学校や水タンクを設置したガプラ第一中学校においては、特に乾季において散水が定期的に行われており、他の学校に比べて苗木の生育も良い。水設備は、作業の後の手洗いやトイレなどにも使われ、衛生面の向上にも役立っている。この他にも有機農業やリサイクル活動、環境セミナー、エコキャンプなど複合的な環境教育にも力を入れた。

●自己評価

環境についての理解も少しずつ進み、自主的な活動が多く見られるようになった。しかし乾季の水不足は依然として深刻で、苗木の生存率は65%程度に留まった。次年度には、学校が休暇の時には生徒や教師らが交代で苗木の管理を行うように計画を立てていく予定である。

●参加者の声

・生徒たちの多くは、環境保全の重要性を良く理解するようになった。生徒の親からも学校の環境が良くなったとの声を聞くようになった。(中学校教師)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	インドネシア
0.97ha	3002本	0.35ha	0.2ha	1985人
樹種：マホガニー、マングロープほか				
実施場所：インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島、スメネブ県、バメカサン県				



子どもたちによる植樹

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業

(特非) むさしの・多摩・ハバロフスク協会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

地球温暖化防止およびアムール河溶存鉄保全を目的として、ロシア連邦ハバロフスク地方ナナイ地区・クトゾフカ地区に3年生苗木3000本、ハバロフスク市郊外ワロニシ地区に記念植樹としてチョウセンゴヨウの植林活動を日本人と現地市民と共に実施し、その緊急性・重要性を啓発した。

●事業成果

数年前の森林火災により荒地と化していたナナイ地区の植林場所は、本年で5回目を迎えた。馬の放牧により採食による草本の制御で除草効果を上げ、馬糞を肥料とするユニークな試みも行われている。またソ連時代に伐採され、農地と化していたクトゾフカ地区は、本年で2回目を迎えた。まさに人里離れたタイガの中であり、たどり着くのが大変だったが充実したものだった。さらに、大学生と共に机上の学習として環境セミナーを行い、実際に植樹も行ったことは学生から今年も評価を受けた。

●自己評価

クトゾフカ地区では今年も多くの子どもたちが手伝ってくれ、両地区とも計画通りに行うことができた。

●参加者の声

・日本とハバロフスクが渡り鳥によりつながっていることに興味が沸いた。また、ロシアの人々と植林をすることにより環境という共通の問題を考えることができた。

モンゴル森林火災被災地再生事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

●事業概要

森林火災被災地において日モ両国のボランティアが共同で植林を行うことにより豊かな生態系を持つ森林を早期に復元するため山火事被災地の植林を実施した。

2004年愛・地球博モンゴル国際植樹祭における植林地において、地域住民ボランティアの協力をえて大苗による再植林、保育、保護（灌水作業等）等の活動を実施した。

●事業成果

日モ両国のボランティアによる植林により両国の友好を確認すると同時に、2016年は4haという広大な面積に在来アカマツの苗を植栽することができた。土壌は砂壤土で腐食が比較的少なく、植生はイネ科やキク科の下層植生が優先しているため、早期の植生回復が期待される。また2015年の乾燥の影響で、成長の見込めなかった箇所（2015年以前の植林地）についても、約5ha分の再植林を実施した。2016年は全体の95%は活着が認められた。

●自己評価

2004年万博植林地では、家畜防護柵を設置していたにも関わらず、数年前から家畜の進入や柵の盗難にあった。現在は山引き苗による大苗植林に切り替え順調に生育している。しかし今後も当該地では再植林を継続する予定である。良好な成長を維持するため樹齢10年以内の間伐の必要性が確認されている。

●参加者の声

・2004年の植林地には感動しました。感謝の気持ちで一杯です。参加できて嬉しい。(モンゴル人・大学生・女性)

実績とりまとめ表

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
2.1ha	6100本	75人	70人	145人
樹種：チョウセンゴヨウ、アズミ、クルミ、シラカバなど				
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方				

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
19ha	2万2700本	6人	63人	69人
樹種：ヨーロッパアカマツ				
実施場所：モンゴル・セレンゲ県アルタンボラグ村				



チョウセンゴヨウを植樹



ヨーロッパアカマツを植樹

秦安県中日友好経済型生態造林プロジェクト

(公社) 秋田県林業育成協会

秋田市東通

●事業概要

生長が早く各種抵抗性に優れたニセアカシアとヤナギを植栽し、現地の動・植物及び微生物の種類を豊かにして、砂漠化の防止や環境の改善を図るとともに、生態林は風景林でもあることから、現地の森林観光事業を発展させ、経済的効果を促進させる。また、リンゴを植栽し、農家が実益を得られるように配慮しながら植林事業を実施していく。当該地域に3年間で67haの植林を計画している中で、5haを対象として植栽するものである。

●事業成果

林業局及び現地の農家と連携し、植林するとともに、リンゴの植栽、管理に関する指導を行った結果、5haを緑化することができた。

●自己評価

初年度であったことや、これまでの緑化事業にはなかった経済林としてのリンゴの植栽が計画されていることなどから、当初は、現地との意見調整に時間を要することもあったが、計画どおり実施することができた。

●参加者の声

甘粛省秦安県林業局及び現地の方々からは、非常に喜ばれ感謝されている。

実績とりまとめ表

作業内容	
植付面積	植付本数
5ha	7100本
樹種：ニセアカシア、ヤナギ、リンゴ	
実施場所：中国・甘粛省天水市	



ニセアカシア、リンゴなどを植樹

苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティ完結型緑化事業

(特非) フー太郎の森基金

福島県相馬市尾浜

●事業概要

エチオピア国ラリベラ市では炊事などの燃料として主に炭や薪が使われ、住民達も年々減少する緑に危機感を持ってはいるが、苗木確保の難しさから植樹の実行には至らない。本事業では住民自ら苗木を生産し、育った木を確実に利用できる様に自分の家や畑の周りに植樹することを促した。これまでのようにただ植林に参加させるだけでなく、木を植えることで住民の経済的自立を支援し、住民が自ら持続的に活動できるプログラムを実施した。

●事業成果

2地区10家庭が「屋敷林プロジェクト」に参加。講習会を開催し、農業局とTOLの専門家が、自宅周りで苗木を作るための指導を行い、必要な資材を配布した。各家庭ではTOLの専門家の指導の下、5畝程度の苗木のための畑を庭の一面に造成、7種類の樹木の種を播き、育てた。定期的にTOLの専門家が巡回指導を行いながら合計で1万5000本の苗木を生産、6月に自宅と周辺の住宅に植林した。また自宅に苗畑を持たない町中の住民らは、250本の街路樹を植え、水遣りを自ら行った。

山岳地帯の住民に関しては、苗畑を作るスペースの確保ができなかったことから、ラリベラの中に苗畑を集中管理。オリーブなど10種類の苗木を育てた。

●参加者の声

講習会、水道代の負担、道具の支給などに対する感謝の声が聞かれた。熱心な家庭は鳥対策のカカシを作っていた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	エチオピア
8ha	8万500本	966人
樹種：オリーブ、シャイニスモル、グラビリアほか		
実施場所：エチオピア・ラリベラ市		



オリーブ、グラビリアなどを植樹

小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業

(特非) エクアドルの子どものための友人の会

埼玉県飯能市中山

●事業概要

目的はエクアドル、カヤンベ郡のピサンビージャ地区とピタナ・アルト地区において小学校教室、菜園の防風、防寒を目的に植林事業である。主な内容は以下のとおりである。

●事業成果

苗木が防風、防寒効果を発揮するまでの成長に3年～4年必要とするため、現時点での効果の確認は難しいが、その間、事業に参加した地域住民、育成を担当した子どもたちに対しての環境保護教育効果は大きい。

●自己評価

雨不足により、植林作業が遅れた。その間、学校に保管された苗木へのバケツの水やりは重い作業であった。地域住民の事業に対する貢献は大きく、夜間の動物からの被害を防ぐための見張りや植林のための穴掘りを全面的に担当してくれた。今後に関しては、山肌の荒廃が進むアンデスにおいて、教育施設周辺での植林事業の拡大は重要である。

●参加者の声

・私たちの学校内外に自然環境保護の観点をもちながら植林の援助をいただいたことに感謝します。今後、地域、学校が責任を持って世話を続けます。(校長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	エクアドル
1500m	2000本	240人
実施場所：エクアドル・カヤンベ郡		



苗木づくり

育林思想普及のための学校林植林と環境セミナー開催(第3次)

(特非) 観照ボランティア協会

千葉県我孫子市湖北台

●事業概要

平成25年からナカル・カタプリングン地区の先住民小学校(SPA)学童を対象に、環境教育セミナーと植林ワークショップを開催してきた。今年度は、その第3次事業を本校および分校で実施した。

1. 環境教育セミナーの開催

27年度は当協会と現地講師の指導のもと、森林資源の働きと植林の意義、必要性などを図や写真で低学年の学童にも理解できるようやさしく解説した。参加者には苗木を寄贈し、自宅近くに植えるよう指導した。

SPA小学校へも環境セミナー教材及び苗木を寄贈し、高学年生徒、学校関係者及びスタッフで植栽された。

2. 植林ワークショップの開催

指導を行った後、低学年児童と保護者により植樹。

●事業成果

実施までには小学校校長、関係者との1年近い打合せを行い、その成果もあり、実り多いセミナーが実施された。植えた苗木は継続的に学童が育成し、環境整備すると共に、将来、育った樹を学校運営に役立てようと考えている。

●自己評価

植栽だけでなく、昨年、一昨年と植えた木もほぼ順調に育っており、その手入れにも力を注いだ。

●参加者の声

・学校教師が植林のやり方をほぼ憶えたので、今後は自分たちの手で実施していけるという声も聞こえてきた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	フィリピン
0.3ha	361本	0.3ha	100人
樹種：カラマンシー、ニーム、インドシタン、ナラ			
実施場所：フィリピン・ケソン州			



植林ワークショップ

中国・内モンゴル・飛沙、 沙漠化防止緑化活動

(特非) 黄河流域に植林の会

千葉県大網白里市季美の森

●事業概要

- ①ウランブハ沙漠流砂防止の為の植林活動
- ②沙漠産業での換金作物の作付
- ③日中交流協働植林を通じて環境と産業をともに学ぶ。
地元中学生、会社社員など日本緑化隊との協働作業を通じて互いを理解しあう活動をした。

●事業成果

植林開始3～4年一帯が緑化の範囲が広がり飛沙が極端に減少している。

作付3年目の梭梭ザクは本来の目的寄生キノコを宿すまでになり今後の成長が楽しみになっている。

数年後には加工工場への出荷も見込まれる。

●自己評価

植林開始1～2年目は費用的な不足から灌水作業が思うようにできず活着率が60%程度だった。

3年目以降は点滴灌水を実施、費用的にはかなり負担であったが活着率は95%にまでなった。

課題：内モンゴルでは植林地の井戸が認可制となり申請から数か月待たなければならず井戸水の確保が課題となるかもしれない。

●参加者の声

・沙漠化を止めるのに少しでも貢献したいと思って参加しましたが、沙漠を止めることで地球温暖化防止にもかかわってくるのかなとしか思っていませんでした。実際に沙漠で働いている人の話を聞いたら自分の考えが甘かったことにも気がきました。(大学生女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
4ha	5000本	113人	88人	201人
樹種：ポプラ、ヤマザクラ、アンズ				
実施場所：中国・内モンゴル				



ポプラ、アンズなどを植樹

ケニア北部トゥルカナ湖南東部での 植林とアグロフォレストリー事業

(認特) ICA文化事業協会

東京都世田谷区祖師谷

●事業概要

ケニア国マルサビット州ロヤンガラニ地区は、長年の干ばつの影響で、住民の多くが食糧不足、水不足による貧困状態にある。村に緑化推進活動を行った。

①少数民族の村の小学校で環境教育を行い、村人が植林の体験、②計1160本の植樹、③干ばつや強風でも生育可能な10種類の苗木を植栽

●事業成果

この地区は雨量が少なく、また気温が40度近くなる。各家・学校に植栽された木は2～3年で150cm程成長し、緑豊かな村になることが予測される。環境保護団体、学校、住民が協力して水やりを行い、植樹後も育林活動を継続した。特に子どもと女性により柵が一本ずつ作られ、苗木の家畜による食害を防いだ。現在80%の苗木が活着した。また植林モデル農園が作られ、地域へ影響を与えている。

●自己評価

水源地付近の水量減少の原因の一つと思われたアルガロバの伐採を予定していたが、家の柵として活用、ヤギなど動物の糞から自然発生することも判明した。伐採ではなく、アルガロバと共生することの重要性に気づいた。

現在ケニアの全土地面積は3457km²であるが、森林地区は6%のみである。僻地では学校給食が無くなり、学校に行かない子どももいる。ICAでは今後も植林活動を継続し、気候変動、水問題、食料問題解決への一助としたい。

●参加者の声

・学校がさらに魅力溢れる場所になった。(小学校長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ケニア
26ha	1160本	150人
樹種：ストロベリーツリー、グレビレア、サイプレス、アカシアほか		
実施場所：ケニア・マルサビット州ロヤンガラニ地区		



小学校での植林デモンストレーション

ガーナ植林・日本式炭焼 普及プロジェクト

(特非) ガーナ農林工芸振興協会

東京都豊島区駒込

●事業概要

森林減少が進むガーナ中部で、植林により森林の再生を図り、砂漠化防止、農地の地力維持に貢献するため、ニーム（インドセンダン）を中心にチーク、在来樹種などを密植（地元小学生を含め）するとともに、今後間伐木や製材工場のオガクズを炭にするため、今回日本式炭窯を作設し、試験的な炭焼を開始した。今後の技術普及のステップとなると期待される。

●事業成果

- ・地元民の植林に対する関心が高まってきた。
- ・小学生との植樹により、小学校との交流が生まれ、子どもたちが植樹の大切さを学び、関心を持つようになった。
- ・日本式の炭窯が完成し、地元の人々が興味を持ち、今後の展開に期待するようになってきた。

●自己評価

- ・土地制度が複雑で、思うように土地を確保できなかった。
- ・ニームの密植植樹が実施できた。また、地元民への普及効果が出てきた。何よりも、日本式の炭窯ができ、展示効果が大きいことが評価できる。

●参加者の声

- ・子どもたちが木の植栽や環境に関心を持つようになったと感じられた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ガーナ	計
1.3ha	1万3000本	1.3ha	4人	20人	24人
樹種：ニーム、チークほか					
実施場所：ガーナ・マンクランソ村					



ニーム、チークなどを植樹

モンゴル・ウランバートル市 学校緑化モデル事業

(一社) 国際善隣協会

東京都港区新橋

●事業概要

小中高一貫の学校教育において緑化活動の実践と植物の育成の経過を体験認識してもらうため、日本の無償資金協力により、建設したモデル校を本年は2校選びモンゴルの自然条件に合致した樹種を選び、校庭に植林した。これにより幼少の時点から、緑化意識を育み、また植物の生育過程を体験することにより、息の長い植林活動に貢献する。

●事業成果

本年が最初の成果であり、その成果は第121学校で1663本、面積2500㎡、第122学校で1007本、面積2200㎡を植林した。植林時期は9月末から10月初めである。その植林活動では両校の関係者や市政府の関係者が参加し、幅広い人々に植林に対する認識を深めることができた。

●自己評価

植林は計画通り実施されていた。しかし、雑草が繁茂し、一部除草途中であったが、モンゴル側の説明では1年目は除草をせず、2年目から本格的に除草予定という。除草した場所を見ると一応活着しているようであったが、実際、後2、3年の観察期間が必要であろう。

●参加者の声

近年、モンゴルでは政府も植林を支援し、多くの苗木業者ができてきているが、成果は余り上がっていない。学校植林を通じ、息長く植林意識及び環境意識を体験してもらうことはこれまでにない良いことである。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	モンゴル
0.47ha	2670本	70人
樹種：ポプラ、ライラック、オウトほか		
実施場所：モンゴル・ウランバートル市		



雑草除去作業

アグロフォレストリーを目指した 基盤整備のための植林事業

(特非) 地球の友と歩む会

東京都千代田区富士見

●事業概要

持続可能な農業ができる基盤を整備するとともに、土壌の改良をすすめる有機肥料の研修を行い植林と同時に施肥を行った。とくに治水能力をつけるには植林は欠かせないものであることが重要な点となり、それを意識し実践した。また、農業が困難となる傾向にある事業地周辺に成功例が普及し、農業復興のためのモデルケースも期待している。

●事業成果

農地の改善には化学肥料から有機肥料の転換が重要となるので、研修を各村で行うことによって農民も実践をするようになった。具体的には果樹では有機肥料の施肥によって果実の生育が早くなり、収穫が期待されている。また、他地域の実践例を学ぶ機会もあり、動機づけとなった。

●自己評価

昨年度のPRA調査をもとに村の問題点、課題が確認されたところでの植林となったので意識も高く、事業も円滑に進んだことはよい点で得であると評価できる。今後有機肥料を定期的につくり、施肥していくことが課題となる。

●参加者の声

・今回の研修をとおして安価で材料が手に入るのと身近なところに存在していることがわかり、これからも植林とあわせて耕作面積が増やせるものと期待している。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	インド
80ha	1万本	1527人
樹種：チーク、クルク、グワバ、レモンライムほか		
実施場所：インド・ディンディグル県		



有機肥料で土壌改良

モンゴル国セレンゲ県における 人材育成を伴う村民参加型 生態混交林再生事業

(一社) 地球緑化クラブ

東京都日野市日野

●事業概要

モンゴル・セレンゲ県トングリ村にて、違法伐採により失われた森林の再生及び生態系の回復を目的として複数自生種の高木と低木を植栽し、生態混交林を造成する。また、育苗施設を整備し、自生種苗の自給化及び近隣地域に対しての供給源として活用する。

さらに、村民に対し植林及び育苗事業の実践による人材育成を行うことで、事業の自立化と継続性を図る。

将来的には対象地コミュニティーグループを事業の中核として機能させ、本活動地及び近隣地域への生態混交林拡大の拠点としての役割を担うことをめざしている。

●事業成果

今期の事業としては自生種である高木と低木の植栽をしたほか、これら苗木を保護留守ための防護柵の設置、事業自立化に向けた苗木生産のための温室を建設した。

植栽作業にはおもにトングリ村村民が参加した。

●自己評価

予想以上に地盤が固く、植栽作業は難航した。現在、植栽専用の掘削機の導入を検討している。育苗畑を整備する予定だったが、残念ながら今期は間に合わなかった。

●参加者の声

小学校で環境教育も実施した。参加児童に「来年、植栽作業をしたい人？」と聞いたところ、全員が手を挙げた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
6ha	1万6000本	34人	310人	344人
樹種：カラマツ・シベリアマツ・ニンティアオ・エゾウワズミザクラ				
実施場所：モンゴル・セレンゲ県トングリ村				



カラマツ、シベリアマツほかを植樹

マダガスカル、アンジアマングラーナ 監視森林とその周辺地域での植林

日本アイアイ・ファンド

東京都文京区本郷

●事業概要

目的は、マダガスカル共和国マジュンガ州アンジアマングラーナ監視森林地域の保全と周辺地域用水源涵養のため、適正樹種を選抜して種子を収集し、植林用苗床の整備を指導すること、および植林地の整備と植林活動の指導、ならびに周辺住民へ植林の意義を啓蒙することである。主な内容は以下の通りである。

①固有樹種のラミー（かんらん科）、バオバブ、ラフィアヤシの苗床整備の支援と指導。

②マンゴー、シトロン、タマリンド、パパイヤやアカシアなどの育種と植樹の指導。

③植林地の整備、地拵えの支援と整備、防火帯の設置

④小学校など周辺住民への植林意義の啓蒙活動

●事業成果

「緑のマダガスカル」祭には、保護区周辺の二つの村の村民が植林に参加し、小学生生徒もまた百人規模で植林を行った。植林が村をあげての事業となり、これまで森や植林に関心のなかった地域社会に大きな影響を与えた。

●自己評価

ラミーとアカシアの活着率はそれぞれ42%、51%と高いとは言えず、これらの苗の活着率をあげることが今後の課題である。

●参加者の声

マルバトレーナ村の村長は「緑のマダガスカル」の演説で「わが村では木々がなくなったために村民の流出が続いている」と語り、植林の重要性を訴えていた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者
植付面積	植付本数	マダガスカル
3ha	2400本	250人
樹種：ラミー、シトロン、アカシア、マンゴー、バナナ		
実施場所：マダガスカル・マジュンガ州アンジアマングラーナ村		



草取りと植樹

ヒマラヤ山麓伐採荒地に 「笑顔はじける環境を子供たちへ！ 未来の緑の森づくり」

(認特) ヒマラヤ保全協会

東京都新宿区西早稲田

●事業概要

ネパール、ヒマラヤ山麓の山村住民を対象に、苗木の育成から植樹までを体験してもらい、荒地を村民自ら緑化再生する体制を作ることを目的とする。

①種子の採集と苗畑での育苗作業。②落雷など自然災害で倒れた木、形質不良木、植林予定地の下刈り作業。③植樹予定地の住民全世帯参加での植樹活動。④持続可能な森林保全の体制づくりの重要性を確認し合うカリキュラム。

●事業成果

これまで伐採後放置していたエリアに山村住民すべての世帯が参加し、植樹を行った。森から種を収穫し、拾った種を苗畑で育成することを知り自分たちの手で森林を保全していくことができることを体験してもらった。近隣の村に口コミで評判が届いている様子で問い合わせがたびたび来るようになった。

●自己評価

現地スタッフや住民の国の再建への思いと尽力の甲斐あり、6村の事業地で約8万本の植樹ができた。地震により倒壊家屋の再建のため急激な森林の伐採が見られる中、この度の植樹は森林保全、環境復興の観点からも大きな貢献ができたと考えられる。

●参加者の声

・今回植樹できたから、そのうち家の近くでヤギにやる枝葉が採れるようになるかもしれない。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ネパール
48.8ha	8万1340本	2639人
樹種：シルム、パインスペチュラ、ライカニユほか		
実施場所：ネパール・ダウラギリ地方バルバット郡ミャグディ郡		



地域全世帯が植樹に参加

バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林

ラムサールセンター

東京都大田区南久が原

●事業概要

劣化・消失した沿岸環境の再生および気候変動に対して地元住民が適切に対処・適応していくため、サイクロンシェルター型学校区などを拠点に5グループの組織化および地域住民への技術研修および環境教育の実施、マングローブの植林、学校や寺院などに生活に役立つ樹種の植林、生態系回復をテーマとしたワークショップなどを実施した。

●事業成果

①学校と寺院の15か所に計1万2500本を植林、②生態系保全を目的とした1万本のマングローブ植林、③枯死したマングローブ補填を目的としたマングローブ苗床の整備および1万本のマングローブ育苗、④5つのグループの設置および組織運営、⑤地域住民が育苗の研修を受講、⑥ワークショップによる生態系回復に向けた地域住民の能力強化。

●自己評価

住民参加型植林を計画通り実施することができた。ただし、2015年の甚大な高潮災害によって周辺の堤防が決壊し、海水が浸入して植樹した木々の一部が壊滅した。被害を受けた地域には、苗木を再び供給するなどして生態系回復を図るとともに、住民参加・能力構築に資する環境教育の普及啓発を継続的に実施することを目標としていきたい。

●参加者の声

・生態系アプローチに沿った植林は住民にとって新しいやり方だった。(CBGメンバー)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	バングラデシュ
9.76ha	2万2500本	4.36ha	608人
樹種：マングローブ			
実施場所：バングラデシュ・コックスバザール県			



学校キャンパスでの植樹

カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺地区での植林活動

(特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

東京都千代田区神田駿河台

●事業概要

目的は、プレアビヒア寺院の普遍的価値と共鳴し、その価値を増幅させる役割を担う遺跡近傍森林と眼下に広がるモザイク状森林の回復と保全である。本件5年度目の事業では、これまでの地元住民・児童、本協会傘下日本人学生への参加による植林と下刈りなどの活動の継続に加えて、緑化事業のカンボジア人による自立化を重視すると同時に日本人ボランティア学生の育成を目指した。さらに、植樹した樹木の活着率向上に向けた事業の展開に重点を置き、住民が日常的に生活している地域への植林を重視した。

●事業成果

こちらから苗木を配布する前に、苗木を取りに来るなど、植林に対する積極的な姿勢が住民のなかに生まれている。

●自己評価

地域住民の日常生活の中に「花の咲く木」「実のなる木」の植林に重点を置いてきた。この植林活動方針への住民理解が広がっている。しかし、公共施設や道路周辺での積極的な植林活動に地域住民の理解を広げるためには、さらに住民意識の向上を目指した活動が必要である。

●参加者の声

植林活動の中心となっている当協会の土地「エコパーク」へ地域住民が積極的に訪れるようになっている。植林後の樹木の保護の方法を見たり、さらなる苗木を求めての訪問である。その際、当協会傘下学生隊の植林作業を手伝っていく住民も多い。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	日本	カンボジア	計
7ha	3950本	4ha	7ha	57人	305人	362人
樹種：チリー、シャカトウなど						
実施場所：カンボジア						



チリー、シャカトウなどを植樹

タイ北部チェンライ県 森林再生プロジェクト

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

タイ北部の山岳地帯では、無計画な焼畑などによって森林の減少が著しく、土砂崩れや洪水を引き起こす原因となっている。このような地域において、緑化という目的のみならず、地域環境の保全、災害防止、生物多様性の維持など広い意味での環境モデル地域作りをめざした植林を行う。住民が森の重要性を理解し自らが森を守っていく、持続可能なコミュニティ作りをめざす。

●事業成果

今年度植林した木々は順調な成長を見せ、防火帯を作成し森林火災講習なども行い万全の体制を整えていたが、記録的な乾燥と猛暑により火災の延焼を避けることができず、20%を残して植えた苗木を焼失してしまった。しかし、住民の対応は素早く、消防隊や森林局など以上の働きを見せてくれた。2014年の植林地は火災の被害が少なく樹高1mほどに成長している。また、2015年植林地の焼失後もすぐに植え直し作業が終了している。

●自己評価

生活用水にも欠くほどの水不足が生じ、火災の延焼を免れることができなかった。ただ火災に対する住民の対応や姿勢が、啓発の成功度を期せずして示してくれた。今後も植林地の管理と啓発を並行して実施していく。

●参加者の声

・火災は悲しくて悔しかった。燃えた場所も再び植林することができて良かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	タイ
7ha	9000本	900人
樹種：TectonagrandisL.f.、HopeadorataRoxb.ほか		
実施場所：タイ・チェンライ県		



大人も子どもも参加して植樹

マリ共和国 カチョラ小学校に学校 林の造成と環境学習、モバ小学校 林のケア

(特非) カラ=西アフリカ農村自立協力会

東京都練馬区立野町

●事業概要

学童に対する自然環境保護学習と育苗・植栽の実践を行い、将来無計画な伐採を行わず自然環境保護意識の下、自主的に植栽するようになる事を目的とする。

次のような事業を実施。

1. 学校林造成：①学童・村民への環境学習。②育苗ポット製造法・播種の方法と保育。③植栽方法と除草と後のケア。
2. 1haの家畜よけ防護柵の設置。
3. 浅井戸二基の設置。
4. 2014年度造成のモバ小学校林への補植。

●事業成果

本事業は学童への事業であったが、近郊の村の住民も学童と共に学習、技術を習得し個人の植林地を造成した。この事業は確実に将来へ繋がる。カチョラ小学校長は「青年期にこのような機会を得た事は将来に大きな意味を持つだろう」と謝辞が述べられた。

●自己評価

地域の人々へ予想外の反響があり、成人の自主的な参加は的を得た事業であった。将来は自主的に植栽する人が増えると予測できる。

●参加者の声

学校側だけでなく、地域住民へ良好な影響を与え、各家庭で植林地を持つようになると非常に感謝された。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	マリ
1ha	874本	25本	1ha	302人
樹種：カリテ、ニエレ、カイセドラ、ユーカリ、グアバなど				
実施場所：マリ				



植栽方法を指導

モンゴル国中央県植林事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

●事業概要

中央県は草原と森林の移行帯に位置し、用材・薪材採取による森林後退及び家畜の放牧による森林更新の阻害が顕著であるため森林の劣化が危惧されている。本事業では、ジャルガラント村において行政、住民、遊牧民と協力して家畜害防止柵の設置を行い家畜と伐採を排除した環境の元において、在来アカマツ小苗などによる植林作業を行った。なお昨年引き続き、ボルノール村においても劣化した森林において植林作業を行った。

●事業成果

最終年度は、現地の住民が主体となって計画から植林の実施までを行った。事業そのものは無事実施することができたと感じている。現地の若者が中心となって実施した植林は、現地住民がGNCをより近く感じてもらえる大きな機会だった。また2年続けて実施したボルノール村での植林は、昨年よりも大きな手応えを感じた。

●自己評価

上記の成果がある一方で残念な結果もあった。家畜が侵入できないよう、例年通り家畜防護柵を設置していたが、柵の一部に、大型の家畜によるものと思われる大きな穴が空いてしまった。幸い、今年の苗木は家畜による被害が少なかった。

●参加者の声

・植林作業はほとんど止まってしまっているこの厳しい時に、日本の皆さんの寄付やご支援はありがたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	モンゴル	計
3.0ha	7500本	64人	64人
樹種：ヨーロッパアカマツ、ムレスズメ、ノニレ			
実施場所：モンゴル・中央県ジャルガラント村、ボルノール村			



ヨーロッパアカマツほかを植樹

ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する生活改善のための植林プロジェクト

(特非) 緑のサヘル

東京都千代田区神田紺屋町

●事業概要

地域住民の生活に直結していながらも不足している必要品の供給と改善を図るため、未利用地として残されている湖周辺地に林地を造成することを目的に、4村においてユーカリ苗木の植栽を行った。また、これまでに3村に植栽されたマンゴに接ぎ木を行った。

●事業成果

コンディビト村、クルペレ村、バディノゴ村、コラ村に植栽されたユーカリの成育率は、コンディビト村56%、クルペレ村74%、バディノゴ村49%、コラ村77%であった。

●自己評価

当初計画では、マンゴ苗木を計400本植栽することになっていた。しかし、植栽実施者より、近年の雨季におけるバム湖の氾濫状況を踏まえたユーカリ植栽への変更に関する提案があったため、ユーカリ1200本の植栽に変更した。また、当初計画では3月～5月としていたマンゴ接ぎ木作業に関し、成功率の向上を見込んで湿度の高くなる6月に行うことにした。当初の計画より変更した部分が多くなったが、実情を踏まえた対策を迅速にとれたものと考えている。

●参加者の声

植栽実施者の中から用材販売により現金収入を得ている住民が出始めている。このような事実も、植栽活動に参加する動機やモチベーションになっている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブルキナファソ
14.3ha	9200本	572人
樹種：ユーカリ		
実施場所：ブルキナファソ・コンディビト村、クルペレ村ほか		



コンディビト村での植樹

インドネシア中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を再生するための植林事業

マニスファンクラブ

神奈川県三浦郡葉山町

●事業概要

希少な野生動物が生息する生態系豊かな森は国立公園に指定されているが65%以上が伐採、火災で森林破壊に直面しており危機的な状況である。今回は2014年に森林火災で焼失した場所の植林を行う。環境への意識向上を目的に地域住民、周辺地域の小中学校の子どもたちと共に植林を通じた環境教育を行う。

●事業成果

火災後に初めて現地を訪れた周辺地域住民、小中学生が多く森林火災の現場を実際に見ることで、植林を通じた環境保護を行う必要性を身近に実感することができ、環境保護、環境保全の意識が高まった。

●自己評価

- ・達成度－森林現場周辺地域の住民、小中学校と共に植林を通じた環境教育を行った結果、参加者のうち80%に環境保全意識の向上が見られた。
- ・反省点－森林火災が発生し、現地NGO及び周辺地域住民が消火活動に追われ、植林イベントの開催が遅れた。
- ・課題－環境保全に対する意識向上はできたが、知識の定着が充分でなかった。知識の定着を目的とした授業を学校と協力して行うことで解決できると思われる。

●参加者の声

- ・子ども達が楽しそうに植樹していた。(45歳男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	インドネシア
15ha	7100本	170人
樹種：ガハルなど14種		
実施場所：インドネシア・西コタワリンギン郡クマイ県		



ガハルなど14種を植樹

砂漠緑化：育林・草原再生事業の広範な展開にむけた普及公園づくりプロジェクト

東アジア環境協働行動よこはま

神奈川県厚木市上依知

●事業概要

目的は、モンゴルでの樹林・草原再生・砂漠化防止活動が採算事業化でき、広められること。高木種の育林にあわせて、果樹種や牧草、野菜栽培などを一体的に組入れ、それら栽培益で、育林経費も賄えるように取り組んでいる。

●事業成果

①前年度までの成果など

- ・地域住民が取り組んでいく可能性調査から丸6年。
- ・平成26年6月末、育林地拡大ナシの一育林地は、複合経営化の成果で助成を終了。
- ・同27年次は後発・拡充育林地も自立化し長期持続的な発展に向けられるよう専門家調査と助言を得た。

②今年度新たに得られた成果など

- ・干ばつに強い牧草地保全の取り組みを始めた。

●自己評価

- ・村と育林担当者などの検討会が開催され、弱点(小獣虫害、水不足など)の克服策などが村や周辺住民、学校・企業などの協力も得て実施に向けられている。
- ・地元と私達を結ぶ連絡態勢が容易にとれないこと。広がる支援ニーズに応えられないことなど。

●参加者の声

- ・木々や牧草などが上手く育つようになってきているのを村人みんなが知るようになった。(副村長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付本数	植付面積	育苗	モンゴル
1210本	1.2ha	約1600本	280人
樹種：ニレ、ジグドほか			
実施場所：モンゴル・バヤンホンゴル県			



ニレほかを植樹

ダグマ山系ラムダラグ村生態系保全のための森林農業推進事業（3年目）

（特非）ビラーンの医療と自立を支える会

横浜市青葉区鴨志田町

●事業概要

熱帯林と生態系修復、及び、山腹斜面の耕地化による土壌流出防止のため、急傾斜地5haに在来種を植え、チボリ民族30世帯の山腹斜面に、ゴム苗、コーヒー苗を植えるとともに、環境保全、傾斜地農法などの研修を実施した。また、収穫までの苗木管理のモチベーション維持と技術習得のため、「緑の募金」による6年前のタラヒク村事業地域を訪問した。

●事業成果

雨期6月の訪問時は、移植後10ヵ月のコーヒー、6ヵ月のゴム苗ともに、樹間のコーンの合間に埋もれていて、急傾斜地の在来種苗木ともに、景観的には「苗木を植えた」成果は顕著でなく、土壌流出防止効果もまだ認められないが、受益住民は、研修やモデル事例見学を通じて、3-6年後のコーヒーやゴムからの収入向上を確信している。

●自己評価

3年目事業地域は、先例から学び、表土の乾燥を防ぐため雑草の刈り払いを控えるなどしたためか、枯死苗は10%以下で予測の範囲だった。ただし、干ばつによる食糧不足で出稼ぎ男性が多く、研修出席率は低かった。課題は事業の成否にかかわる研修参加率向上で、実施時期検討が必要。

●参加者の声

ゴム樹液採集現場を見たタラヒク研修参加者からは、近い将来、子どもの学費を賄えると期待と感謝の声があった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	フィリピン
35ha	9400本	100人
樹種：コーヒー、ゴム、マホガニー		
実施場所：フィリピン・サウスコタバト州レイクセブ町		



在来種フィリピンマホガニー移植作業

タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林

（特非）中央アジア森林草地保全研究所

静岡市駿河区大谷

●事業概要

タジキスタンでは、過放牧により生態系が荒廃の危機に瀕している。持続可能なシステムを構築する必要がある。柵を設け、一定期間放牧を制限し自然治癒力を利用して生態系の回復を待つ。柵の内側には成長の早い野生バラを植え、果樹やポプラの食害を防ぐ。草地では冬季の備蓄用として干し草の確保。バラは数年後に柵として機能するので、他の荒廃した森林および草地にシステムを移設できる。

●事業成果

多くの地域住民の協力を得て予定通り各種作業・植林を行った。ドウバ地区は土地所有者である森林公社が十分なイニシアティブを発揮せず、地元住民と一部の放牧者との利害を調整できずにいる。そのため計画を変更して植林した。今後も粘り強く、調整作業を見守る必要がある。

●自己評価

ログ、クマルク地区では、計画通り植栽できた。目立った食害もなく非常によく管理されている。今年も虫害が発生したが、薬剤散布で被害を軽減させた。ログでは土地借用契約を結び、長期的な利益を確保している。

●参加者の声

参加者から援助に対して深い感謝の言葉と支援の継続を期待する声が寄せられた。主な要望は①灌漑水路補修や設備の設置、②防風・防砂林設置、③果樹の付加価値（果汁工場）などである。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	タジキスタン
20ha	635本	80人
樹種：アプリコット、ブドウ、チェリー、ビャクシン、マツ、ポプラなど		
実施場所：タジキスタン・ログ地区、クマルク地区、ドウバ地区		



ポプラ、マツ、アプリコットなどを植樹

東ティモール民主共和国リキサ県マウメタ村ハトゥハヒロア (HATUHAHI LOA) における水源保護林造成事業

(特非) 地域国際活動研究センター

名古屋市東区東大曽根町

●事業概要

目的は、事業地（水源周辺）に水資源を保護する機能の高い樹木を植え、住民の生活に最も必要な水源を守ることである。主な活動は、次のとおりである。

- 1) 育苗：ナーサリー建設、堆肥づくり、種の採取および種蒔き、発芽後にポットに移植して育苗。
- 2) 植林：植林予定地に獣害防止用の柵を設置、整地、植林、成果モニタリングおよび補植。
- 3) メンテナンス：モニタリングおよびメンテナンス。

●事業成果

地域住民が参加して育苗、獣害防止用の柵の設置、植林などの作業を実施した。長らく放置されていた水源周辺地域が水源を守るための保護林として整備された。

1) 自前で育苗することができた。今後の継続性を大きく後押しすることができる。2) 周辺住民が作業へ参加することによって、森林を守る大切さや、木々が水資源を保護する役割について改めて考えることができた。

●自己評価

マウメタ村で緑の募金事業を実施するのは今回が初めてではなく、作業は全行程を通してスムーズに進行した。

●参加者の声

・今後も手入れを続けていきたい。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	東ティモール	計
1.5ha	4000本	1.5ha	4人	19人	23人
樹種：fafulu, onu, tua metanなど					
実施場所：東ティモール・リキサ県マウメタ村					



植林作業

西ネグロス州における少数民族の組織化による水源の森再生活動 (第2年次)

(特非) イカオ・アコ

愛知県東海市大田町

●事業概要

本事業の目的は、西ネグロス州シライ市の山間部の森林再生である。本事業では、先住民族を組織化し、環境教育を行い、住民が主体となって森林再生を行う。

●事業成果

本事業は3年計画であり、その2年目が終了した。22人のメンバーの土地0.5haずつに250本の苗木を植林した。また、雨季終了前に下刈りを行った。

今年度の植林の後、2016年2月から5月にかけて、フィリピン全域が天候不順の被害を受け、主に干ばつが理由で一部の苗木が枯死した。枯死木は次年度の植林の前に、植えなおす予定である。

また、事業中に定期的に住民を集め、研修やミーティングを行えるように、集会所を建設した。その集会所を利用して、日本文化や環境問題に関する講義を4回に分けて行った。自分たちも、自民族の文化を保存しつつ、現在直面している環境問題に対策を講じたいと話していた。

●自己評価

計画通り植林できた。一部のメンバーに不幸があったため、11月中に植林を終わらせることができず、2箇所は12月に入ってからの植林となった。今年度も、多くの日本人ボランティア及び地元の人々が植林活動に参加した。

●参加者の声

・住民が真剣に取り組んでいて、感心しました。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	フィリピン
11ha	5500本	22ha	655人
樹種：マンゴー、ランブータン、マンゴスチン、ジャックフルーツほか			
実施場所：フィリピン・西ネグロス州シライ市			



住民と日本人ボランティアがいっしょに植樹

アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動

(特非) 市民環境研究所

京都市左京区田中里ノ前町

●事業概要

カザフスタン共和国の西部地域に、世界で4番目に広い湖・アラル海があったが、流入水量の激減によって干上がり、九州ほどの広さがある旧湖底砂漠が出現した。地表面には塩が析出し、頻繁に発生する砂・塩嵐が旧沿岸地帯の住民の健康を蝕んでいる。砂塩の飛散を低下するために植生進出を促進したいと考え、乾燥と塩分に強いサクサウル（現地に自生）の植林を2006年から始めた。

●事業成果

厳しい環境での植林であるが、もっとも成功した地点では、ランダムサンプリングで20本の樹高測定をしたところ、1m～1.5m:11本、1.5m以上が20本で、2.5m以上のものもあり、樹木の生長は樹間の地表に短年性の草が生育しており、砂と塩の飛散を防いでいる。住民はこの数百本の林をアラルのオアシスだと自慢している。

●自己評価

20世紀最大の環境破壊と云われたアラル海問題が世界から忘れ去られようとしている中で、住民の生活環境を守る挑戦を続けている。我々の取り組みを見ていた大きな組織（例えば世界銀行）の植林活動を引き出したように、小さな試みの重要性を実感している。

●参加者の声

砂漠民には植物を植えるという習慣がほとんどなかったが、この植林活動に参加した児童が自宅にサクサウルの苗木を植え大きく育てている。また、植林から家庭菜園へとひろがり、メロンやトウモロコシを栽培し始めた。砂漠の村の様子が変わってきた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	播種	カザフスタン
3ha	3500本	50kg	21人
樹種：サクサウル			
実施場所：カザフスタン・クジルオルダ州アラリスク地区			



植林地、現地の人は旧湖底のオアシスと呼ぶ

持続可能で多様性のある森林のモデルづくり（中国太行山地区）

(認特) 緑の地球ネットワーク

大阪市港区市岡

●事業概要

太行山地区は長い歴史のなかで森林が失われてきたが、過剰な耕作、放牧、生活燃料の伐採などが原因だと考えられる。周囲からさまざまな種子や苗を集め、86haの荒れ山に植え広げ、あわせて放牧や柴刈りを排除して保護したところ、自生樹種による森林がかなりのスピードで再生してきている。2015年度は仕上げの年と位置づけ、管理棟近くに植物展示区を建設し、敷地内の代表的な樹種120種1800本、マツ600本を植えた。

●事業成果

もとは草もまばらな荒れ山だったが、1999年4月からていねいに保護してきた結果、北向きの日陰斜面ではナラ、シナノキ、カバノキなどによる森林が再生し、大きなものは樹高14m、胸高直径25cmを超えるまでに育ってきた。植物の育ちにくい南向きの日向斜面でも、灌木が地面を被い、植物種の豊富さでは日陰斜面を上回るまでになっている。風景が一変したと言っている。中国林業科学研究院の陳幸良副院長はこれほどの植物種がまとまって存在する場所は中国の北方ではほかにないと高く評価した。

●自己評価

私たちの成功をみて、その隣接地にたくさんの国家プロジェクトがくるようになり、立派に呼び水の作用を果たしたと思う。中国でも高く評価されている。

●参加者の声

・10年前にきた人があまりの変わりように驚いていた。すっかり緑になっているのだ。(56歳・男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
植付本数	日本	中国	計
2400本	78人	820人	898人
樹種：マツ・落葉広葉樹			
実施場所：中国・山西省大同市靈丘県（南天門自然植物園）			



マツや落葉広葉樹を植樹

マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業

(特非) アイユーゴー

大阪府泉南郡熊取町

●事業概要

森林伐採や炭づくりで草原と化した高山地区において地滑りなどを防ぐための植樹による整備事業である。主な活動は、次のとおりである。①事業地で植樹をした後に自然火災が起きないように防火帯を作った、②小学生や高齢者たち600人がシナモン、アカシア、コーヒーを植樹した、③調整員たちが植樹をするときに、子どもたちに対して、森林の大切さを知らせる自然環境問題に関する指導を行った。

●事業成果

作業道(防火帯)を作りつつ、地面がもろいところが多くあることに気づき、地崩れが起きやすいことを学んだ。また、毎年参加する住民たちは植樹をしたことに安ど感を感じる人が増えてきた。徐々にではあるが、事業地一帯が緑に包まれてきていると感じているからだ。

●自己評価

住民の多くは、確かに緑が多くなったことに感激していた。しかし、一方、植樹する樹木が果実などの種を希望する住民が増えてきた。森林再生ではなく、むしろ、植樹をすることにより、自分たちの生活の充実を図りたいと願う住民が多くいるということである。

●参加者の声

・確かに緑が多くなっている。強い風が来ても自分たちを守ってくれるように植えた木を育てたい。(男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マダガスカル	計
3ha	3950本	2人	600人	602人
樹種：シナモン、アカシア、コーヒー				
実施場所：マダガスカル・アナラマンガ地方フィハオナナナ村				



シナモン、アカシアなどを植樹

ネパール 小農村におけるアグロフォレストの果樹や花樹植林による拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育

(公社) アジア協会アジア友の会

大阪市西区江戸堀

●事業概要

目的は、森林の拡大と果樹木を植え、また花樹の植樹を行うことで将来収入につながることをめざした森林地の造成である。同時に森林地縁の浸食がおこり、村の浸水及び土砂流出が懸念される川岸の護岸植林を実施し、森林教育を継続する事により住民の意識向上と森林保護及び将来的に循環型農村につなげる為に、次の活動を行った。①カキとライチの植樹 ②植林教育の実施 ③護岸エリアの植林 ④ギョウリュウバイの苗木づくりと指導

●事業成果

護岸が必要な川岸のほとんどを護岸植林を実施できた。そのために水の流れを多少変える事にもつながり、護岸植林をしたエリアに土が堆積しはじめ浸食を防ぐことができている。特に養蜂のための花樹植樹には大変積極的で、持続的な地域づくりと経済効果をマッチングさせる意識が大変向上してきている。

●自己評価

護岸のための植樹、そして果樹や花樹による植林ち拡大に関しては計画通りに実施することができたが、将来的な発展を考え新たに養蜂のための花樹を植えると共に今後、植樹を定期的に行いたいと考えている。

●参加者の声

・カキやライチの植林ができ、昨年植樹したロプシーなど果樹と合わせて村の特産ができるのではないかと、期待しています。(森林管理委員会)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ネパール	計
2.5ha	2210本	1ha	15人	240人	255人
樹種：カキ、ライチ、ラタン、チュウリほか					
実施場所：ネパール・ルンビニ県カワソティ市					



護岸のための植樹

世界遺産の棚田を守るための植林事業「NIWAKAT PUNTANUMAN (小規模多地域植林法)」

(特非) NEKKO

兵庫県三木市福井

●事業概要

目的は、世界文化遺産でもある棚田地帯の土壌を固定しながら、従来の景観を損なうことがない新しい植林技術を実践し、普及すること。同地域では森林の荒廃が進み、湧水が激減するなど水田耕作は大きな打撃を受けている。

主な内容は次のとおりである。

- 1：従来の景観を損なうことないよう、植栽の実施。
- 2：持続を可能にする試みとして、地域住民だけでなく積極的に観光客の参加を促す。
- 3：部分的に苗木を密植させて、根の力で土壌固定を行う新技術を採用する。
- 4：新技術を用いて実際に棚田の補強を成し、地域住民の理解を深め、この技術を普及させる。

●事業成果

地域住民との連携も円滑で安定した事業運営であった。本年度最大の盛り上がりは11月に実施したウハ小学校と幼稚園、PTA、村自治会が参加した植林だった。

●自己評価

観光客の参加人数を低く見積もりすぎて、苗木が不足した。来年度は観光客分の比重を大きく確保する必要がある。

●参加者の声

- ・来年はもっとたくさんのお木を植えたい！（小学生）
- ・この事業に参加することを学校行事にする。（小学校長）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	フィリピン	計
8ha	1万1000本	10.5ha	8人	700人	708人
樹種：ナツメヤシ、コクタン他					
実施場所：フィリピン・イフガオ州バナウエ、ウハ村					



学校や地域の人たちが参加して植樹

ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業

(特非) 野生生物を調査研究する会

神戸市北区東有野台

●事業概要

これまでトメアス総合農業協同組合と共に、アグロフォレストリーによって小農家の生計を向上させながら植林地帯を拡大させることを目的に、2005年度から小農家の組織化を図り、苗畑整備と苗づくりなどの指導を行ってきた。その結果トメアス郡に12か所の小農家生産者協会ができ、アグロフォレストリー農法・植林が普及されつつある。

一方、河畔が森林で被覆されていない地域が多く、土壌流出及び河川への土砂流入による河川流量の減少などが、課題となっており、苗畑施設で育成した苗を活用した水源涵養植林整備を実施した。

●事業成果

本年度の植林は2つの生産者協会の協会員を対象に12haの植林を実施。これまで、苗畑を整備した後、小農家の協会員がそれぞれに植栽を実施していた。資金的余力がないこととその効果に対して懐疑的であることから、肥料や石灰なしでアグロフォレストリー植林を実施してきており、成績が必ずしも芳しくなかったが、今回の事業においては肥料と石灰を植栽時に投入することで、その違いが鮮明となり、小農家の意識改革につながった。

●参加者の声

- ・肥料や石灰の効果が早く現れるので、その後の除草管理も早めに不要になりそうなので、非常にありがたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブラジル
12ha	1万2000本	37人
樹種：バナナ、カカオほか		
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス郡		



植樹前に石灰を施用

中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業

広島県日中親善協会

広島市中区基町

●事業概要

目的は、長年の多量伐採や農地開発等により水土流失が著しく土壌砂漠化が深刻になっており、造林緑化を通じて長寿郷といわれる自然環境や水土保持機能の回復を図る。

●事業成果

住民の環境保護意識が向上し、自発的に植林に参加するなど自然災害防止に地域で貢献している。政府関係者から市民、特に、中小生を含む青少年が積極的にボランティアで植林に参加したのも特色である。

●自己評価

計画通り植えつけた。自然環境の改善と保護のモデルとして、地元の人たちが積極的に造林事業に参加した。事業が第1と2期が成功したことをもとに、2016年3月から4月にかけて天竺桂を植えた。または、11月に広島県日中親善協会第30次訪中団が四川省訪問中に記念植樹をした。2014年度から植えた苗木が大きく成長した成果に満足しながら、2015年度事業を計画通りに実施した。

●参加者の声

- ・今年第三回の参加で緑の募金事業で、緑の山河を作ること、美しい環境を守ることは非常に大切なことである。私も環境保護の一員として、参加できることも喜んでおり、光栄とも思っている。(四川省人民対外友好協会職員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	中国	計
6.8ha	1万1100本	650人	650人
樹種：天竺桂、サクラ			
実施場所：中国・四川省眉山市			



日中共同の記念植樹

タイ北部山岳地域ホイドウア村の森林再生と農村開発

(特非) シャンティ山口

山口県周南市

●事業概要

安定した収入を得るために「トウモロコシ畑」を「果樹林に」転換し持続可能な森林農業と共に荒廃した大地をみどり豊かな農地にすることにより森林が甦る。生活の自立と持続可能で安定した豊かな向上を目指すと共に環境保全型森林農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及することを目的とする。

●事業成果

自力では不可能であった転換への希望が実現したことで今回配布当事者はもとより村民の一致団結した協働に向かった喜びは、絶大である。当面の収入に対する金銭的援助はできないものの、緊急支援と共に行政への働きかけなどをしながら次への転換目標を目指したい。

●自己評価

先事例のモデル村の状況から村人の将来を見据えた決断がなされた。この間の収入源の確保として果樹苗木の生育の間、陸稲を主体としてショウガ、まめ類、カボチャ、野菜を共作しながら荒廃した農地の地力回復に努める。さらに苗木植栽を完了した世帯では、残った家族に苗木の生長管理をゆだねて海外への出稼ぎも予定され全面転換へ向かってスタートが始まった。当団体も目標達成までの3年間村民と協働で事業継続する決意である。また、その後は村人の完全自立によって豊かな森づくりに期待を寄せる。

●参加者の声

- 一家総出で苗木が生長するよう大切に植えていた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	タイ
30.09ha	5862本	320人
樹種：ラムヤイ、マンゴー、ゴム		
実施場所：タイ・ホイドウア村		



ラムヤイ、マンゴーなどを植樹

徳島烏雲の森植林事業

(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

中国・内モンゴル自治区内で過剰な開墾や無計画な放牧などにより急激に草原が沙漠化した地域のホルシン沙漠の民生改善の為に長年植林事業を行って、沙漠地を昔の様な草原を取り戻す事をめざしている。植林予定地に放牧による獣害を防止する目的で、植林予定地の周囲を柵を立て、金網を張り巡らし、牛・山羊・羊の放牧を禁止して、塩害に強いポプラを中心に植林を行っている。

●事業成果

植林を通じて草原が回復しつつあり、環境の保全にも貢献してきている。植林地を管理農牧民も植林により土壌が改善され、作物の収穫量が増加し家畜の取引金額も増加していて、彼ら農牧民の生活向上に大いに貢献している。

●自己評価

植林してきたポプラも順調に生育している。植林地を管理している農牧民達は、日本の植林隊の皆さんのお陰と感謝している。今後は植林地周辺の中学生・小学生に植林に積極的に参加してもらい、地球環境問題の認識を持ち新たな人材として期待している。

●参加者の声

・都会とは環境が全く異なり驚きました。感覚的には本当に育つのか不安もありましたが、順調に育っているのも確認できましたので、引き続き植林ボランティアに参加して微力ですが頑張りたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
50ha	5万本	11人	35人	46人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区・阿古拉鎮				



ポプラを植樹

ミャンマー連邦共和国シャン州(南部)山岳少数民族地域における水源涵養コミュニティ林造成及び水源涵養啓発事業

(認特) 地球市民の会

佐賀市高木町

●事業概要

水源涵養のための植林を実施するとともに、啓発活動教材の作成や啓発活動及び給水委員会に対する啓発活動指導研修を実施、持続可能な緑化体制を整えることができた。

1. コミュニティー林に植林。
2. 水源涵養や水と木の関係性を織り込んだ子ども対象の環境教材と委員会対象の指導用教材の作成。
3. 小学生～高校生を対象に環境教育を実施。
4. 給水施設整備と苗作りを実施。

●事業成果

1. 地域に適した樹種を用いたため、活着率も高かった。
2. 絵や写真を多用した環境教材を作成することができ、多くの子どもたちに効果的な環境教育ができた。
3. 給水委員会への指導の結果、持続的な指導体制を整えることができた。
4. 育苗・給水施設が整備され、委員会を中心に環境教育や植林活動の継続体制を整えることができた。

●自己評価

計画通りに実施することができた。継続的な植林活動として、2016年の雨季には4000本の自主的な育苗と植林ができ、今後の見通しも立った。環境教育は、指導者が育成できたことが大きな収穫と言える。

●参加者の声

今後も、植林をしていきたいとの意見が多かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
4ha	1万113本	4.7ha	350人	350人
実施場所：ミャンマー・シャン州シーサイン地域				



チーク、モリンガを植樹

平成 27 年度 中央事業実施状況一覧

【森林の整備】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,500	10
27SC-02	アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動	大阪	いずみの森の会	大阪	330	10
27SC-03	岡山水源の森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	416	11
27SC-04	岡山県日本リスの森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	190	11
27SC-05	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	2,000	12
27SC-06	小石原川水源の森づくり事業	福岡	あまぎ緑の応援団委員会	福岡	2,455	12
27SC-07	原村あゆみの森整備事業	長野	原村あゆみの森実行委員会	長野	1,360	13
27SC-08	地球温暖化防止のための北海道の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	495	13
27SC-09	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	650	14
27SC-10	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	1,950	14
27SC-11	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり	京都	木津川市地域連携保全活動応援団	京都	1,200	15
27SC-12	積水化学・水源の森づくり事業	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,300	15
27SC-13	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり	福岡	うきは市森林セラピー実行委員会	福岡	1,107	16
27SC-14	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	150	16
27SC-15	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL 3	北海道	“北海道”千年の森プロジェクト	北海道	2,000	17
27SC-16	北蔵王水源の森造成事業	宮城	宮城森の会	宮城	600	17
27SC-17	緑のボランティアの森記念造成事業 「いずみの森21」	大阪	いずみの森連絡協議会	大阪	300	18
27SC-18	緑のESDの森づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	1,300	18
27SC-19	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	3,500	19
27SC-20	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	1,000	19
27SC-21	100年の森佐世保植樹祭	長崎	(特非)100年の森佐世保	長崎	1,500	20
27SC-22	海の森育樹プロジェクト	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,132	20
27SC-23	みんなでつくろう海の森プロジェクト2016	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,101	21
27SC-24	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動	岐阜	みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会	岐阜	1,000	21
27SC-25	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	(特非)フォレスト フォー ビーブル岡山	岡山	1,800	22
27SC-26	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180	未掲載
27SC-27	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	1,000	22
27SC-28	緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2016 in おだわら	神奈川	県民との協働による森林づくり実行委員会	神奈川	1,700	23
27SC-29	こどもの森づくり体験の森整備事業	大阪	(公財)大阪みどりのトラスト協会	大阪	1,000	未掲載
27SC-30	木曾川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	1,000	23
27SC-31	2016年春 多摩動物公園森づくりプロジェクト	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	356	24
27SC-32	奈良県吉野山の森づくり事業	奈良	(公財)大阪みどりのトラスト協会	大阪	810	24
27震災SC-01	平成27年度東日本大震災復興事業 (鹿島灘海岸防災林復旧)	茨城	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	3,000	25
27震災SC-02	旭復興事業2015	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,418	25
27震災SC-03	自伐型林業による 北上圏域震災復興支援(就業づくり)事業	岩手	(特非)持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会	東京	2,000	26
27震災SC-04	3.11復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	2,000	26
27震災SC-05	「岩沼潮除須賀松の森」再生植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,877	27
27震災SC-06	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	3,541	27

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27震災SC-07	松川浦海岸防災林（相馬市大洲国有林）植樹事業	福島	(特非)DO55	東京	204	28
27震災SC-08	東日本大震災復興祈念・遠野市緑化祭 「里山フェスタ2016」	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	1,988	28
27S-01	「木育」推進プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,240	29
27S-02	札幌市澄川環境林に於ける 外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業	北海道	(特非)北海道森林ボランティア協会	北海道	740	29
27S-03	富良野地区の緑化及び環境教育推進事業	北海道	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	1,000	30
27S-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた 地域を結ぶ森林づくり	青森	岩木山桜会議	青森	600	30
27S-05	活樹祭～こども間伐体験～ in 南部町	青森	三八みらいの森づくり協議会	青森	250	31
27S-06	活樹祭～こども間伐体験～ in 八戸	青森	八戸活樹祭実行委員会	青森	250	31
27S-07	森林ボランティアの力で松枯れ対策プロジェクト 2015	岩手	(特非)遠野エコネット	岩手	1,890	32
27S-08	ふるさとの里山整備活動と 自然環境（里山）保全啓発事業	茨城	(特非)こが里山を守る会	茨城	550	32
27S-09	茨城県民の森「スキ採種圃の跡地」の森林整備及び 森づくり活動	茨城	いばらき森林クラブ	茨城	510	33
27S-10	地域の子供たちを森へ誘う事業2015	埼玉	(特非)NPO埼玉ネット	埼玉	1,470	33
27S-11	県境を越えた森づくり連携事業	埼玉	(特非)グリーンフォーレストジャパン	埼玉	1,230	34
27S-12	都市住民の参加する里山整備と里山資源の有効活用	千葉	(特非)竹もりの里	千葉	1,080	34
27S-13	都市と農村のヒトや技術の対流を促し持続可能な 里山再生につなげるひと育てと仕組みづくり事業	千葉	(特非)トージバ	千葉	800	35
27S-15	昆虫の森、下寿の森創りを媒介とした東京都日の出 町と都市部の大人および子供の交流に関する事業	東京	(一財)みんなの森財団	東京	280	35
27S-16	かぐや姫事業2015 「竹にふれる！竹で作る！竹をかなでる！」	長野	(特非)日本青少年音楽芸能協会	東京	1,000	36
27S-17	森林ボランティアの森林再生活動 (植栽・下刈・間伐など)による健全な森づくり事業	長野、千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,130	36
27S-18	サンシティの緑の若返り活動	東京	サンシティ管理組合	東京	400	37
27S-19	人と地域と世界がつながる、 国際森林保全ワークキャンプ	北海道、 青森外	(特非)N I C E (日本国際ワーキングキャンプセンター)	東京	1,520	37
27S-20	誰でも出来る日本の森づくり隊（実習編）	千葉外	ドングリの会東京	東京	1,360	38
27S-21	収入を得る持続的森林整備を実践する 地域住民主体の自伐型林業、西日本普及育成事業	高知、鹿児島、 島根外	(特非)持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会	東京	1,810	38
27S-22	水源林保全のための森林整備と 森林の多目的利活用の推進	神奈川	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	340	39
27S-23	青年の山の整備活動と 作業体験を通じた啓発普及事業	東京	高尾グリーン倶楽部	神奈川	620	39
27S-24	伊豆韮山金谷地区整備事業	静岡	(特非)日本の竹ファンクラブ	神奈川	640	40
27S-25	山の間伐材を利用したマチの公園整備	栃木、東京	森を楽しむ会	神奈川	380	40
27S-26	大呑ふれあいの里山づくりプロジェクト	石川	大呑グリーンツーリズム推進協議会	石川	710	41
27S-27	古里の未来を育む、里山からの暮らしと繋ぐ森づくり	福井	(特非)月尾くらし工房	福井	1,430	41
27S-28	活樹祭～こども間伐体験～ in 上伊那	長野	上伊那活樹祭実行委員会	長野	250	42
27S-29	チェーンソーを使った 山仕事の安全・レベルアップ講座	長野	(特非)信州フォレストワーク	長野	300	42
27S-30	長野県・千葉県における、ボランティア森林整備技 術者の養成を目指した森林整備と植栽活動	長野、千葉	(特非)自然文化国際交流協会	長野	1,460	43
27S-31	沼津市 愛鷹広域公園内森林・竹林整備事業	静岡	環境整備「森と竹で健康クラブ」	静岡	320	43
27S-32	「森づくり自然学校」及び富士山麓の自然現地調査	静岡	(特非)土に還る木森づくりの会	静岡	1,010	44
27S-33	猿投山北西山麓斜面の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	910	44
27S-34	森の健康診断全国出前事業	全国	森の健康診断出前隊	愛知	1,590	45

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27S-38	竹林整備と環境保全	奈良	奈良県森林ボランティア連絡協議会	奈良	280	45
27S-39	戦後70周年記念平和の森整備事業	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	680	46
27S-40	環境保全型森林整備で災害に強く、 収入になる自伐林家育成及び普及事業	高知	(特非)土佐の森・救援隊	高知	1,660	46
27S-41	下ノ加江川水系の森里川海のつながり 再生プロジェクト	高知	(特非)いきいきみはら会	高知	1,910	47
27S-42	森林ボランティアの日「くにの松原」保全・再生活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,750	47
27災S-01	大地の恵み 体験ジオツアー	埼玉	秩父まるごとジオパーク推進協議会	埼玉	320	48
27災S-02	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト	東京	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	埼玉	590	48
27災S-03	全国緑化運動発祥地を災害や荒廃から守る森づくり	茨城	つながる森づくり実行委員会	東京	550	49
27災S-05	A-WASS 循環と共生の森づくり i n ときがわ	埼玉	木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)	東京	1,070	49
27災S-06	上下流連携による循環型の森づくり 「森活」(しんかつ) プロジェクト	群馬	やまづくりくらぶ	東京	590	50
27災S-07	首都圏と山村の住民交流・協働による 広葉樹林整備ボランティア活動事業	山形	災害に強い広葉樹林を育てる 首都圏住民の会	神奈川	1,150	50
27災S-08	森と海を結ぶ歴史ロマン浜街道と 北潟湖が育む未来への森づくり	福井	北潟の森協議会	福井	1,620	51
27災S-09	山村と都市を結ぶ桃源郷の森づくりプロジェクト	福井	越の郷地球環境会議	福井	1,500	51
27災S-10	山村住民と中京圏・都市住民との協働による 森林ボランティア活動事業	岐阜	森林・山村を守る中京圏都市住民の会	愛知	1,620	52
27災S-11	水源の里山再生事業	三重	三ツ口の里山を守る会	三重	1,440	52
27災S-12	地域連携里地里山環境保全事業	京都	(特非)京都発・竹・流域環境ネット	京都	1,410	未掲載
27災S-13	災害と地域の歴史を、子どもと一緒に考える森づくり	和歌山	KODAMA 緑の守り人	和歌山	1,530	未掲載
27災S-14	蘇る熊野の森・大日山プロジェクト2015 (6番区)	和歌山	(特非)三つの森	和歌山	1,440	53
27災S-15	平成27年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会	島根	斐伊川流域林業活性化センター	島根	930	53
27災S-17	大浦干拓防風林保全事業	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	670	54
27災S-18	やんばる地域“森・川・海”連携プロジェクト	沖縄	(特非)おきなわグリーンネットワーク	沖縄	2,090	54

【緑化の推進】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27RC-01	エコキャンプ2015	岡山	エコキャンプ2015実行委員会	岡山	1,300	56
27RC-02	獅子吼高原森のふれあい音楽会	石川	「つたえよう 美しき森」推進委員会	石川	1,500	56
27RC-03	斎王竹の道「緑の森公園」づくり	三重	(特非)うへの郷クラブ	三重	1,000	57
27RC-04	親と子協働の森づくりと自然体験活動	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	750	57
27RC-05	活樹祭～こども間伐体験～	岩手	環境NPOオフィス町内会	東京	2,000	58
27RC-06	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」	新潟外5	(認特)共存の森ネットワーク	東京	2,500	58
27RC-07	丸一山植樹祭	北海道	丸一山花と緑の会	北海道	300	59
27RC-08	げんきの森づくりと森の学習活動	北海道	(特非)森林遊びサポートセンター	北海道	850	59
27震災RC-01	東日本大震災復興祈念・吉里吉里保育園環境緑化事業	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	2,849	60
27震災RC-02	気仙沼市立津谷小学校における学校教育環境向上事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,000	60
27震災RC-03	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業等 (石岡市立吉生小学校)	茨城	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	1,000	61
27震災RC-04	震災地域における学校教育環境向上のための 緑化事業 (いわき市立藤原小学校)	福島	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	1,000	61
27震災RC-05	「復興さくらの丘」環境緑化及び緑の小道作設事業	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	1,620	62
27震災RC-06	未来への植樹祭～野田村海岸林再生への一歩～	岩手	のだ千年の松	岩手	845	62

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27震災RC-07	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D	宮城、福島	(公財)日本環境協会	東京	2,272	63
27震災RC-08	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,800	63
27震災RC-09	復興まちづくり集会所竣工記念植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	621	64
27震災RC-10	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業 (市原市立京葉小学校)	千葉	市原市立京葉小学校	千葉	999	64
27震災RC-11	第四次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業	青森	(公社)青森県緑化推進委員会	青森	1,200	65
27震災RC-12	間伐材等の組立て什器(組手什)を用いた 熊本地震復興支援事業	熊本	組手什おかげまわし協議会	愛知	1,600	65
27R-01	子供たち中心で、荒れ地を広葉樹の森づくりで再生	岩手	奥州万年の森をつくる会	岩手	1,000	66
27R-02	千年希望の丘育樹事業 「大きく育て、10万本の緑の堤防」	宮城	千年希望の丘協会	宮城	800	66
27R-03	花いっぱい森コミュニティプロジェクト	山形	ふるさと山の会	山形	540	67
27R-04	「川内村いのちの森づくり」植樹祭	福島	(特非)川内村NPO協働センター	福島	520	67
27R-05	スポーツを愛する青少年が 安らぎ親しみの持てる桜植樹	茨城	いちょうの会	茨城	180	68
27R-06	筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり	茨城	(特非)つくば環境フォーラム	茨城	380	68
27R-07	どんぐりの木植樹会	茨城	(特非)森の自然学校助川山保全くらぶ	茨城	310	69
27R-08	山村都市交流の絆づくりを深める 筑波山水源の森づくり	茨城	(特非)地球の緑を育てる会	茨城	1,230	69
27R-10	東日本大震災復興支援緑化木育苗	千葉、宮城	(特非)とんぼエコオフィス	千葉	2,290	70
27R-11	自然林と共生の森作り	岡山	あわくらの自然を増す北新クラブ	東京	1,150	70
27R-12	三宅島復興森林づくり交流事業	東京	(特非)地球緑化センター	東京	2,020	71
27R-13	アースデイいのちの森	東京	いのちの森	東京	900	71
27R-14	日の出町・大久野森再生事業	東京	(特非)花咲き村	東京	1,010	72
27R-15	次世代につなぐ里山づくり	福井	(特非)里豊夢わかさ	福井	480	72
27R-16	森づくりに関しての無関心層を掘り起こしながら 市民の手で進める森林整備活動	長野、千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	1,730	73
27R-17	いなべプロジェクト『にぎやか市場』～持続的再生可 能な森林資源の活用と地域活性化の仕組みづくり～	三重	山造り研究所	三重	1,190	73
27R-18	今治地域住民と次代を担う青少年等による 水源の森整備活動	愛媛	今治地方水と緑の懇話会	愛媛	440	74
27R-20	過疎化する佐賀県北部玄界灘に浮かぶ離島の (産業の創生)と(雇用の創出)を!!	佐賀	(特非)レインボー七つの島連絡会議	佐賀	990	74
27災R-01	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動	宮城	(特非)生命と環境保全	宮城	570	75
27災R-02	被災した鎮守の森の復旧及び 災害防止のための森づくり事業	宮城	(特非)日本樹木育成研究会	栃木	1,510	75
27災R-03	「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」応援	福島	(特非)森びとプロジェクト委員会	東京	1,850	76
27災R-04	宮城県名取市「海岸林再生プロジェクト10カ年計画」	宮城	(公財)オイスカ	東京	1,940	76
27災R-05	海岸防災林植樹第2回	静岡	いのちの森づくり友の会	神奈川	2,400	77
27災R-06	十日町市民協働の森づくり「第5回植樹祭」	新潟	十日町市民協働の森づくり実行委員会	新潟	2,210	77
27災R-07	学校・公園のシンボルツリーを守ろう!プロジェクト	宮城	(特非)樹木いきいきプロジェクト	静岡	830	78
27災R-08	グリーンベイOSAKA森を育てる活動 (海岸防災林の植樹整備)	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,830	78
27災R-10	徳島県那賀町木沢 森林整備事業	徳島	(特非)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	710	79
27災R-11	「地球に緑を 桜島に緑に」どんぐり照葉樹の森づくり	鹿児島	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	1,120	79
27ふR-01	ふるさとの木によるふるさと森づくり2015	北海道	千歳どんぐりを育てる会	北海道	500	80
27ふR-02	森と緑と湖のマチ、そららの森づくり植樹祭	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ運営代表者会議	北海道	500	80
27ふR-03	「鎮守の森」創生事業	青森	加茂神社森林を育む会	青森	500	81

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27ふR-04	長者山 新羅神社の「桜の馬場」再生事業	青森	南部打毬を支援する会	青森	500	81
27ふR-05	上坊牧野の一本桜樹勢回復事業	岩手	農事組合法人 田頭北部牧野組合	岩手	500	82
27ふR-06	湯ノ花地区景観保全事業	福島	南会津町緑化推進委員会	福島	650	82
27ふR-07	宇都宮市陽光地区青少年育成会植林事業	栃木	宇都宮市陽光地区青少年育成会	栃木	400	83
27ふR-08	ふるさとのツツジ並木救助活動	群馬	群馬県樹木診断協会	群馬	790	83
27ふR-10	六国見山森林公園の里山再生プロジェクト	神奈川	北鎌倉湧水ネットワーク	神奈川	500	84
27ふR-11	高麗山公園、桜を中心とした森林再生活動	神奈川	湘南の森	神奈川	500	84
27ふR-12	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業	新潟	(特非)お山の森の木の学校	新潟	500	85
27ふR-13	「ふるさと絆の森」再生事業	石川	石川フォレストサポート会	石川	500	85
27ふR-14	越前和紙の里の景観整備事業	福井	五箇地区まちづくり協議会	福井	400	86
27ふR-15	信州・志賀高原から始まる森林再生事業 ～市川海老蔵「いのちを守る森」づくり=ABMORI～	長野	信州・志賀高原から始まる市川海老蔵「いのちを守る森」づくり=ABMORI実行委員会	長野	980	86
27ふR-17	いなべ松茸山再生実験モデル化プロジェクト事業	三重	山造り研究所	三重	500	87
27ふR-18	小面積皆伐による里山再生モデル事業	三重	四日市自然保護推進委員会	三重	490	87
27ふR-19	地黄湿地再生事業	大阪	能勢みどりすとクラブ	大阪	500	88
27ふR-20	矢田山頂上展望台の眺望・景観を回復し 荒廃した里山林を再生する(2)	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	410	88
27ふR-21	ふるさとの森林再生事業	兵庫	よこおみち森もりの会	兵庫	500	89
27ふR-22	益田市の原点"心のふるさと・里山の景観の金谷集 落"を守る植栽とサクラの治療	島根	美都町金谷自治会	島根	360	89
27ふR-23	西村大師堂しだれ桜樹勢回復事業	愛媛	中津巨樹名木保存会	愛媛	560	90

【国際協力】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27KC-01	日本ーラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	埼玉	3,300	92
27KC-02	カラコルム・ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動	バキスタン	(特非)ヒマラヤン・グリーン・クラブ	滋賀	2,000	92
27KC-03	長江上流域植林協力事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	4,000	93
27KC-04	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	1,600	93
27KC-05	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,500	94
27KC-06	フィリピン国レイテ島北西部の台風被災地における 地域復興を目指した植林事業（フェーズ2）	フィリピン	(特非)環境修復保全機構	東京	2,200	94
27KC-07	平成27年度 緑の国際ボランティア研修 (フィリピン国)	フィリピン	(特非)環境修復保全機構	東京	3,000	95
27KC-08	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携 プロジェクト	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	2,000	95
27KC-09	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化 防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業	ロシア	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	3,000	96
27KC-10	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	(特非)GNC Japan	東京	2,000	96
27KC-11	ニャンウー地区コミュニティ・フォレスト造成事業	ミャンマー	(公財)国際緑化推進センター	東京	2,000	未掲載
27K-01	秦安県中日友好経済型生態造林プロジェクト	中国	(公社)秋田県林業育成協会	秋田	1,420	97
27K-02	苗木生産・供給をベースとした 住民主体のコミュニティー完結型緑化事業	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	2,830	97
27K-03	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業	エクアドル	(特非)エクアドルの子どものための友人の会	埼玉	460	98
27K-05	育林思想普及のための学校植林と 環境教育セミナーの開催（第3次）	フィリピン	(特非)観照ボランティア協会	千葉	550	98
27K-06	中国・内モンゴル・飛沙、沙漠化防止緑化活動	中国	(特非)黄河流域に植林の会	千葉	1,580	99

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27K-07	フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄池におけるマングローブ植林	フィリピン	フォスターフォレストクラブ	千葉	500	未掲載
27K-08	ケニア北部トゥルカナ湖南東部での植林とアグロフォレストリー事業	ケニア	(認特)ICA文化事業協会	東京	1,350	99
27K-09	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト	ガーナ	(特非)ガーナ農林工芸振興協会	東京	710	100
27K-10	モンゴル・ウランバートル市学校緑化モデル事業	モンゴル	(一社)国際善隣協会	東京	1,370	100
27K-11	アグロフォレストリーを目指した基盤整備のための植林推進事業	インド	(特非)地球の友と歩む会	東京	500	101
27K-12	モンゴル国セレンゲ県における人材育成を伴う村民参加型生態混交林再生事業	モンゴル	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,300	101
27K-13	マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での植林	マダガスカル	日本アイアイ・ファンド	東京	1,170	102
27K-14	ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」	ネパール	(認特)ヒマラヤ保全協会	東京	2,870	102
27K-15	バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林	バングラデシュ	ラムサールセンター	東京	1,880	103
27K-16	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での植林活動	カンボジア	(特非)アジアの誇り・プレアピヒア日本協会	東京	950	103
27K-17	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト	タイ	(公財)オイスカ	東京	1,940	104
27K-18	マリ共和国カチョラ小学校に学校林の造成と環境学習、モバ小学校林のケア	マリ	(特非)カラ=西アフリカ農村自立協力会	東京	1,340	104
27K-19	モンゴル国中央県植林事業	モンゴル	(特非)GNC Japan	東京	1,770	105
27K-20	ブルキナファソ共和国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する生活改善のための植林プロジェクト	ブルキナファソ	(特非)緑のサヘル	東京	850	105
27K-21	インドネシア中央カリマンタンの森林火災で焼失した森林を再生するための植林事業	インドネシア	マニスファンクラブ	神奈川	1,710	106
27K-22	砂漠緑化：育林・草原再生事業の広範な展開にむけた普及公園づくりプロジェクト	モンゴル	東アジア環境協働行動よこはま	神奈川	600	106
27K-23	ダグマ山系ラムダラグ村生態系保全のための森林農業推進事業（3年目）	フィリピン	(特非)ピラーンの医療と自立を支える会	神奈川	1,280	107
27K-24	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林	タジキスタン	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	1,370	107
27K-25	東ティモール民主共和国リキサ県マウメタ村ハトゥハヒロア（HATUHAHI LOA）における水源保護林造成事業	東ティモール	(特非)地域国際活動研究センター	愛知	990	108
27K-26	西ネグロス州における少数民族の組織化による水源の森再生活動（第2年次）	フィリピン	(特非)イカオ・アコ	愛知	1,200	108
27K-27	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動	カザフスタン	(特非)市民環境研究所	京都	1,330	109
27K-28	持続可能で多様性のある森林のモデルづくり（中国太行山地区）	中国	(認特)緑の地球ネットワーク	大阪	1,900	109
27K-29	マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴー	大阪	1,120	110
27K-30	ネパール 小農村におけるアグロフォレストの果樹や花樹植林による拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育	ネパール	(公社)アジア協会アジア友の会	大阪	2,200	110
27K-31	世界遺産の棚田を崩壊から守るための植林事業「NIWAKAT PUNTANUMAN(小規模多地域植林法)」	フィリピン	(特非)NEKKO	兵庫	1,780	111
27K-32	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業	ブラジル	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	1,560	111
27K-33	中国四川省彭山県水土流出防止緑化事業	中国	広島県日中親善協会	広島	2,100	112
27K-34	タイ北部山岳地域ホイドウア村の森林再生と農村開発	タイ	(特非)シャンティ山口	山口	1,110	112
27K-35	徳島烏雲の森植林事業	中国	(特非)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	1,790	113

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
27K-36	ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）山岳少数民族地域における水源涵養コミュニティー林造成及び水源涵養啓発事業	ミャンマー	(認特)地球市民の会	佐賀	2,110	113

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

区 分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	94	106,280
緑化推進	69	70,176
海外事業	46	76,090
直接・公募計	209	252,546

「緑の募金」事業報告集 —平成 28 年度版—

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974
URL <http://www.green.or.jp>
E-mail bokin@green.or.jp

編 集 一般社団法人 全国林業改良普及協会